インクジェットプリンタ（複合機）

PX-FA700

操作ガイド

本製品の使い方全般を説明しています。

―― 本書は製品の近くに置いてご活用ください。――

もくじ

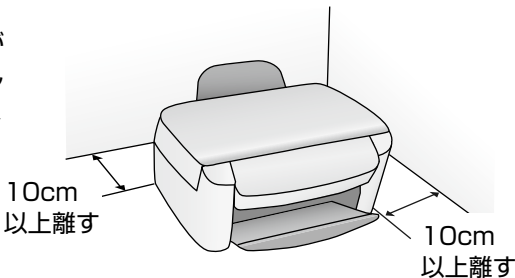
本書中のマークについて

本書では、以下のマークを用いて重要な事項を記載しています。

ご使用上、必ずお守りいただきたいことを記載しています。この表示を無視して誤った取り扱いをすると、製品の故障や、動作不良の原因になる可能性があります。

補足情報や制限事項、および知っておくと便利な情報を記載しています。

☞ 関連した内容の参照ページを示しています。

製品使用上のご注意

本製品を安全にお使いいただくために、お使いになる前には必ず本製品の取扱説明書をお読みください。本製品の取扱説明書の内容に反した取り扱いは故障や事故の原因になります。本製品の取扱説明書は、製品の不明点をいつでも解決できるように手元に置いてお使いください。

記号の意味

本製品の取扱説明書では、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、危険を伴う操作やお取り扱いを次の記号で警告表示しています。内容をご理解の上で本文をお読みください。

⚠警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。		この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および財産の損害の可能性が想定される内容を示しています。

	この記号は、必ず行っていただきたい事項（指示、行為）を示しています。		この記号は、してはいけない行為（禁止行為）を示しています。
	この記号は、分解禁止を示しています。		この記号は、濡れた手で製品に触れることの禁止を示しています。
	この記号は、製品が水に濡れることの禁止を示しています。		この記号は、電源プラグをコンセントから抜くことを示しています。

設置上のご注意

⚠警告

本製品の通風口をふさがないでください。
通風口をふさぐと内部に熱がこもり、火災になるおそれがあります。布などで覆ったり、風通しの悪い場所に設置しないでください。また、右図の設置スペースを確保してください。

⚠注意

本製品を持ち上げる際は、無理のない姿勢で作業してください。
無理な姿勢で持ち上げると、けがをするおそれがあります。

不安定な場所、他の機器の振動が伝わる場所に設置・保管しないでください。
落ちたり倒れたりして、けがをするおそれがあります。

油煙やホコリの多い場所、水に濡れやすいなど湿気の多い場所に置かないでください。
感電・火災のおそれがあります。

電波障害について

テレビ・ラジオに近い場所には設置しないでください。
本製品は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）基準に適合しておりますが、微弱な電波は発信しております。
近くのテレビ・ラジオに雑音を与えることがあります。

静電気について

静電気の発生しやすい場所でお使いになるときは、静電気防止マットなどを使用して、静電気の発生を防いでください。

電源に関するご注意

⚠ 警告

	電源プラグをコンセントから抜くときは、コードを引っ張らずに、電源プラグを持って抜いてください。 コードの損傷やプラグの変形による感電・火災のおそれがあります。 **電源プラグは定期的にコンセントから抜いて、刃の根元、および刃と刃の間を清掃してください。** 電源プラグを長期間コンセントに差したままにしておくと、電源プラグの刃の根元にホコリが付着し、ショートして火災になるおそれがあります。 **電源プラグは刃の根元まで確実に差し込んで使用してください。** 感電・火災のおそれがあります。		**AC100V以外の電源は使用しないでください。** 感電・火災のおそれがあります。 **電源プラグは、ホコリなどの異物が付着した状態で使用しないでください。** 感電・火災のおそれがあります。 **電源コードのたこ足配線はしないでください。** 発熱して火災になるおそれがあります。 家庭用電源コンセント（AC100V）から直接電源を取ってください。 **破損した電源コードを使用しないでください。** 感電・火災のおそれがあります。 電源コードが破損したときは、エプソンの修理窓口にご相談ください。 また、電源コードを破損させないために、以下の点を守ってください。 • 電源コードを加工しない • 電源コードに重いものを載せない • 無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしない • 熱器具の近くに配線しない **付属の電源コード以外は使用しないでください。また、付属の電源コードを他の機器に使用しないでください。** 感電・火災のおそれがあります。
	濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。 感電のおそれがあります。		

⚠ 注意

	長期間ご使用にならないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。

使用上のご注意

⚠警告

液晶ディスプレイが破損したときは、中の液晶に十分注意してください。
万一以下の状態になったときは、応急処置をしてください。
- 皮膚に付着したときは、付着物をふき取り、水で流し石けんでよく洗い流してください。
- 目に入ったときは、きれいな水で最低15分間洗い流した後、医師の診断を受けてください。
- 飲み込んだときは、水で口の中をよく洗浄し、大量の水を飲んで吐き出した後、医師に相談してください。

異物や水などの液体が内部に入ったときは、そのまま使用しないでください。
感電・火災のおそれがあります。
すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてから、販売店またはエプソンの修理窓口にご相談ください。

取扱説明書で指示されている箇所以外の分解は行わないでください。

可燃ガスおよび爆発性ガス等が大気中に存在するおそれのある場所では使用しないでください。また、本製品の内部や周囲で可燃性ガスのスプレーを使用しないでください。
引火による火災のおそれがあります。

煙が出たり、変なにおいや音がするなど異常状態のまま使用しないでください。
感電・火災のおそれがあります。
異常が発生したときは、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてから、販売店またはエプソンの修理窓口にご相談ください。

アルコール、シンナーなどの揮発性物質のある場所や火気のある場所では使用しないでください。
感電・火災のおそれがあります。

製品内部の、取扱説明書で指示されている箇所以外には触れないでください。
感電や火傷のおそれがあります。

お客様による修理は、危険ですから絶対にしないでください。

各種ケーブルは、取扱説明書で指示されている以外の配線をしないでください。
発火による火災のおそれがあります。また、接続した他の機器にも損傷を与えるおそれがあります。

開口部から内部に、金属類や燃えやすい物などを差し込んだり、落としたりしないでください。
感電・火災のおそれがあります。

⚠注意

本製品を移動する際は、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜き、すべての配線を外したことを確認してから行ってください。
コードが傷つくなどにより、感電・火災のおそれがあります。

各種ケーブルやオプションを取り付ける際は、取り付ける向きや手順を間違えないでください。
火災やけがのおそれがあります。
取扱説明書の指示に従って、正しく取り付けてください。

印刷用紙の端を手でこすらないでください。
用紙の側面は薄く鋭利なため、けがをするおそれがあります。

詰まった用紙を取り除く際は、用紙を無理に引き抜かないでください。また、不安定な姿勢で作業しないでください。
急に用紙が引き抜けると、勢いでけがをするおそれがあります。

本製品の上に乗ったり、重いものを置かないでください。
特に、子供のいる家庭ではご注意ください。
倒れたり壊れたりして、けがをするおそれがあります。また、ガラス部分が割れてけがをするおそれがあります。

電源投入時および印刷中は、排紙ローラ部に指を近付けないでください。
指が排紙ローラに巻き込まれ、けがをするおそれがあります。用紙は、完全に排紙されてから手に取ってください。

本製品を保管・輸送するときは、傾けたり、立てたり、逆さまにしないでください。
インクが漏れるおそれがあります。

インクカートリッジに関するご注意

⚠注意			
	インクが皮膚に付いてしまったり、目や口に入ってしまったときは以下の処置をしてください。 • 皮膚に付着したときは、すぐに水や石けんで洗い流してください。 • 目に入ったときはすぐに水で洗い流してください。そのまま放置すると目の充血や軽い炎症をおこすおそれがあります。異常がある場合は、速やかに医師にご相談ください。 • 口に入ったときは、すぐに吐き出し、速やかに医師に相談してください。		**インクカートリッジを分解しないでください。** 分解したカートリッジは使用できません。また、分解するとインクが目に入ったり皮膚に付着するおそれがあります。
			インクカートリッジは強く振らないでください。 強く振ったり振り回したりすると、カートリッジからインクが漏れるおそれがあります。
			インクカートリッジは、子供の手の届かない場所に保管してください。

取り扱い上のご注意

- インクカートリッジは冷暗所で保管し、個装箱に印刷されている期限までに使用することをお勧めします。また、開封後は 6 ヵ月以内に使い切ってください。
- インクカートリッジの袋は、本体に装着する直前まで開封しないでください。品質保持のため、真空パックにしています。
- インクカートリッジを寒い所に長時間保管していたときは、3 時間以上室温で放置してからお使いください。
- 黄色いフィルムは必ずはがしてからセットしてください。はがさないまま無理にセットすると、正常に印刷できなくなるおそれがあります。なお、その他のフィルムやラベルは絶対にはがさないでください。インクが漏れるおそれがあります。
- インクカートリッジの緑色の基板には触らないでください。正常に印刷できなくなるおそれがあります。
- インクカートリッジは、全色セットしてください。全色セットしないと印刷できません。
- 電源がオフの状態でインクカートリッジを交換しないでください。また、プリントヘッドは絶対に手で動かさないでください。故障の原因になります。
- インク充てん中は、電源をオフにしないでください。充てんが不十分で印刷できなくなるおそれがあります。
- インクカートリッジを取り外した状態で本製品を放置したり、カートリッジ交換中に電源をオフにしたりしないでください。プリントヘッド（ノズル）が乾燥して印刷できなくなるおそれがあります。
- 本製品のインクカートリッジは、IC チップでインク残量などの情報を管理しているため、使用途中に取り外しても再装着して使用できます。ただし、インクが残り少なくなったインクカートリッジを取り外すと、再装着しても使用できないことがあります。また、再装着の際は、プリンタの信頼性を確保するためにインクが消費されることがあります。
- インクカートリッジにインクを補充しないでください。正常に印刷できなくなるおそれがあります。
- 使用途中に取り外したインクカートリッジは、インク供給孔部にホコリが付かないように、本製品と同じ環境で、インク供給孔部を下にするか横にして保管してください。なお、インク供給孔内には弁があるため、ふたや栓をする必要はありません。
- 取り外したインクカートリッジはインク供給孔部にインクが付いていることがありますので、周囲を汚さないようにご注意ください。
- 本製品はプリントヘッドの品質を維持するため、インクが完全になくなる前に動作を停止するように設計されており、使用済みインクカートリッジ内に多少のインクが残ります。

使用済みインクカートリッジの処分

以下のいずれかの方法で処分してください。

- 回収
  使用済みのインクカートリッジは、資源の有効活用と地球環境保全のため回収にご協力ください。
  ☞ 裏表紙「インクカートリッジの回収について」
- 廃棄
  一般家庭でお使いの場合は、ポリ袋などに入れて、必ず法令や地域の条例、自治体の指示に従って廃棄してください。事業所など業務でお使いの場合は、産業廃棄物処理業者に廃棄物処理を委託するなど、法令に従って廃棄してください。

インク消費について

印刷時以外にもインクカートリッジ装着時、セルフクリーニング時、プリントヘッドのクリーニング時に、インクが消費されます。

※ 購入直後のインク初期充てんでは、プリントヘッドノズル（インクの吐出孔）の先端部分までインクを満たして印刷できる状態にするため、その分インクを消費します。そのため、初回は 2 回目以降に取り付けるインクカートリッジよりも印刷できる枚数が少なくなります。

各部の名称と働き

1 エッジガイド

用紙をまっすぐ給紙するためのガイドです。用紙の側面に合わせてください。

2 オートシートフィーダ

印刷する用紙をセットするところです。

3 給紙口カバー

内部に異物が入ることを防ぐカバーです。

4 用紙サポート

セットした用紙を支えるところです。

5 オートドキュメントフィーダ

連続して原稿を読み取るための装置です。

6 オートドキュメントフィーダカバー

オートドキュメントフィーダで用紙が詰まったときに開けるカバーです。

7 メモリカードスロット

メモリカードをセットするところです。

8 外部機器接続コネクタ

デジタルカメラを接続するUSBコネクタです。

9 排紙トレイ

印刷された用紙を保持するところです。

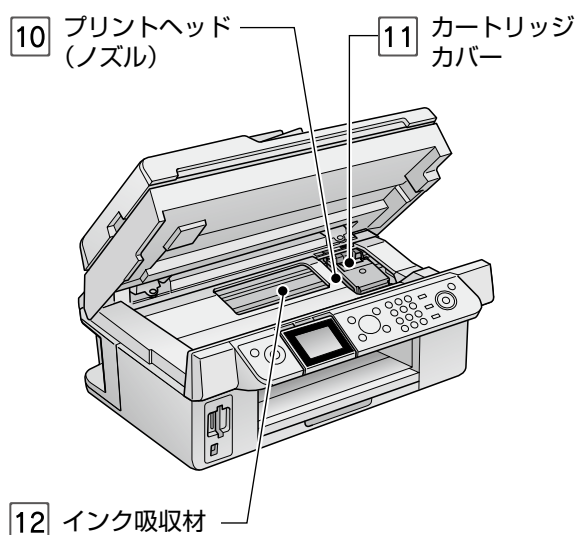
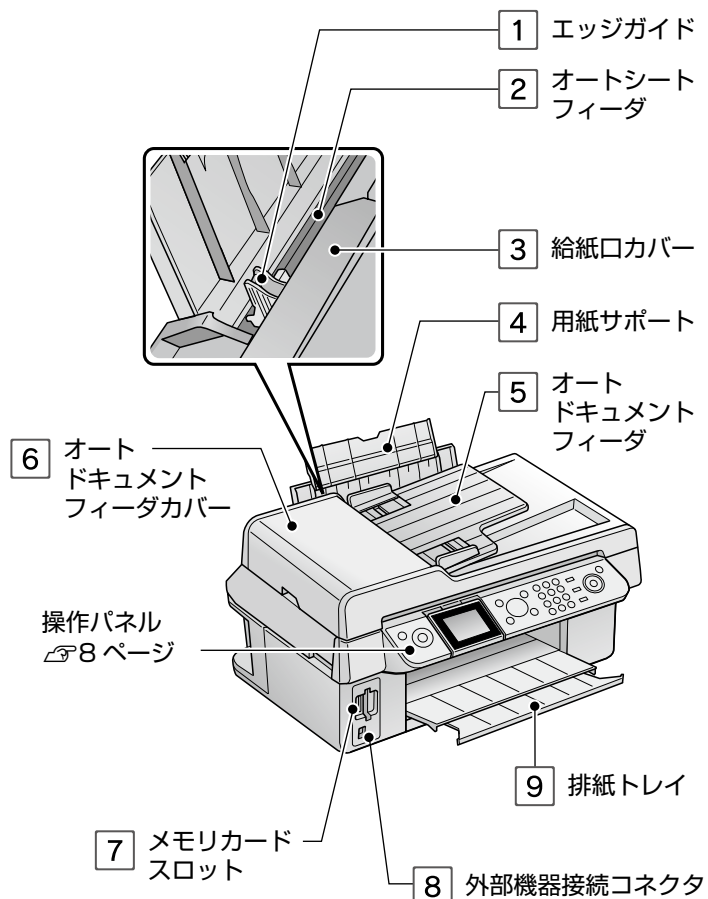
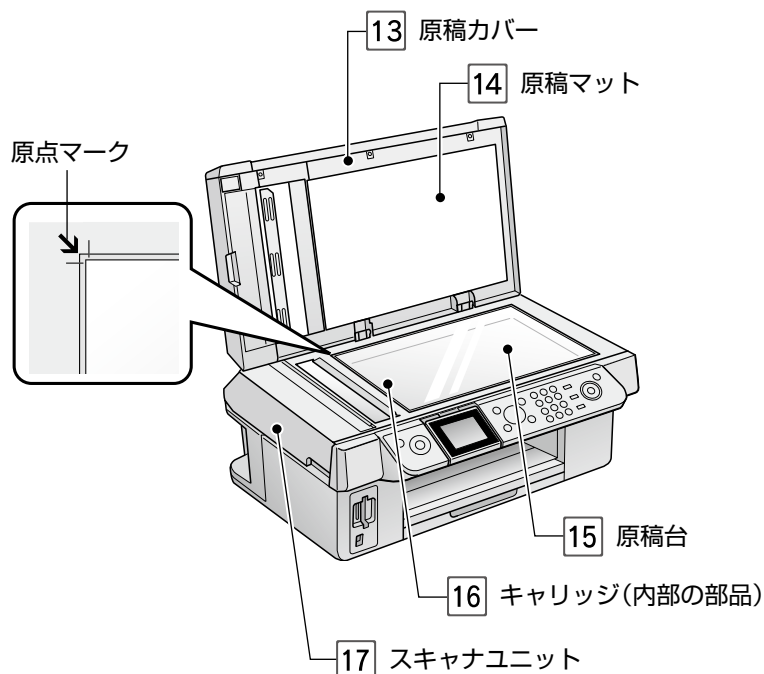
10 プリントヘッド（ノズル）

インクを吐出するところです。外からは見えません。

11 カートリッジカバー

インクカートリッジのセット / 交換時に開けるカバーです。

12 インク吸収材

フチなし印刷時に用紙からはみ出したインクを吸収するところです。

13 原稿カバー

スキャン時に外部の光をさえぎるカバーです。

14 原稿マット

原稿を押さえるマットです。

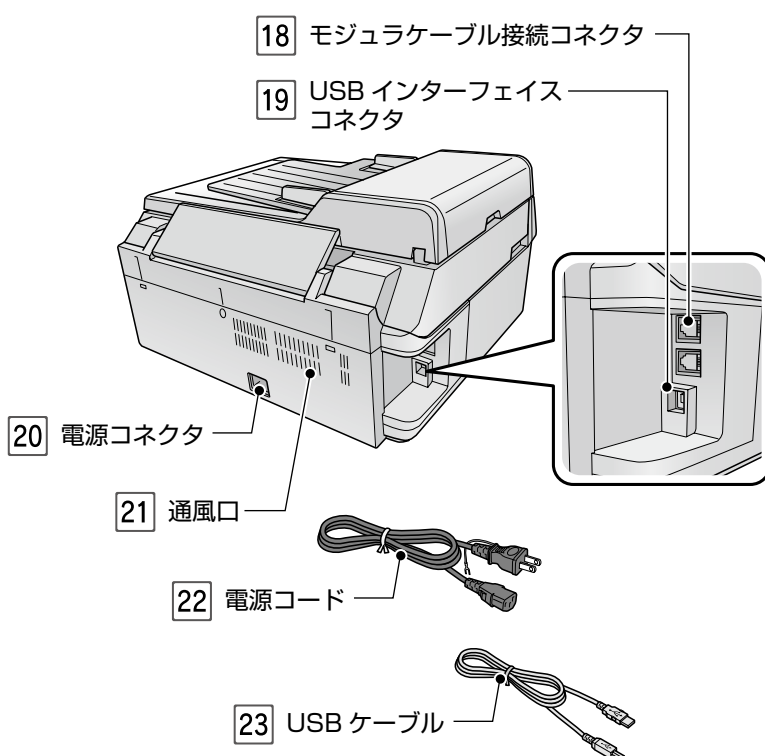
15 原稿台

原稿をセットするところです。

16 キャリッジ

原稿をスキャンするセンサです。

17 スキャナユニット

原稿をスキャンする装置です。

18 モジュラケーブル接続コネクタ

LINE ：電話回線を接続するコネクタです。
EXT. ：外付け電話機を接続するコネクタです。

19 USB インターフェイスコネクタ

パソコンと接続するための、USB ケーブルを接続するコネクタです。

20 電源コネクタ

電源コードを接続するコネクタです。

21 通風口

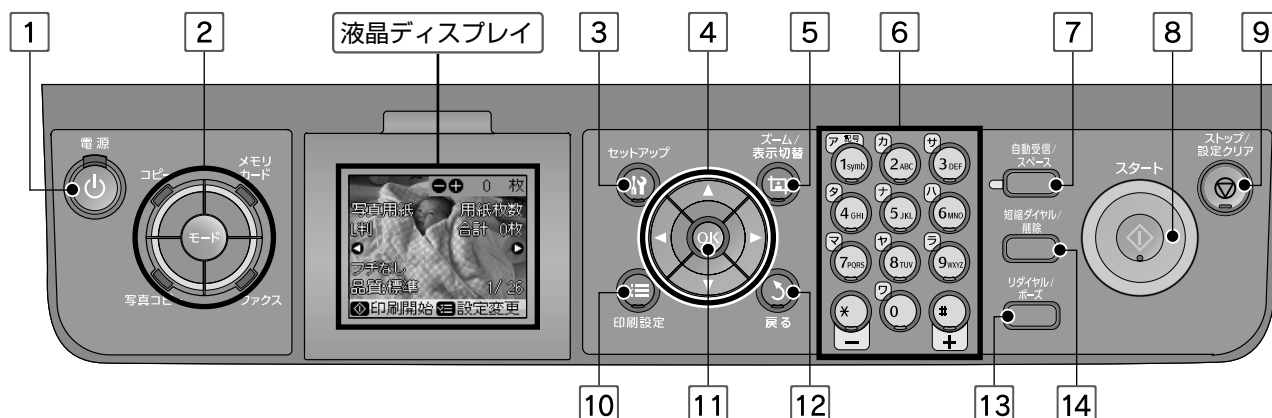
内部で発生する熱を放出する穴です。設置するときは通風口をふさがないようにしてください。

22 電源コード

電源コンセント（AC100V）に接続するコードです。

23 USB ケーブル

プリンタとパソコンを接続するケーブルです。

操作パネルの名称と働き

1 【電源】ボタン

電源をオン / オフします。
オン： ランプが点滅し液晶ディスプレイに起動画面が表示されます。
オフ： 動作終了後、液晶ディスプレイとすべてのランプが消灯します。

2 【モード選択】ボタン

目的のモードを選択します。

3 【セットアップ】ボタン

メンテナンス機能などの各種設定画面を表示します。

4 【△】【▽】【▷】【◁】ボタン

項目や設定値の選択、ズーム枠の移動をします。

5 【ズーム / 表示切替】ボタン

写真の表示方法を以下の順番で切り替えます。
1 面表示（印刷設定表示あり）→ズーム枠表示→ 1 面表示（印刷設定表示なし）→ 9 面表示
ファクスモードでは、各種ファクスレポート出力メニューを表示します。

6 テンキー（ダイヤルボタン）

数値やコピー枚数、ファクス番号や文字などの入力や、ズーム範囲の設定をします。

7 【自動受信 / スペース】ボタン

ファクスデータを自動的に受信して印刷する自動受信の設定をします。
ファクス番号や名称の入力中に押すと、スペース（1 文字分の空白）を設定します。

8 【スタート】ボタン

印刷やファクス送受信を開始します。

9 【ストップ / 設定クリア】ボタン

印刷やファクス送受信を中止します。設定中に押すと、入力した設定をクリアして現在のモードの最初の画面に戻ります。

10 【印刷設定】ボタン

用紙や印刷品質、送信ファクスの設定画面を表示します。

11 【OK】ボタン

選択や変更した設定を決定します。

12 【戻る】ボタン

前の画面に戻ります。

13 【リダイヤル / ポーズ】ボタン

最後にファクス送信を行った宛先番号を呼び出します。ダイヤル番号入力中に押すと、“－”（ハイフン）を入れて番号と番号の間に約 3 秒間の間隔（ポーズ）を設定します。

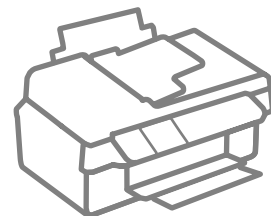
14 【短縮ダイヤル / 削除】ボタン

登録されているファクス短縮ダイヤルを呼び出します。ファクス番号や名称の入力中に押すと、1 文字戻って消去（バックスペース）します。

液晶ディスプレイ

写真 / コピー / ファクス / 印刷時の設定を確認できます。見やすい角度に調節して正面から見てください。

■消費電力の低減機能

13 分間操作しないとスリープモードになり、ディスプレイの表示が消えます。再表示するにはいずれかのボタン（【電源】ボタンを除く）を押してください。

用紙、原稿、メモリカードのセット

この章では、印刷用紙や原稿などのセット方法について説明しています。

●各メディアのセット方法

印刷用紙

☞13 ページ

原稿

☞14 ページ

メモリカード

☞16 ページ

使用できる印刷用紙と原稿

印刷用紙

エプソン製専用紙（純正用紙）

よりきれいに印刷するためにエプソン製専用紙のご使用をお勧めします。

	用紙名称 / 特長	サイズ	セット可能枚数	印刷できる面
写真用紙	**写真用紙クリスピア＜高光沢＞** 【プロ仕様】 かつてない光沢感と透明感あふれる白さ、重厚な質感を実現した写真用紙です。	L 判 KG サイズ	20 枚*1	より光沢のある面
		2L 判 六切	10 枚*1	
		A4	20 枚*1	
	写真用紙＜光沢＞ 【スタンダード】 美しい光沢感のある仕上がりが魅力の写真用紙です。高い保存性を実現し、長期間色あせにくい写真プリントが可能です。	L 判 KG サイズ 六切	20 枚*1	
		2L 判 ハイビジョンサイズ	10 枚*1	
		A4	20 枚*1	
	写真用紙エントリー＜光沢＞ 【お得】 鮮やかな画質でたくさんプリントするのに最適な写真用紙です。	L 判 KG サイズ	20 枚*1	
		2L 判	10 枚*1	
		A4	20 枚*1	
	写真用紙＜絹目調＞ 光沢をおさえた落ち着いた風合いの写真用紙です。	L 判 2L 判 A4	20 枚*1	
マット紙	**スーパーファイン専用ハガキ** 写真入りのハガキ印刷に適した、ハガキサイズのマット紙です。	ハガキ	50 枚	両面
	スーパーファイン紙 写真入り文書やホームページの印刷など、いろいろに使える用紙です。	A4	80 枚	より白い面
	フォトマット紙 光沢のない落ち着いた質感で、耐久性・耐光性に優れたマット紙です。	A4	20 枚	
普通紙	**両面上質普通紙＜再生紙＞** ビジネス文書の作成時などに役立つ両面印刷が可能なインクジェットプリンタ用の普通紙（古紙 100% 配合の再生紙）です。	A4	80 枚 ※手動両面印刷時は 30 枚	両面
特殊用紙（バラエティ用紙）	**スーパーファイン専用ラベルシート** ステッカーが作れる全面シールで、自由にカットして使えます。	A4	1 枚	白い面

（2007 年 12 月現在）

＊1：印刷結果がこすれたりムラになったりするときは、1 枚ずつセットしてください。

市販の用紙

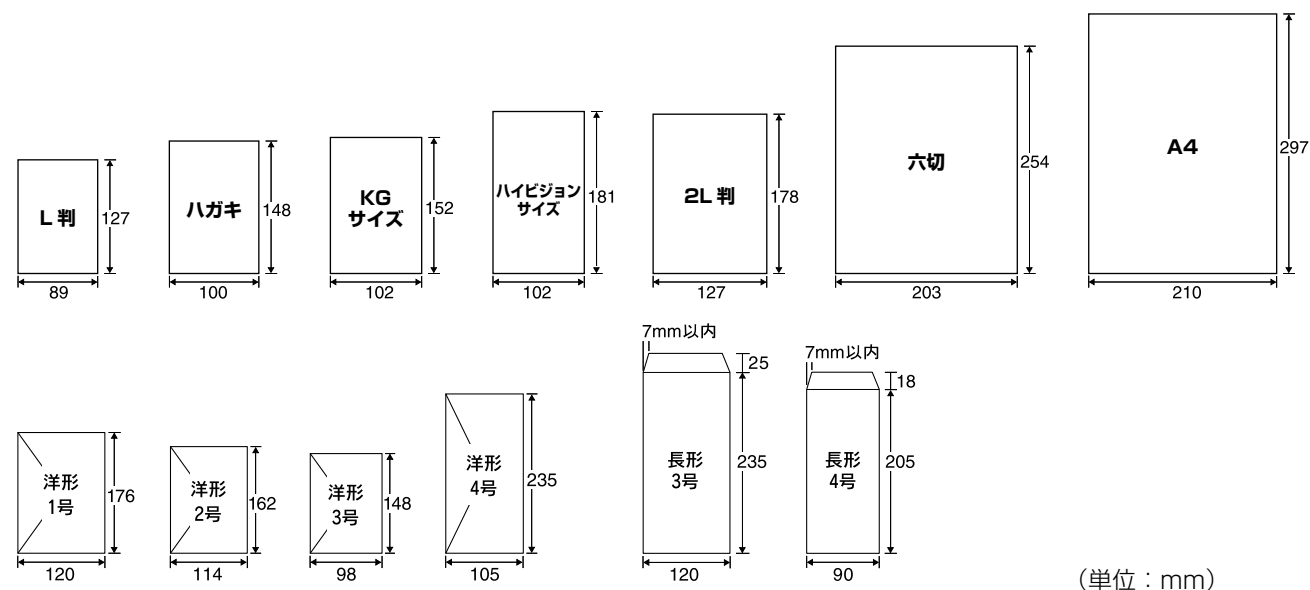
	用紙名称	サイズ	セット可能枚数	印刷できる面	備考
普通紙	コピー用紙 事務用普通紙	【定形紙】 A4/B5 ※パソコンからの印刷時はプリンタドライバの設定による	エッジガイドの▼マークまで	両面	• 以下の範囲内 坪量： 64～90g/m² 厚さ： 0.08～0.11mm • 再生紙はにじむことがあります
		【ユーザー定義サイズ】 プリンタドライバの設定による	1 枚		
ハガキ	郵便ハガキ(再生紙)＊1 郵便ハガキ （インクジェット紙）＊1	ハガキ	50 枚	両面	
	往復郵便ハガキ＊1	往復ハガキ	30 枚	両面	折り目がないもの
封筒	封筒	長形 3 号 /4 号 洋形 1 号 /2 号 /3 号 /4 号	10 枚	両面	

（2007 年 12 月現在）

＊ 1： 郵便事業株式会社製

使用できる定形紙 / 封筒のサイズ

（単位：mm）

用紙、原稿、メモリカードのセット

用紙をセットする前に

■ 使用できない用紙

- 次のような用紙はセットしないでください。紙詰まりや印刷汚れの原因になります。

・波打っている用紙
・破れている用紙
・切れている用紙

・角が反っている用紙
・折りがある用紙

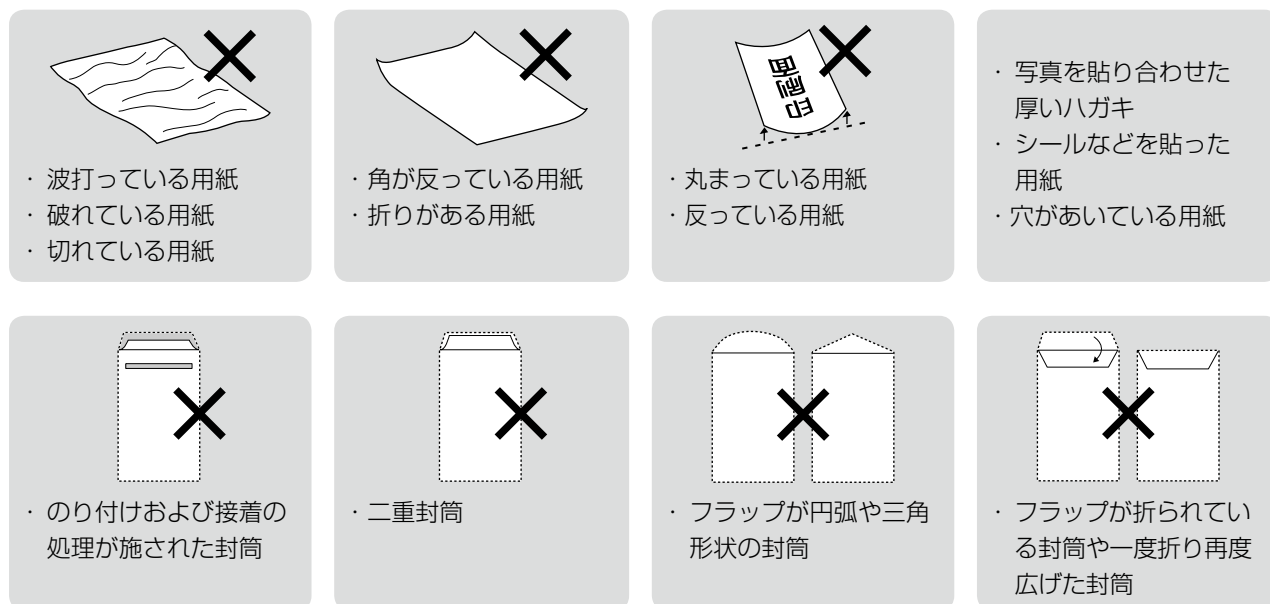
・丸まっている用紙
・反っている用紙

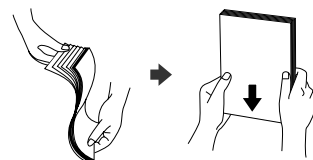
・写真を貼り合わせた厚いハガキ
・シールなどを貼った用紙
・穴があいている用紙

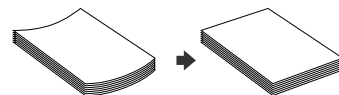
・のり付けおよび接着の処理が施された封筒

・二重封筒

・フラップが円弧や三角形状の封筒

・フラップが折られている封筒や一度折り再度広げた封筒

■ 用紙の取り扱い

- 用紙のパッケージや取扱説明書などに記載されている注意事項をご確認ください。
- 用紙は必要な枚数だけを取り出し、残りは用紙のパッケージに入れて保管してください。本製品にセットしたまま放置すると、反りや品質低下の原因になります。
- 用紙を複数枚セットするときは、右図のようによくさばいて紙粉を落とし、整えてからセットしてください。ただし、写真用紙はさばいたり、反らせたりしないでください。印刷面に傷がつくおそれがあります。

■ ハガキに両面印刷するときは

- 片面に印刷後しばらく乾かし、反りを修正して平らにしてからもう一方の面に印刷してください。ハガキは宛名面から先に印刷することをお勧めします。

原稿

■ セットできる原稿

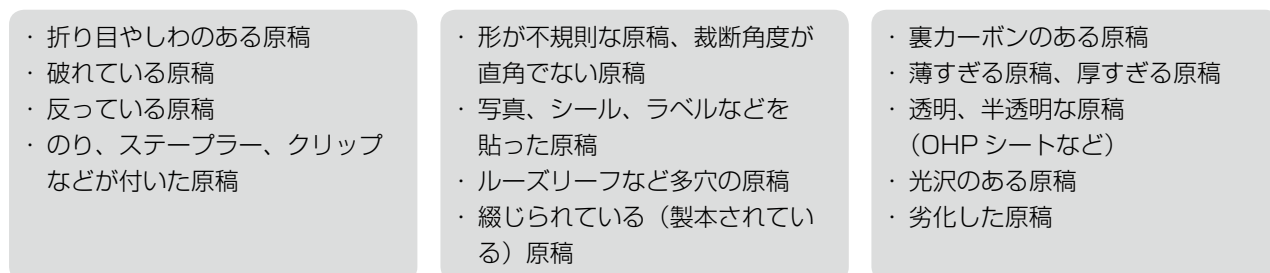
A4/US レターサイズ /US リーガルサイズの普通紙

■ 使用できない原稿

- 次のような原稿はセットしないでください。紙詰まりや印刷汚れの原因になります。

・折り目やしわのある原稿
・破れている原稿
・反っている原稿
・のり、ステープラー、クリップなどが付いた原稿

・形が不規則な原稿、裁断角度が直角でない原稿
・写真、シール、ラベルなどを貼った原稿
・ルーズリーフなど多穴の原稿
・綴じられている（製本されている）原稿

・裏カーボンのある原稿
・薄すぎる原稿、厚すぎる原稿
・透明、半透明な原稿（OHP シートなど）
・光沢のある原稿
・劣化した原稿

■ 原稿の取り扱い

- 用紙を複数枚セットするときは、整えてからセットしてください。
- 原稿を継ぎ足してセットしないでください。

印刷用紙のセット

1 用紙サポートを開く

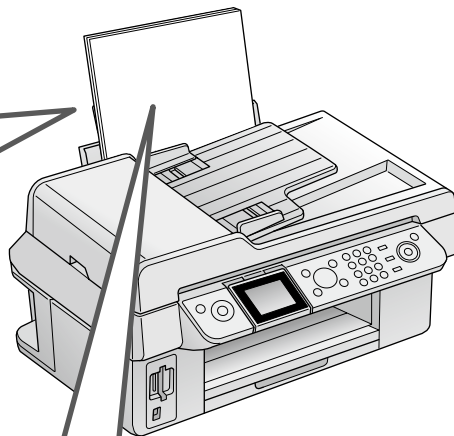
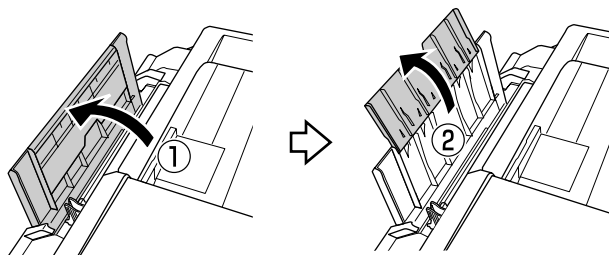
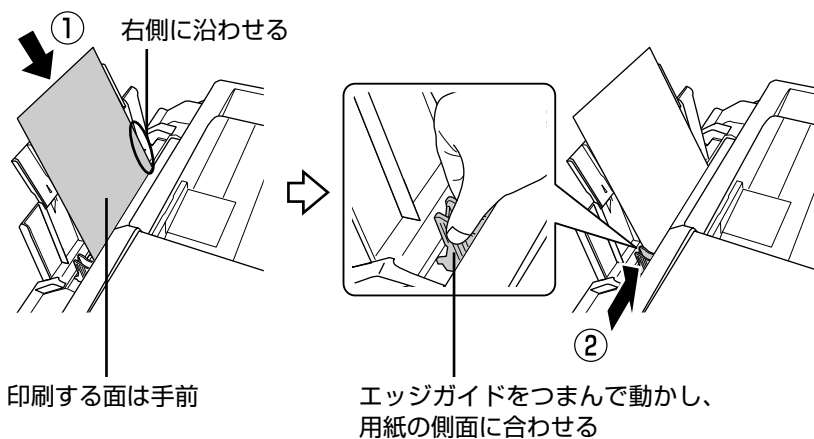
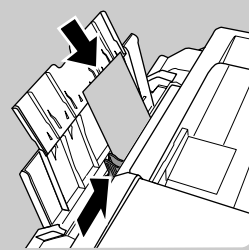
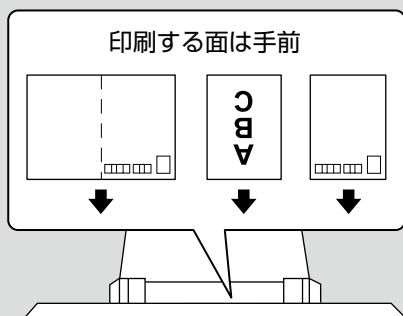
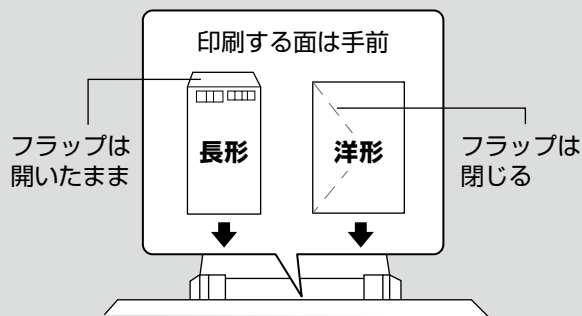
①
②

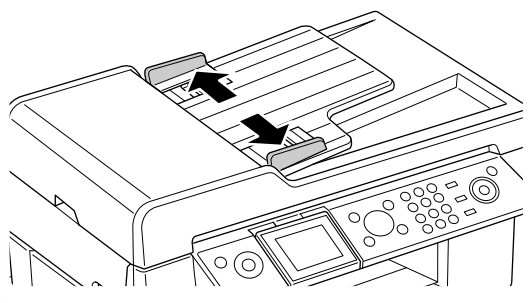
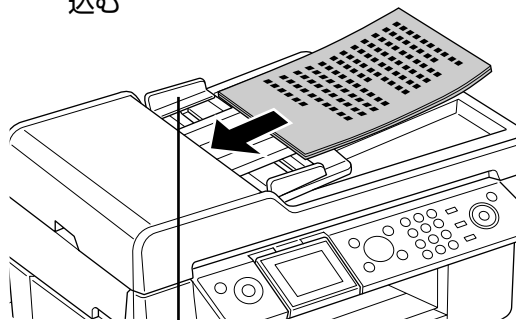
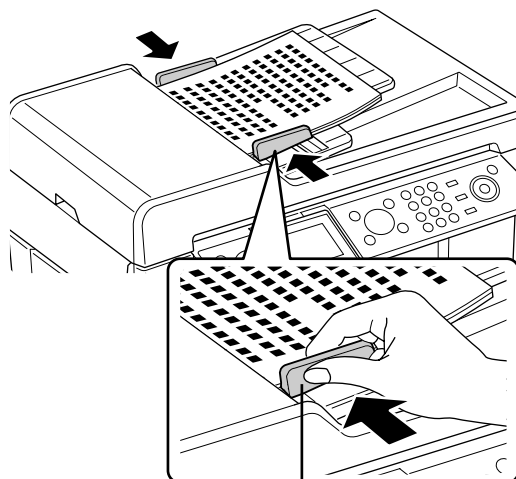
2 用紙を縦方向にセットする

① 右側に沿わせる

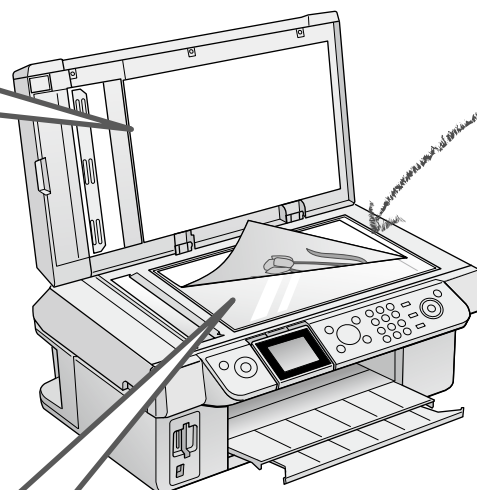
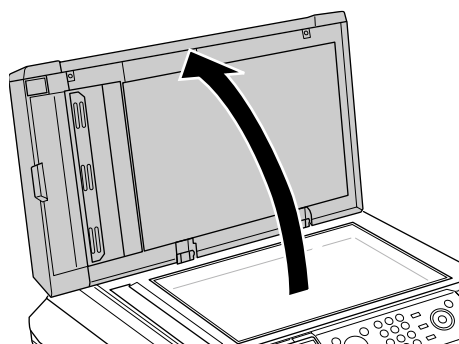
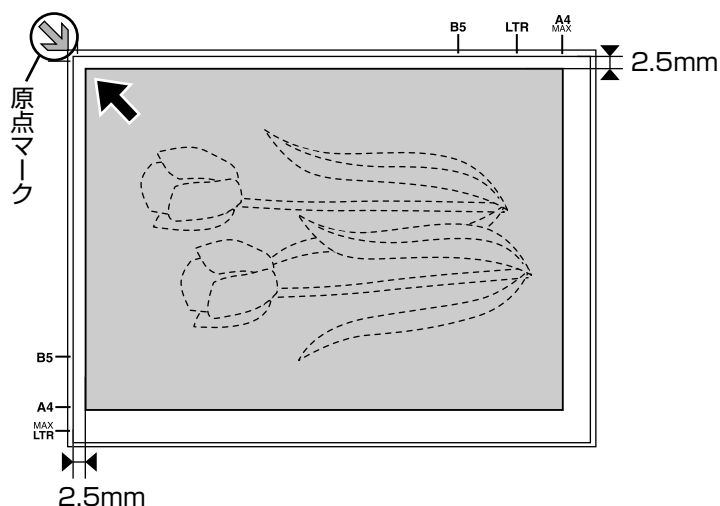
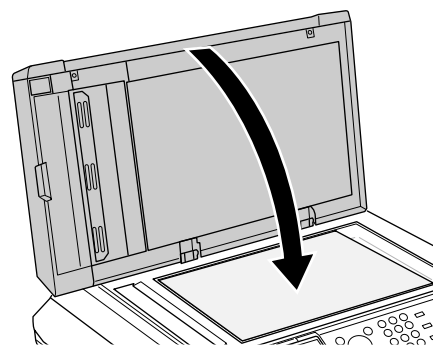
印刷する面は手前

エッジガイドをつまんで動かし、
用紙の側面に合わせる

②

写真用紙、ハガキも同じ
ようにセット

ハガキのセット方向

封筒のセット方向

原稿のセット

オートドキュメントフィーダへのセット

!重要

- 原稿は継ぎ足してセットしないでください。継ぎ足してセットすると紙詰まりの原因になります。

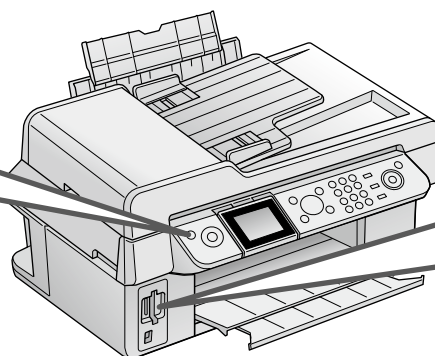
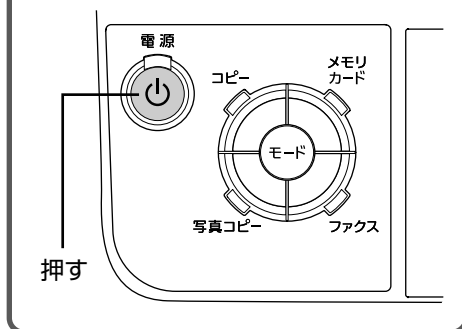
原稿台へのセット

!重要

- 原稿をセットする前に、原稿台や原稿カバーのゴミや汚れを取り除いてください。
- スキャンが終了したら、原稿を取り出してください。原稿を長時間セットしたままにすると原稿台に貼り付くおそれがあります。

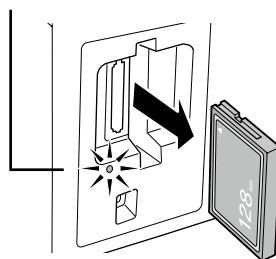
メモリカードのセットと取り出し

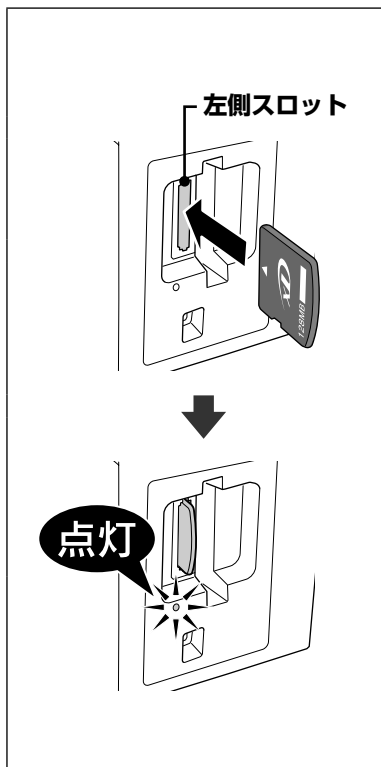
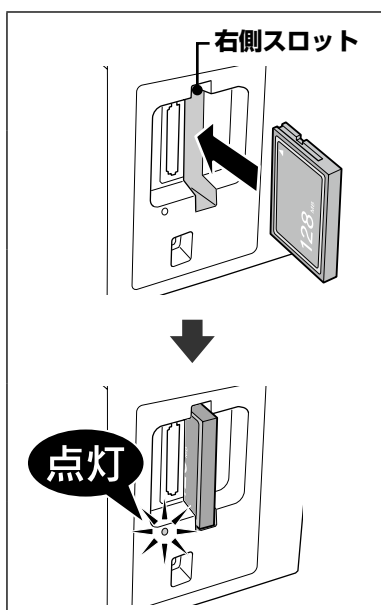
メモリカードのセット

！重要

- ランプが点滅しているとき（通信中）は、メモリカードを取り出さないでください。保存されているデータが壊れるおそれがあります。
- メモリカードは 1 枚だけセットしてください。複数のメモリカードを同時にセットすると、正常に認識されないことがあります。

メモリカードの取り出し

取り出し方は、左側 / 右側スロットともに同じです。

！重要

- パソコンでメモリカードドライブとして使用しているときは、以下を参照して取り出してください。
  ☞『活用＋サポートガイド』（電子マニュアル）－「メモリカードドライブとしての使い方」

2 メモリカードを 1 枚だけ挿入する

セット位置	メモリカードの種類		
左側スロット 点灯	挿入方向		xD-Picture Card ™ xD-Picture Card ™ Type M xD-Picture Card ™ Type H
			メモリースティック メモリースティック PRO マジックゲートメモリースティック
			SD メモリーカード SDHC メモリーカード マルチメディアカード マルチメディアカードプラス
		メモリースティックサイズの専用アダプタを使用	メモリースティック Duo メモリースティック PRO Duo マジックゲートメモリースティック Duo メモリースティック マイクロ
		SD メモリーカードサイズの専用アダプタを使用	miniSD カード miniSDHC カード microSD カード microSDHC カード
右側スロット 点灯	挿入方向		コンパクトフラッシュ
			マイクロドライブ

※ 上記は 2007 年 12 月現在の情報です。最新情報はエプソンのホームページの「よくあるご質問（FAQ）」でご確認ください。
< http://www.epson.jp/faq/ >

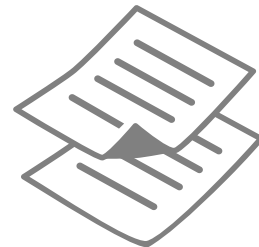
［用紙種類］の設定

最適な印刷結果を得るためには、印刷用紙に適した［用紙種類］の設定をしてください。

<table>
<tr><th rowspan="2"></th><th rowspan="2">用紙名称</th><th colspan="3">［用紙種類］の設定</th></tr>
<tr><th>コピー</th><th>メモリカード印刷</th><th>パソコンから印刷</th></tr>
<tr><td rowspan="3">写真用紙</td><td>写真用紙クリスピア
＜高光沢＞</td><td colspan="2">EPSON クリスピア</td><td>EPSON 写真用紙クリスピア</td></tr>
<tr><td>写真用紙＜光沢＞
写真用紙＜絹目調＞</td><td colspan="2">写真用紙</td><td>EPSON 写真用紙</td></tr>
<tr><td>写真用紙エントリー＜光沢＞</td><td colspan="2">写真用紙エントリ</td><td>EPSON 写真用紙エントリー</td></tr>
<tr><td rowspan="2">マット紙</td><td>フォトマット紙</td><td colspan="2">フォトマット紙</td><td>EPSON フォトマット紙</td></tr>
<tr><td>スーパーファイン紙</td><td>スーパーファイン紙</td><td>×</td><td>EPSON スーパーファイン紙</td></tr>
<tr><td>普通紙</td><td>両面上質普通紙＜再生紙＞
コピー用紙 / 事務用普通紙</td><td colspan="2">普通紙</td><td>普通紙</td></tr>
<tr><td rowspan="4">ハガキ</td><td>郵便ハガキ（再生紙）*1</td><td colspan="2">宛名面：郵便ハガキ
通信面：郵便ハガキ</td><td>郵便ハガキ（再生紙）</td></tr>
<tr><td>往復郵便ハガキ*1</td><td colspan="2">×</td><td>郵便ハガキ（再生紙）</td></tr>
<tr><td>郵便ハガキ
（インクジェット紙）*1</td><td colspan="2">宛名面：郵便ハガキ
通信面：郵便 IJ ハガキ</td><td>宛名面：郵便ハガキ
（再生紙）
通信面：郵便ハガキ
（インクジェット紙）</td></tr>
<tr><td>スーパーファイン専用ハガキ</td><td colspan="2">宛名面：郵便ハガキ
通信面：郵便 IJ ハガキ</td><td>宛名面：普通紙
通信面：EPSON スーパー
ファイン紙</td></tr>
<tr><td>バラエティ
用紙</td><td>スーパーファイン専用
ラベルシート</td><td>スーパーファイン紙</td><td>×</td><td>EPSON スーパーファイン紙</td></tr>
<tr><td>封筒</td><td>封筒</td><td colspan="2">×</td><td>封筒*2</td></tr>
</table>

×：セット（印刷）できません。

＊ 1： 郵便事業株式会社製

＊ 2： 長形 3 号 /4 号封筒は、Windows パソコンからの印刷のみに対応しています（Mac OS は非対応）。

コピー

この章では、コピーの方法について説明しています。

まずは基本操作を覚えよう !!

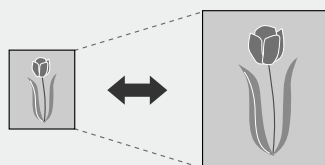
コピーの **基本**

準備 用紙セット、原稿セット

操作 パネル設定

☞20 ページ

設定を変えてみよう !!

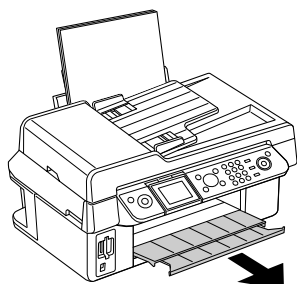
コピーの印刷設定
（倍率や濃度など）

☞22 ページ

●こんなこともできます

写真コピー

☞24 ページ

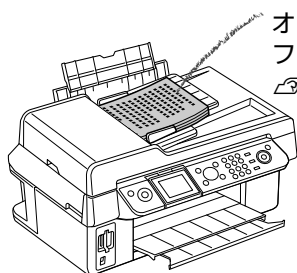
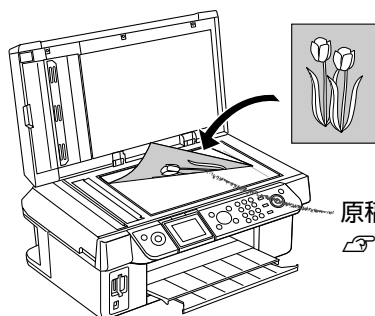
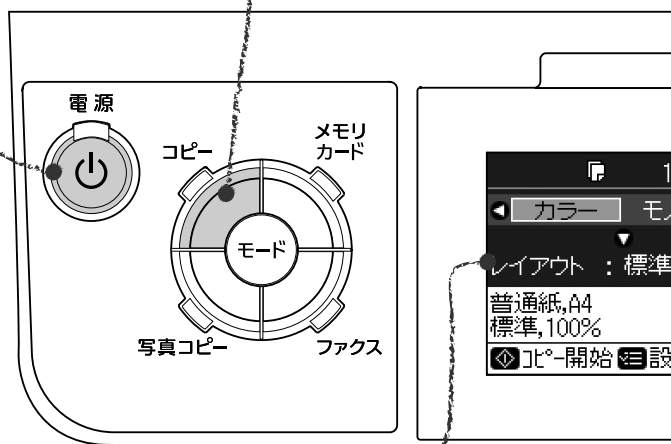
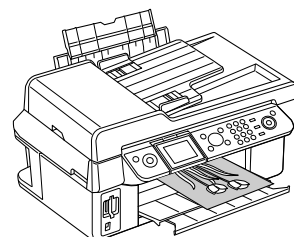
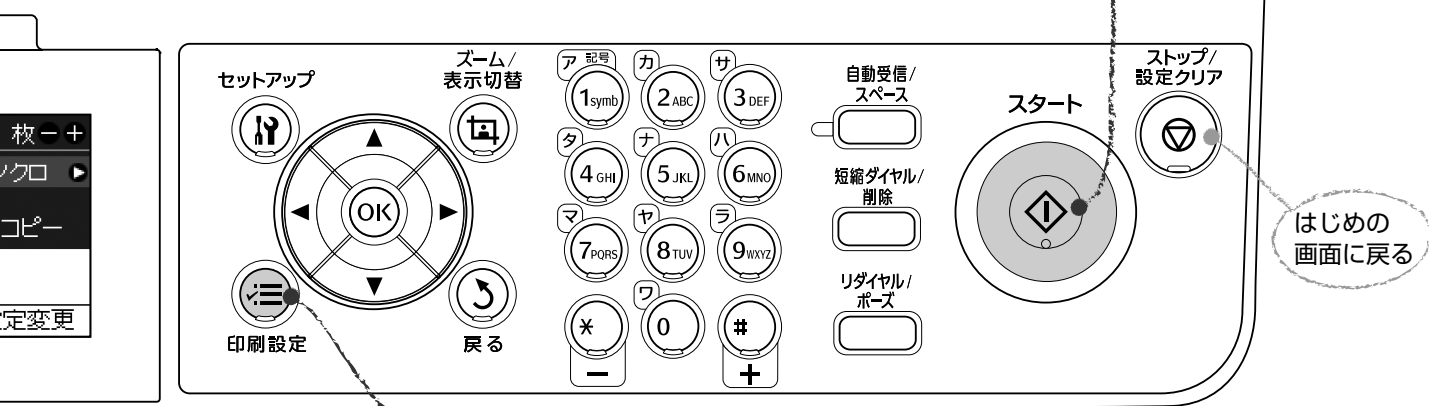
焼き増し

引き伸ばし

準備

1 印刷用紙をセット

☞13 ページ「印刷用紙のセット」

2 排紙トレイを開いて引き出す

3 原稿をセット

操作

4 印刷設定（【印刷設定】ボタンで表示）

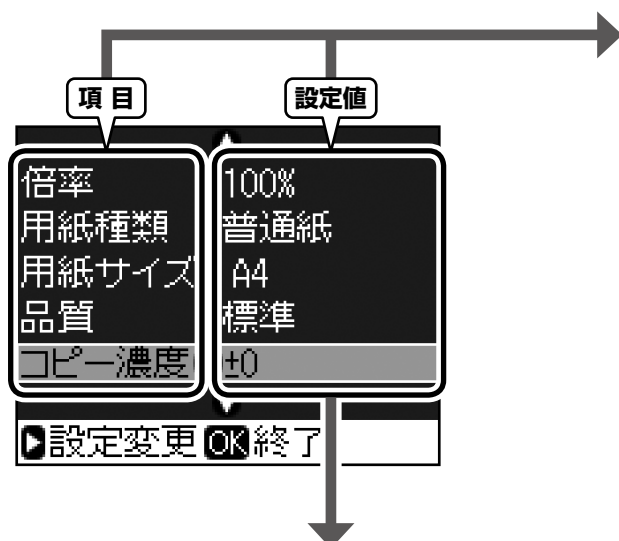
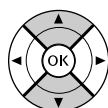
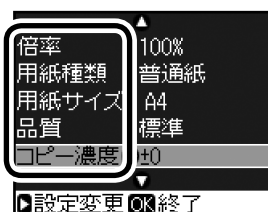
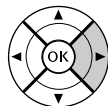
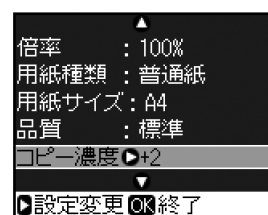
★［用紙種類］→［用紙サイズ］の順で必ず設定

詳しくは ☞22ページ「コピーの印刷設定」

コピー

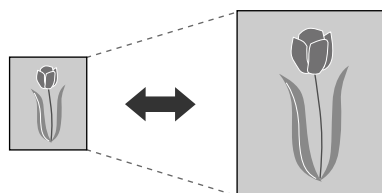
コピーの印刷設定

印刷設定

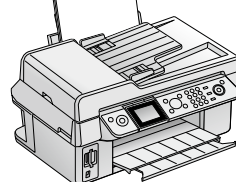
21 ページ手順❹の印刷設定では、コピーの倍率や濃度、用紙の設定などができます。項目と設定値は右側をご覧ください。

設定値の変更方法

上図以外の項目や設定値は、【▽】か【△】ボタンで表示されます。

項目と設定値

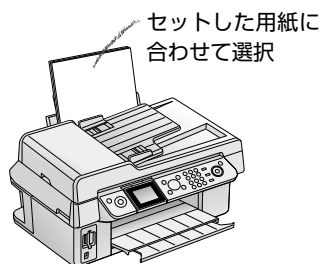
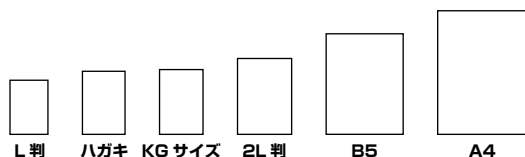
倍率

コピー倍率を選択

- オートフィット（用紙サイズに合わせて拡大 / 縮小）

※ 任意の倍率を設定するときは、［等倍］を選択して【+】または【－】ボタンを押してください。

用紙種類

セットした用紙	設定
両面上質普通紙<再生紙>、事務用普通紙	普通紙
写真用紙クリスピア<高光沢>	EPSON クリスピア
写真用紙<光沢>、写真用紙<絹目調>	写真用紙
写真用紙エントリー<光沢>	写真用紙エントリ
フォトマット紙	フォトマット紙
スーパーファイン紙、スーパーファイン専用ラベルシート	スーパーファイン紙
郵便ハガキ（インクジェット紙）の通信面、スーパーファイン専用ハガキの通信面	郵便 IJ ハガキ
郵便ハガキ（再生紙）、ハガキの宛名面	郵便ハガキ

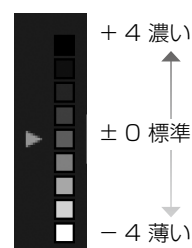
※用紙種類や用紙サイズなど、組み合わせによっては設定できない項目もあります。

用紙サイズ

用紙種類に対応したサイズだけが表示されます。

品質

コピー品質を選択

＊1：速度優先のため薄く印刷します。

コピー濃度

コピー濃度を選択

フチなし領域

フチなしコピーの拡大率を選択

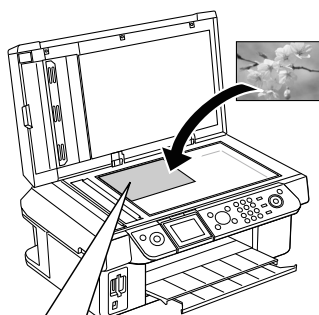
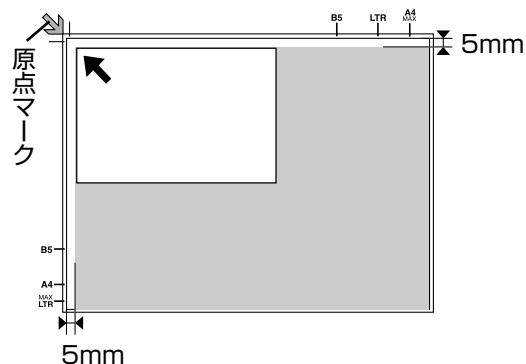
フチなしコピーは、余白をなくすために少し拡大して印刷します。［少ない］［より少ない］を選択すると、余白が出ることがあります。

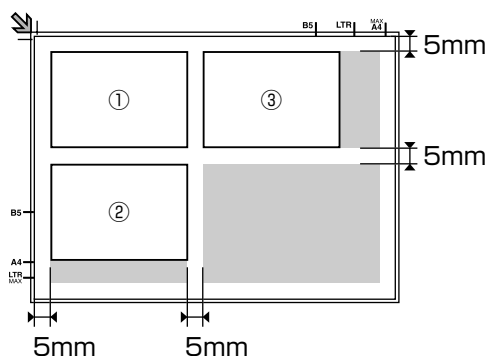
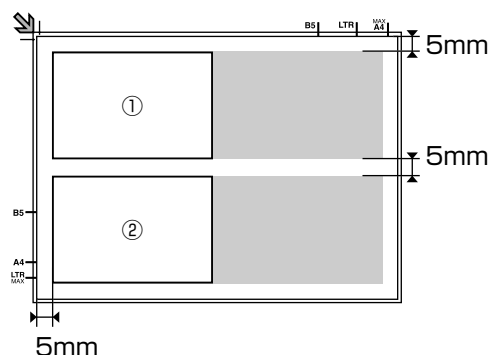
写真コピー

写真の焼き増し / 引き伸ばしが簡単にできます。また、L判写真などを複数枚同時にコピーすることもできます。

1 印刷用紙（写真用紙またはフォトマット紙）をセットします。

☞ 13 ページ「印刷用紙のセット」

2 写真原稿をセットします。

写真原稿は、スキャンする面を下にして、手で押さえながらセットしてください。

複数枚同時にコピーするときは、下図①②③の位置に、①→②→③の順で傾かないようにセットしてください。

＜ L 判 /E 判サイズ（3 枚まで）＞

＜ KG サイズ（2 枚まで）＞

※ 2L 判サイズは、1 枚だけセットしてください。

※ うまくコピーできないときは、1 枚ずつセットしてください。

参考

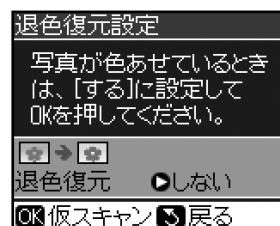
- スキャンできる原稿のサイズは、最小で 30 × 40mm、最大で 127 × 178mm（2L 判）までです。
- 余白（フチ）のある写真や、周囲に白い部分のある写真は、原稿が認識されないことがあります。

3 【写真コピー】ボタンを押して、写真モードにします。

4 画面のメッセージを確認します。

開始

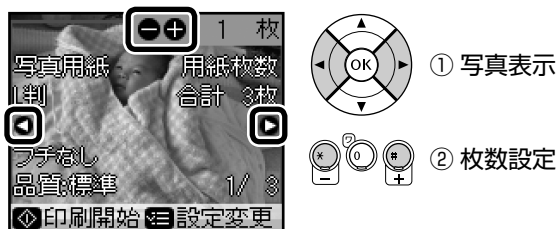
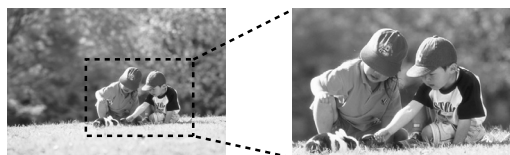
5 仮スキャンを開始します。

開始

参考

- 写真原稿が色あせているときは、［退色復元］を［する］に設定すると、色合いを復元してコピーできます。

6 写真ごとに焼き増し枚数を設定します。

① 写真表示

② 枚数設定

- 【ズーム / 表示切替】ボタンを押すと、写真の一部をズームアップして印刷できます。ただし、ズーム枠の向きは変更（回転）できません。
  ☞56 ページ「ズームアップして印刷」

7 【印刷設定】ボタンを押して、印刷設定をします。

☞ 50 ページ「印刷設定」

8 【スタート】ボタンを押して、コピーを開始します。

以上で、操作は終了です。

ファクス

この章では、ファクスの送受信方法について説明しています。
ファクス機能を使うときは、**常に電源をオン**の状態にしておいてください。

まずは初期設定をしよう !!

セットアップ

①電話回線の接続

②回線種別の設定

☞28 ページ

ファクス送信をしよう !!

ファクス送信の **基本**

準備 原稿セット

操作 パネル設定

☞30 ページ

●こんなこともできます

短縮ダイヤルで送信 ☞34 ページ

リダイヤル送信 ☞34 ページ

指定した時刻に送信 ☞35 ページ

自動受信 ☞37 ページ

手動受信 ☞38 ページ

ファクス情報サービスを利用して受信 ☞39 ページ

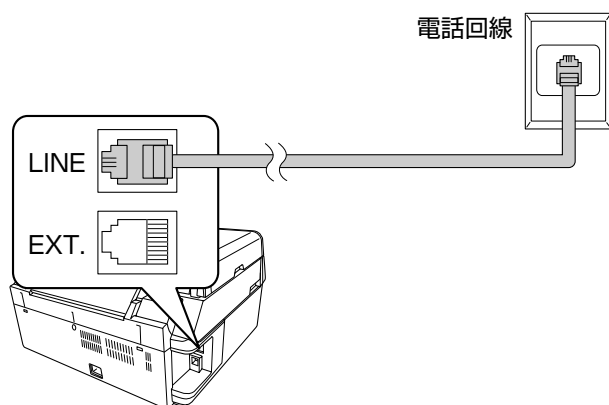
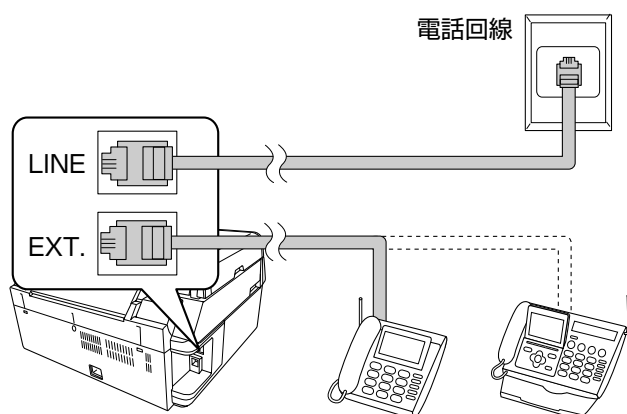
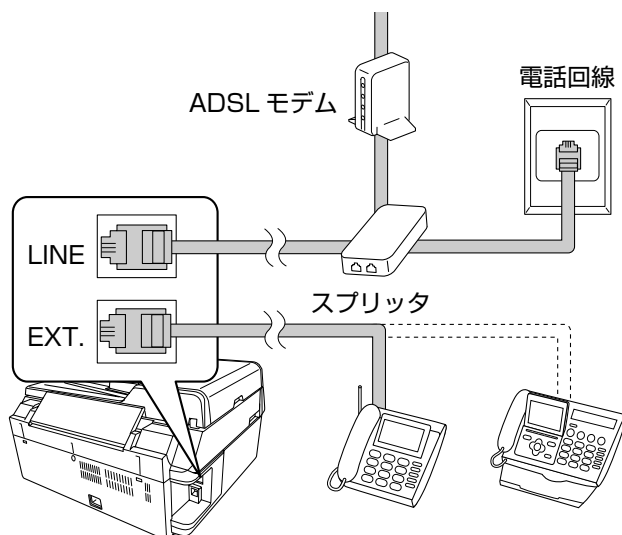
セットアップ

ファクスとして使用するには、本製品を電話回線に接続して、回線の種別を設定する必要があります。

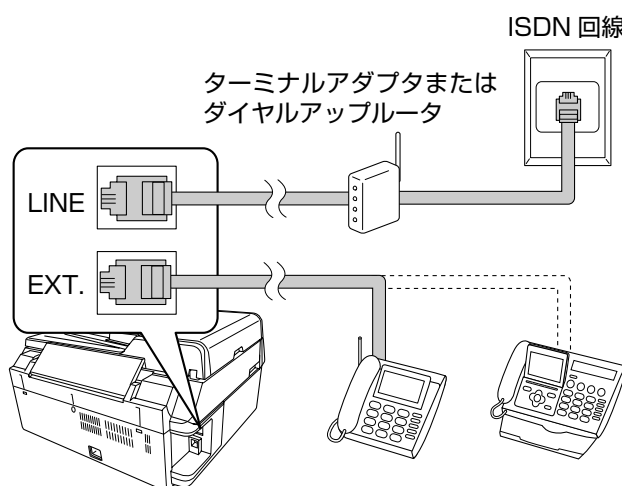
①電話回線の接続

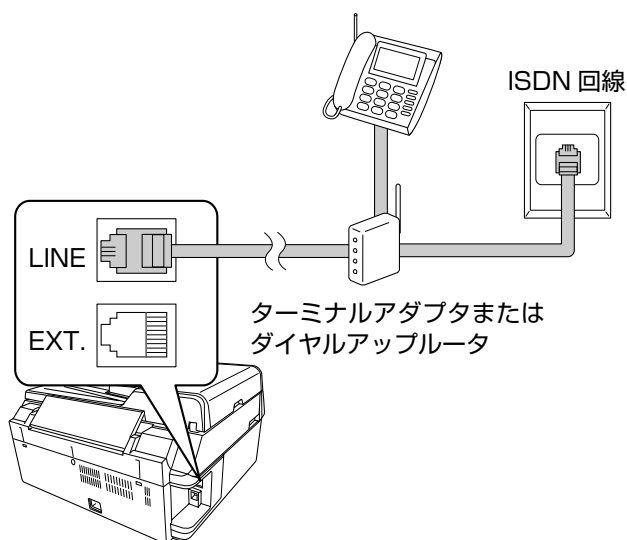
!重要

- 接続の前に、対応の電話回線をご確認ください。
  ☞96 ページ「ファクス部基本仕様」－「対応回線」
- 本書で説明している接続方法は代表的な例です。
  すべての接続方法を保障するものではありません。

一般回線に接続する場合

一般回線に接続して外付電話機を接続する場合

ADSL 回線に接続する場合

詳しくは ADSL モデムに付属している取扱説明書をご覧ください。

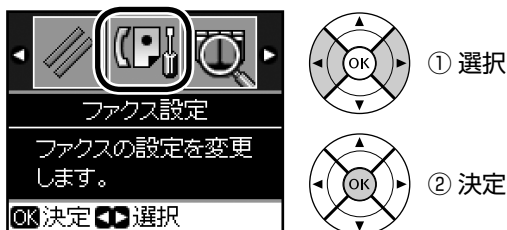
※ この接続方法は代表的な例です。すべての接続を保証するものではありません。

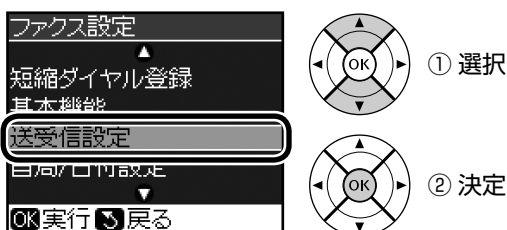
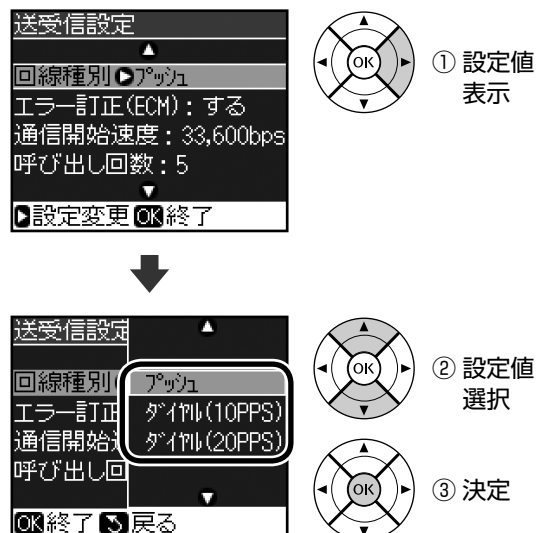
ISDN 回線に接続する場合（電話番号が 1 つのとき）

詳しくはターミナルアダプタまたはダイヤルアップルータに付属している取扱説明書をご覧ください。

ISDN 回線に接続する場合（電話番号が 2 つのとき）

詳しくはターミナルアダプタまたはダイヤルアップルータに付属している取扱説明書をご覧ください。

②回線種別の設定

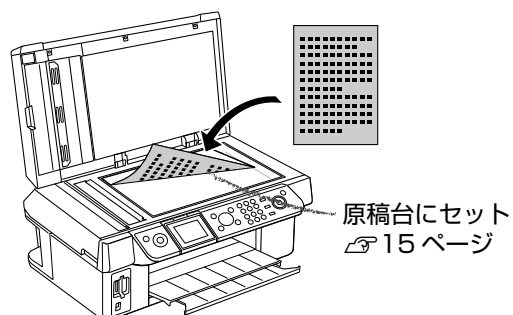
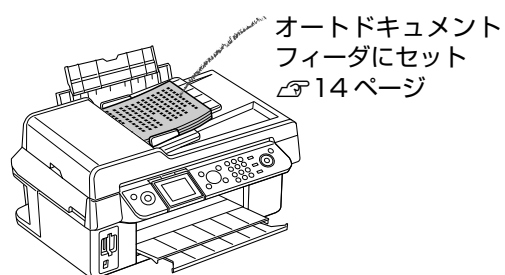
ファクス通信するための回線を設定します。

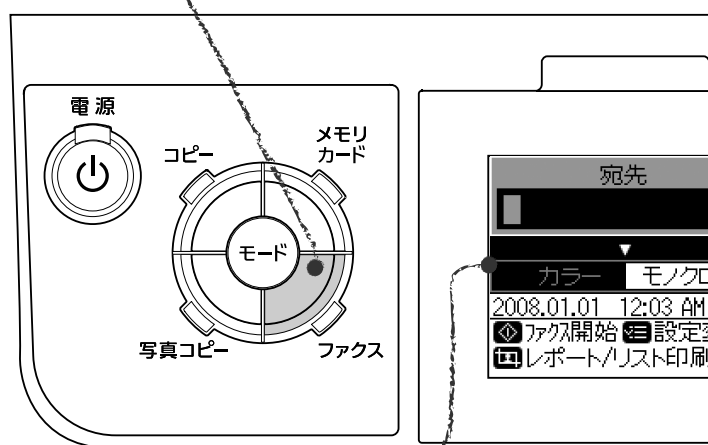
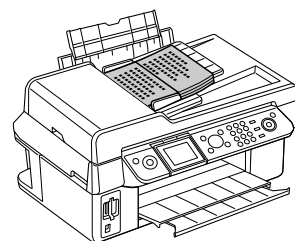
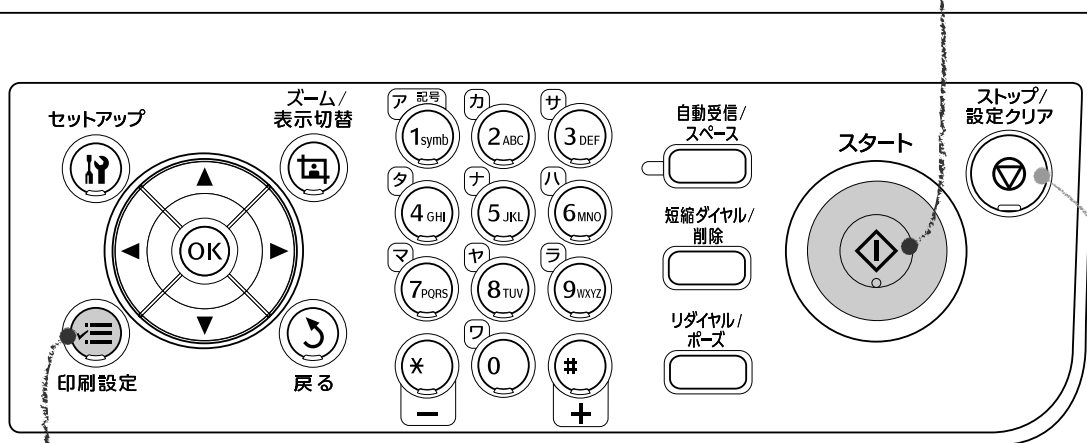
1 【セットアップ】ボタンを押して、セットアップモードにします。

2 ［ファクス設定］を選択します。

3 ［送受信設定］を選択します。

4 ［回線種別］を設定します。

設定	内容
プッシュ	プッシュ回線（電話機のダイヤルボタンを押したときに「ピッポッパッ」という音がするタイプの回線）
ダイヤル（10PPS）	ダイヤル回線（電話機のダイヤルボタンを押したときに、「カタカタカタ」または「ジージージー」という音がするタイプの回線）
ダイヤル（20PPS）	

以上で、ファクス機能の初期設定は終了です。

- 使用している回線種別がわからないときは、［プッシュ］→［ダイヤル（20PPS）］→［ダイヤル（10PPS）］の順に設定を変えてダイヤルできるかどうか試してみてください。
- この状態でファクスの送受信ができますが、必要に応じて以下も設定してください。
  ☞42 ページ「自局名 / 自局番号登録」

ファクス

ファクス送信の基本

原稿をセット

（【印刷設定】ボタンで表示）

詳しくは…
☞32 ページ「ファクス送信設定」

その他のファクス機能

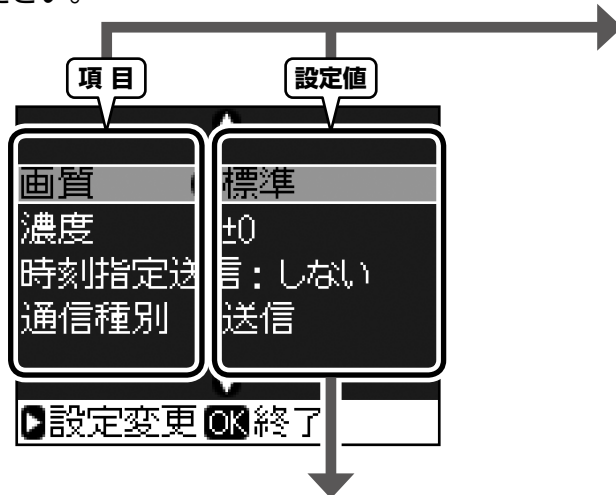
- **短縮ダイヤルで送信**
  ☞34 ページ
- **リダイヤル送信**
  ☞34 ページ
- **手動送信**
  ☞35 ページ
- **時刻指定送信**
  ☞35 ページ
- **自動受信**
  ☞37 ページ
- **手動受信**
  ☞38 ページ
- **ポーリング受信**
  ☞39 ページ

参考

- 本製品では以下のファクス送信はできません。
  - ・複数の相手に一度に送信する（同報送信）
  - ・パソコンに接続してパソコンからファクスを送信する（PC ファクス送信）

ファクス送信設定

印刷設定

31 ページ手順❸のファクス送信設定では、ファクス送信の画質や濃度、時刻指定送信、通信種別などを設定できます。項目と設定値は右側をご覧ください。

設定値の変更方法

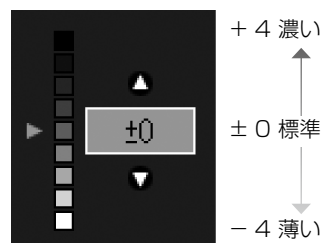
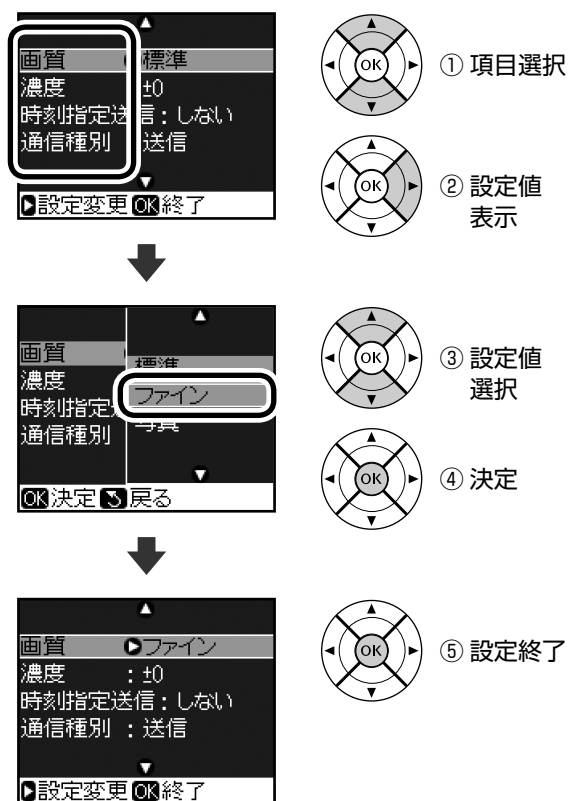
項目と設定値

画質

ファクス送信の画質を選択

- 文字や写真が混在する原稿は、画質で［写真］を選択すると、よりきれいに送信できます。
- 送信するファクスの画像や画質によって、ファクス送信にかかる時間は異なります。

濃度

ファクス送信の濃度を選択

濃度の薄い原稿（エンピツ書きのような原稿）を送信するときは、濃度の設定を濃くしてください。

時刻指定送信

指定した時刻にファクスを送信します。

35 ページ「指定した時刻に送信」

通信種別

ファクス送信するかポーリング受信（ファクス情報サービスなどを利用したファクス受信）するかを選択

39 ページ「ファクス情報サービスを利用して受信（ポーリング受信）」

その他のファクス送信

短縮ダイヤルで送信

ファクスをよく送る宛先を短縮ダイヤルとして登録しておくと、登録した宛先を呼び出してファクスを送信できます。送信のたびに番号を入力する必要がないため便利です。

参考

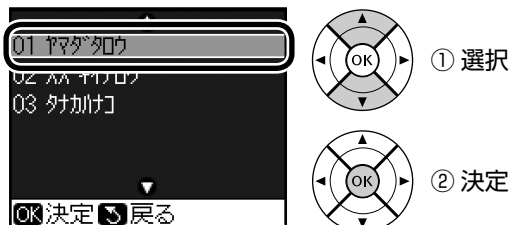
- 短縮ダイヤルの登録方法は、以下をご覧ください。
  40 ページ「短縮ダイヤル登録 / 編集 / 削除」

1 **【ファクス】ボタンを押して、ファクスモードにします。**

2 **原稿をセットします。**

14 ページ「原稿のセット」

3 **【短縮ダイヤル / 削除】ボタンを押します。**

4 **短縮ダイヤルを選択します。**

5 **必要に応じて【印刷設定】ボタンを押して、ファクス送信の設定をします。**

32 ページ「ファクス送信設定」

6 **送信するファクスの種別（カラーまたはモノクロ）を選択します。**

選択

7 **【スタート】ボタンを押して、ファクスを送信します。**

送信が終了したら、セットした原稿を取り除いてください。

以上で、操作は終了です。

同じ宛先にもう一度送信（リダイヤル送信）

一度ファクスを送信した宛先に、ボタン 1 つでもう一度送信（リダイヤル送信）できます。

1 **【ファクス】ボタンを押して、ファクスモードにします。**

2 **原稿をセットします。**

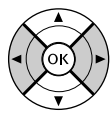
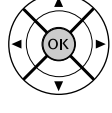
14 ページ「原稿のセット」

3 **【リダイヤル / ポーズ】ボタンを押します。**

4 **送信するファクスの種別（カラーまたはモノクロ）を選択します。**

選択

5 **【スタート】ボタンを押して、ファクスを送信します。**

送信が終了したら、セットした原稿を取り除いてください。

以上で、操作は終了です。

手動送信

ファクスを送信する前に通話したいときや、相手のファクスが自動的に切り替わらないときは、以下の手順で送信してください。

参考

- 手動送信を行うためには、本製品に外付電話機が接続されている必要があります。

1 原稿をセットします。

☞ 14 ページ「原稿のセット」

2 外付電話機の受話器を上げます。

3 ［送信］を選択して【OK】ボタンを押します。

4 外付電話機の受話器を上げて、送信先にダイヤルします。

5 ファクス信号（「ピー」音）が聞こえたら、【スタート】ボタンを押して受話器を置きます。

以上で、操作は終了です。

指定した時刻に送信

ファクスの送信時刻を指定できます。

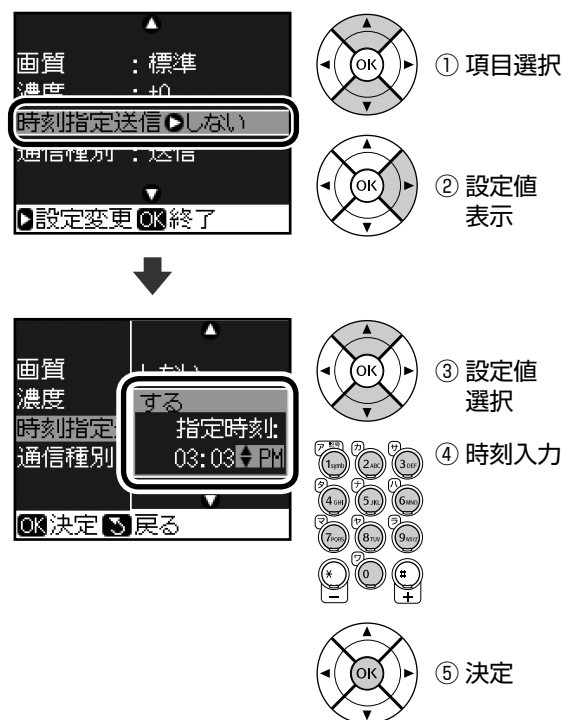
1 【ファクス】ボタンを押して、ファクスモードにします。

2 原稿をセットします。

☞ 14 ページ「原稿のセット」

3 送信先のファクス番号を入力するか、【短縮ダイヤル / 削除】ボタンを押して登録した短縮ダイヤルを選択します。

☞ 34 ページ「短縮ダイヤルで送信」

4 【印刷設定】ボタンを押して、［時刻指定送信］を設定します。

5 他の項目も設定し、【OK】ボタンを押して設定を終了します。

つづく

ファクス

6 **【スタート】ボタンを押して、原稿のスキャンを開始します。**

スキャンが終了すると以下の画面になり、指定時刻に送信されます。
セットした原稿を取り除いてください。

宛先
0011223
送信指定時刻 03:03 PM
2008.01.01　12:00 AM
中止

参考

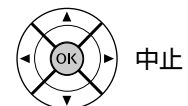
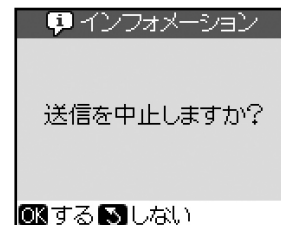
- 時刻指定送信を設定すると、指定時刻までの間、他のファクスを送信できません。他のファクスを送信したいときは、【ストップ / 設定クリア】ボタンを押して、一旦時刻指定送信を中止してください。ファクス送信が終了したら、もう一度時刻指定送信の設定をしてください。
- 時刻指定送信で送信できるファクスはモノクロのみです。カラーファクスは送信できません。

以上で、操作は終了です。

送信の中止方法

原稿の読み取り中または送信中に、送信を中止するときは、以下の手順に従ってください。

1 **【ストップ / 設定クリア】ボタンを押します。**

2 **表示された画面を確認して、【OK】ボタンを押します。**

以上で、操作は終了です。

ファクス受信

ファクスを受信する方法は 3 通りあります。

自動受信

写真印刷やパソコン印刷よりもファクス使用が多いときは、自動受信をお勧めします。
なお、ファクスの受信に備えて、普段はオートシートフィーダに A4 または US レターサイズの普通紙をセットしておくことをお勧めします。

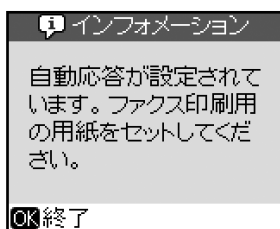
1　普通紙（A4 または US レターサイズ）をセットします。

☞ 13 ページ「印刷用紙のセット」

- セットした用紙のサイズが、［ファクス設定］の［用紙サイズ］と合っていることを確認してください。
  ☞46 ページ「送受信の初期設定」

2　【自動受信 / スペース】ボタンを押して、自動受信モードにします。

以下の画面が表示されて、自動受信ランプが点灯します。

インフォメーション
自動応答が設定されています。ファクス印刷用の用紙をセットしてください。
OK 終了

この後、ファクス信号を検出すると、設定されている回数の呼び出し音が鳴りファクスが受信されます。受信終了後、ファクスデータが印刷されます。

! 重要

- 本製品に外付電話機が接続されていないときは、必ず自動受信モードに設定してください。自動受信モードに設定しないと、ファクスを受信できません。

参考

- 本製品に留守番電話機を接続して留守番電話機能を有効にしているとき、本製品が自動受信するまでの呼び出し回数は、留守番電話機の呼び出し回数より多く設定してください。少なく設定すると、先に本製品がファクス受信の応答を始めてしまうため、留守番電話機への録音や通常通話ができません。
  呼び出し回数の設定方法は、以下をご覧ください。
  ☞44 ページ「送受信設定」
- 留守番電話の応答中にファクス信号を検出したときは、自動的にファクス受信に切り替わります。
- 本製品に外付電話機が接続されておらず、操作パネルの着信音 / 操作音の設定がオフになっていると、着信音は鳴りません。
  ☞73 ページ「着信音 / 操作音の設定」
- 着信中に外付電話機の受話器を上げてファクス信号（「ポー」音）が聞こえたときは、受話器を置かずにそのままお待ちください。自動的にファクス受信に切り替わります。ファクス信号が聞こえなくなり「接続中です。」という画面が表示されたら、受話器を置いてください。
- ファクス受信中にエラー状態になったとき、またはエラー状態でファクスを受信したときは、受信したファクスデータは本製品のメモリに記録されます。エラー状態から回復するとファクスの印刷が再開されます。手動受信、ポーリング受信も同様です。
- 受信したファクスデータは本製品のメモリに保存されますが、本製品の電源をオフにすると、すべての受信ファクスデータが消去されます。手動受信、ポーリング受信も同様です。

以上で、操作は終了です。

手動受信

ファクスよりも写真印刷、パソコン印刷、電話などの使用が多いときは、一旦電話に出て相手がファクスかどうかを確認してからファクスを受信する手動受信をお勧めします。

参考

- 手動受信を行うためには、本製品に外付電話機が接続されている必要があります。
- 手動受信モードでは、留守番電話の応答中にファクス信号を検出しません。外出など不在時にファクスを受信するときは、必ず受信モードを自動受信に切り替えてください。

1 **普通紙（A4 または US レターサイズ）をセットします。**

☞ 13 ページ「印刷用紙のセット」

参考

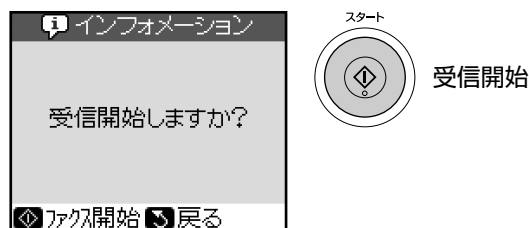
- セットした用紙のサイズが、［ファクス設定］の［用紙サイズ］と合っていることを確認してください。
☞46 ページ「送受信の初期設定」

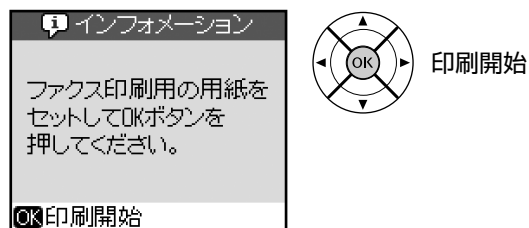
2 **自動受信ランプが点灯しているときは、【自動受信 / スペース】ボタンを押して自動受信モードを解除します。**

3 **外付電話機の呼び出し音が鳴ったら、受話器を上げます。**

4 **通常の電話の場合は、通話を続けます。
ファクス信号（「ポー」音）が聞こえた場合は、【◁】か【▷】ボタンで［受信］を選択して【OK】ボタンを押します。**

5 **【スタート】ボタンを押してから、外付電話機の受話器を置きます。**

ファクス受信が開始されます。

6 **表示された画面を確認して、【OK】ボタンを押します。**

ファクスの印刷が開始されます。

参考

- 外付け電話機の子機でファクス信号を受信したときは、通話を切らずに手順 4 以降に従ってファクスを受信してください。

以上で、操作は終了です。

ファクス情報サービスを利用して受信（ポーリング受信）

本製品から操作して、相手側のファクスに蓄積された原稿を受信できます。ファクス情報サービスなどから情報を受けるときに使用します。

1 **普通紙（A4 または US レターサイズ）をセットします。**

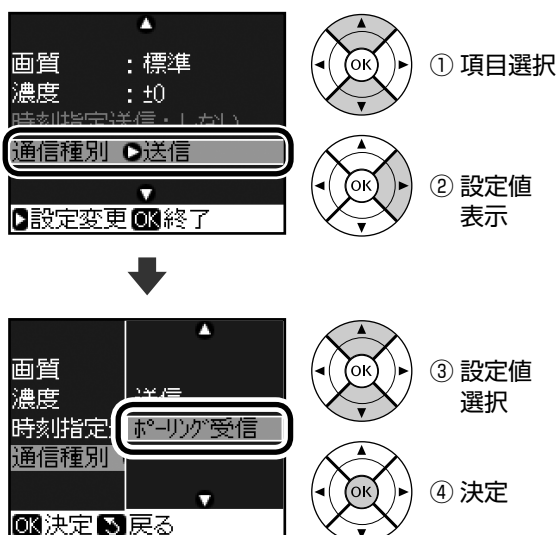
☞ 13 ページ「印刷用紙のセット」

- セットした用紙のサイズが、［ファクス設定］の［用紙サイズ］と合っていることを確認してください。
☞46 ページ「送受信の初期設定」

2 **【ファクス】ボタンを押して、ファクスモードにします。**

3 **【印刷設定】ボタンを押して、［通信種別］を選択し［ポーリング受信］を設定します。**

③ 設定値選択

④ 決定

4 **もう一度【OK】ボタンを押して、ファクス番号を入力し、【スタート】ボタンを押します。**

ファクス受信が開始されます。

5 **以下の画面が表示されたときは、【OK】ボタンを押します。**

ファクスの印刷が開始されます。

インフォメーション
ファクス印刷用の用紙をセットしてOKボタンを押してください。
OK印刷開始

印刷開始

参考

- 自動受信モードでは上記の画面は表示されず、自動的にファクス印刷をします。
- ポーリング受信では、音声ガイダンスに従って操作するファクス情報サービスには対応していません。音声ガイダンスのファクス情報サービスを利用するには、外付電話機を接続して、手動受信の手順 4 以降に従って操作してください。
☞38 ページ「手動受信」

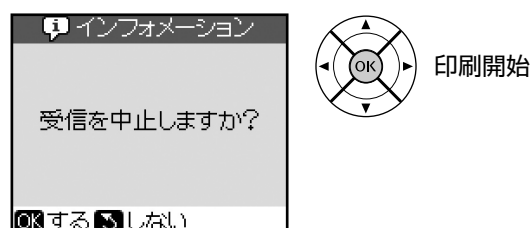
以上で、操作は終了です。

受信の中止方法

ファクス受信を中止するときは、以下の手順に従ってください。

1 **【ストップ / 設定クリア】ボタンを押します。**

2 **表示された画面を確認して、【OK】ボタンを押します。**

印刷開始

以上で、操作は終了です。

ファクス

宛先 / 自局登録

短縮ダイヤル登録 / 編集 / 削除

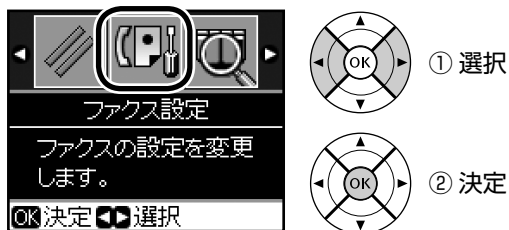
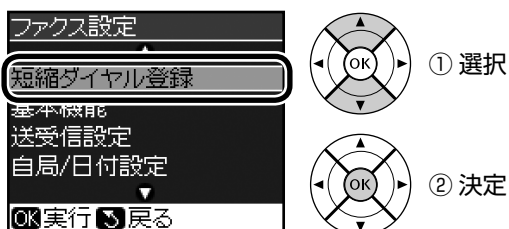
- 短縮ダイヤルでの送信方法は、以下をご覧ください。
☞34 ページ「短縮ダイヤルで送信」

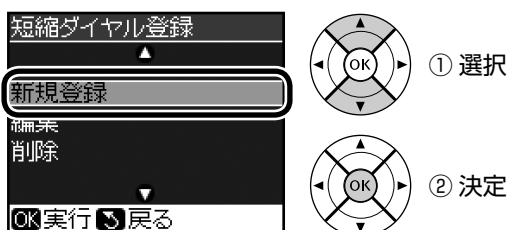
短縮ダイヤル登録

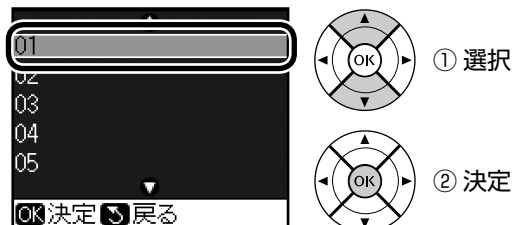
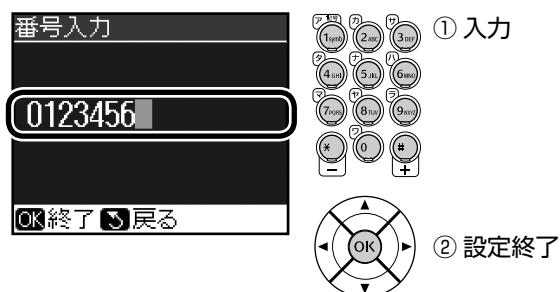
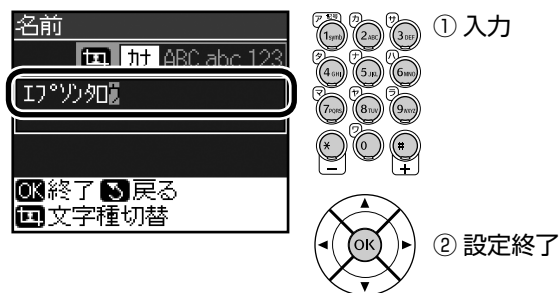
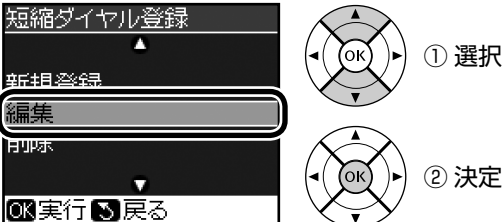
1 【セットアップ】ボタンを押して、セットアップモードにします。

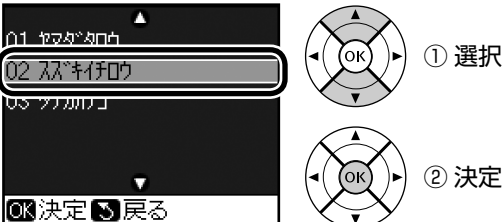
2 [ファクス設定] を選択します。

① 選択

② 決定

3 [短縮ダイヤル登録] を選択します。

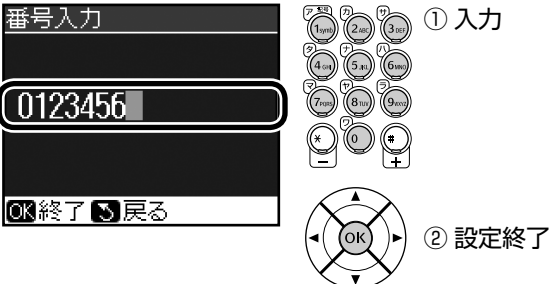
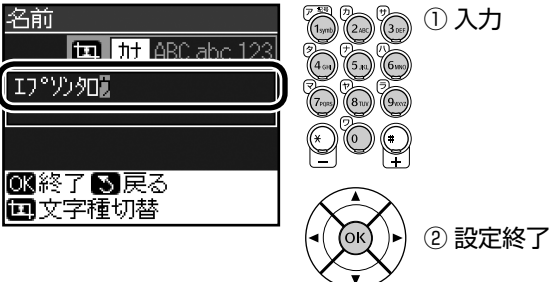
4 [新規登録] を選択します。

5 登録する短縮番号を選択します。

すでに登録されている短縮番号は表示されません。

6 相手先のファクス番号を入力します。

7 短縮ダイヤル一覧に表示される名前を入力します。

参考

- 登録できる短縮ダイヤルは 60 件です。
- 名前は 30 文字まで入力できます。
- 【ズーム / 表示切替】ボタンを押すと、文字種を変更できます。入力できる文字については、以下をご覧ください。
☞95 ページ「文字入力一覧」
- 【短縮ダイヤル / 削除】ボタンを押すと、入力した文字や数字を 1 つ消して戻ります。
- 【自動受信 / スペース】ボタンを押すと、スペース（1 文字分の余白）を入力できます。
- 【◁】か【▷】ボタンでカーソルを移動させて文字や数字を挿入することもできます。
- 入力したデータを、外部メモリにコピーすることはできません。
- パソコンから短縮ダイヤルの登録をすることはできません。

以上で、操作は終了です。

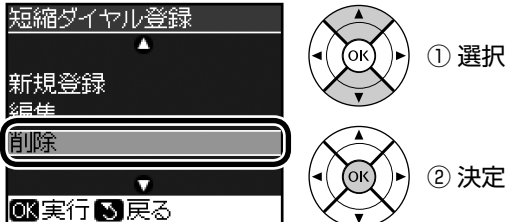
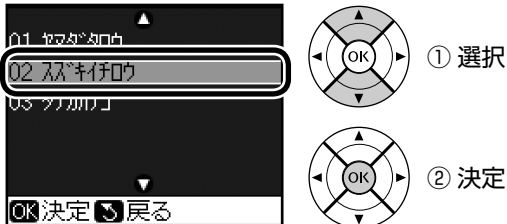
短縮ダイヤル編集

1 **［短縮ダイヤル登録］を選択します。**

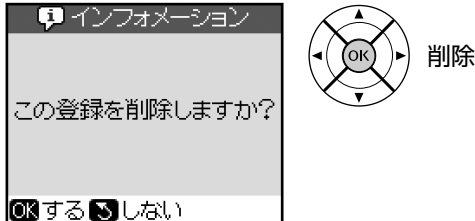
40 ページ「短縮ダイヤル登録」手順 1 ～ 3

2 **［編集］を選択します。**

3 **編集する短縮ダイヤルを選択します。**

4 **番号を変更します。**

変更しないときは【OK】ボタンを押します。

5 **名前を変更します。**

以上で、操作は終了です。

短縮ダイヤル削除

1 **［短縮ダイヤル登録］を選択します。**

40 ページ「短縮ダイヤル登録」手順 1 ～ 3

2 **［削除］を選択します。**

3 **削除する短縮ダイヤルを選択します。**

4 **表示された画面を確認して、【OK】ボタンを押します。**

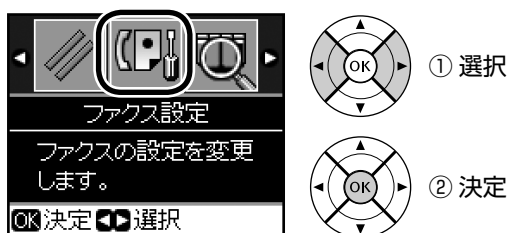
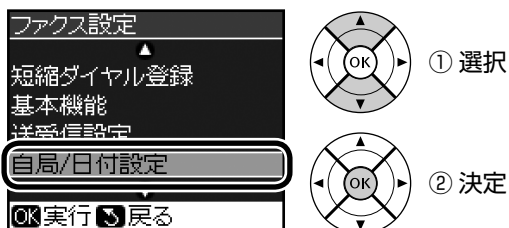
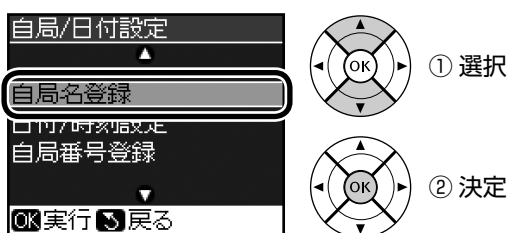
以上で、操作は終了です。

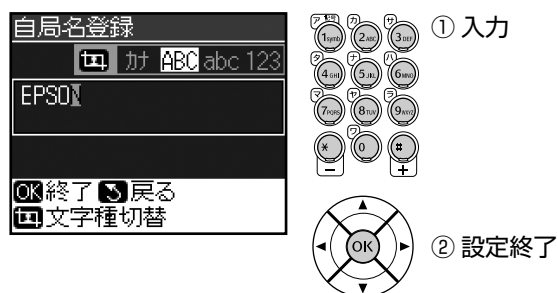
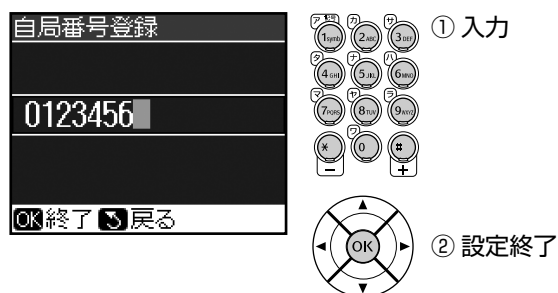
ファクス

自局名 / 自局番号登録

送信ファクスのヘッダー（一番上）に付加される自局名と自局番号を登録できます。

1 【セットアップ】ボタンを押して、セットアップモードにします。

2 ［ファクス設定］を選択します。

3 ［自局 / 日付設定］を選択します。

4 ［自局名登録］または［自局番号登録］を選択します。

5 自局名または自局番号を入力します。

<自局名>

<自局番号>

参考

- 名前は 40 文字まで入力できます。
- 【ズーム / 表示切替】ボタンを押すと、文字種を変更できます。
- 【短縮ダイヤル / 削除】ボタンを押すと、入力した文字や数字を 1 つ消して戻ります。
- 【自動受信 / スペース】ボタンを押すと、スペース（1 文字分の余白）を入力できます。
- 【◁】か【▷】ボタンでカーソルを移動させて文字や数字を挿入することもできます。

以上で、操作は終了です。

各種設定

自動縮小印刷

受信したファクスデータのサイズが設定されている用紙サイズよりも長いときに、自動的に縮小して印刷できます。ただし、データによっては縮小されないことがあります。

1 【セットアップ】ボタンを押して、セットアップモードにします。

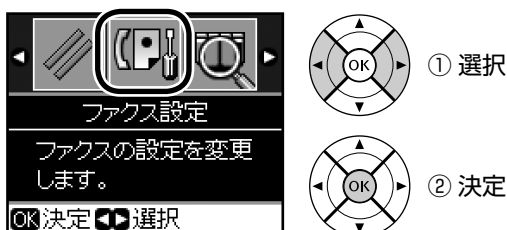
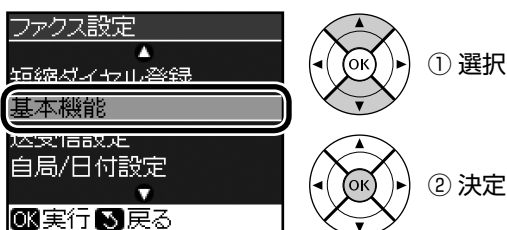
2 ［ファクス設定］を選択します。

① 選択

② 決定

3 ［基本機能］を選択します。

① 選択

② 決定

4 ［自動縮小印刷］を選択します。

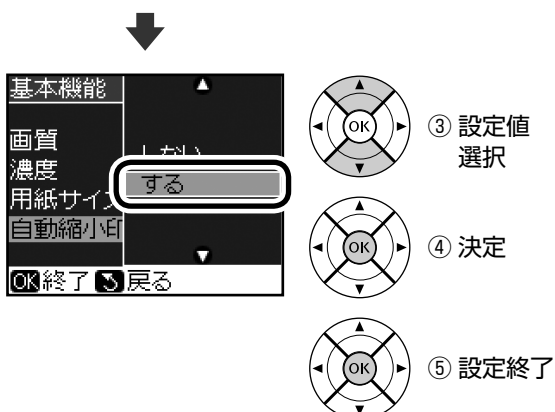
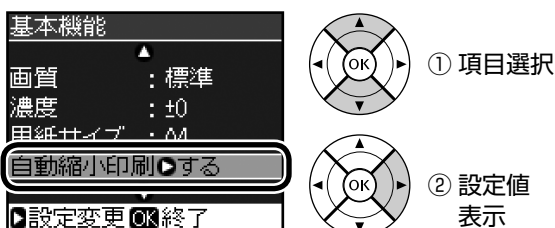
自動縮小印刷を［しない］に設定すると、元データの大きさ（等倍）で印刷されます。

① 項目選択

② 設定値表示

③ 設定値選択

④ 決定

⑤ 設定終了

以上で、操作は終了です。

ファクスレポート / リストの印刷、受信文書の再印刷

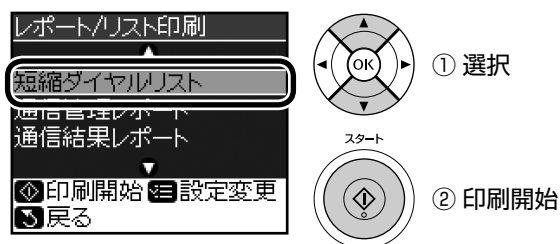
短縮ダイヤルリストやファクス送受信についてのレポートを印刷できます。また、一度印刷したファクスデータを再印刷できます。

1 【ファクス】ボタンを押して、ファクスモードにします。

2 【ズーム / 表示切替】ボタンを押します。

3 レポート / リストを選択して印刷します

① 選択

② 印刷開始

メニュー	内容
短縮ダイヤルリスト	短縮ダイヤルの一覧を印刷します。
通信管理レポート	送受信結果の一覧を印刷します。
通信結果レポート	最後にファクス送信またはポーリング受信した通信結果を印刷します。
受信文書の再印刷	今までに受信したすべてのファクスのうち、本製品のメモリに蓄積されているファクスデータを日付の新しい順から印刷します。
プロトコルログ	最後に送受信したファクスの詳細な通信レポートを印刷します。

参考

- 蓄積された受信ファクスデータが本製品のメモリをオーバーしたときは、古い順から削除されます。削除されたファクスデータは再印刷できません。
- ファクス受信中に停電などによって本製品の電源がオフになると、受信されたデータは保存されません。停電対策が必要なときは、UPS（無停電電源装置）の設置などをご検討ください。
- 未送信データや一度も印刷していない受信データがあるときは、停電レポートが印刷されます。

以上で、操作は終了です。

送受信設定

ファクスの送受信に関するさまざまな設定ができます。

1 【セットアップ】ボタンを押して、セットアップモードにします。

2 ［ファクス設定］を選択します。

① 選択

② 決定

3 ［送受信設定］を選択します。

① 選択

② 決定

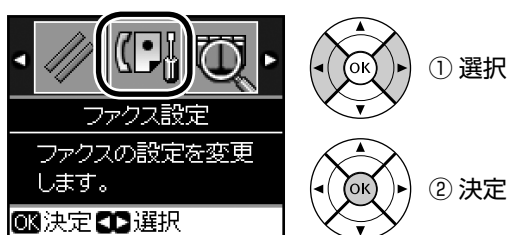
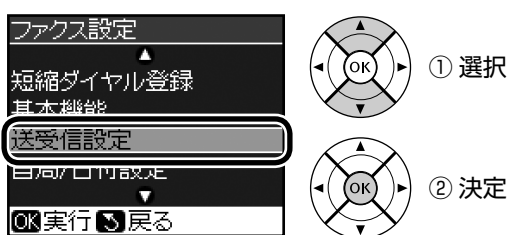
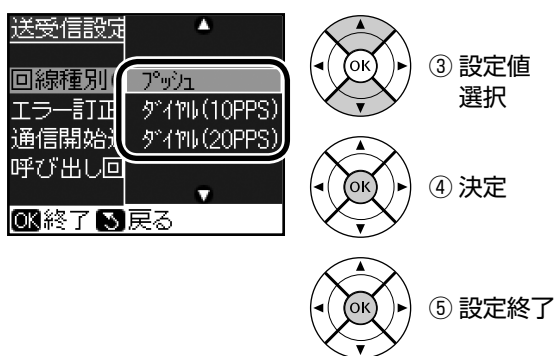
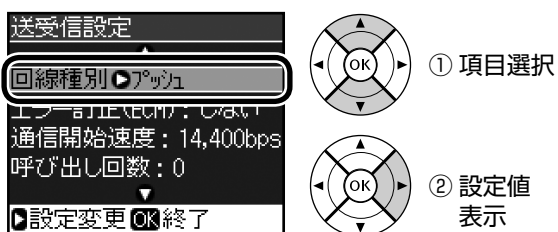
4 各項目を設定します。

① 項目選択

② 設定値表示

③ 設定値選択

④ 決定

⑤ 設定終了

設定項目	設定値 / 説明（＊は初期値）
回線種別	プッシュ*/ ダイヤル（10pps）/ ダイヤル（20pps）
	本製品に接続する電話回線の回線種別を設定します。
エラー訂正（ECM）	する*/ しない
	送信側と受信側で送受信状態を確認しながら通信する自動誤り訂正（ECM）を有効にするかしないかを設定します。回線のトラブルなどによるエラーを自動的に訂正します。
通信開始速度	14,400bps/33,600bps *
	ファクス通信を開始するときの通信速度を設定します。海外との通信、IP 電話環境での通信、通信エラーがひんぱんに起きるときは、14,400bps に設定することをお勧めします。
呼び出し回数	1 ～ 15（初期値 5）
	着信してからファクスを受信するまでの呼び出し回数を設定します。回数を多くし過ぎると、送信側のファクス設定によっては受信できないことがあります。
ダイヤルトーン検出	する*/ しない
	ダイヤルトーンを検出してからダイヤルを開始するかどうかを設定します。「する」に設定すると、早く確実にダイヤルできます。接続環境によってダイヤルできないときは、「しない」に設定してください。ただし、環境によっては「しない」に設定すると番号の最初が抜けるなど誤った番号に接続されてしまう可能性があります。

以上で、操作は終了です。

日付時刻設定

設定した日付と時刻を変更するときは、以下の手順に従ってください。

1 【セットアップ】ボタンを押して、セットアップモードにします。

2 ［ファクス設定］を選択します。

① 選択

② 決定

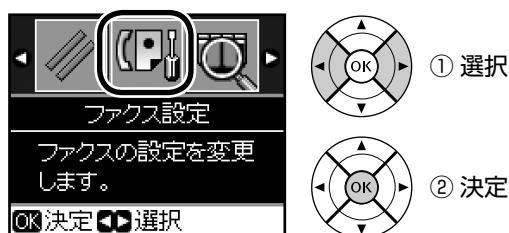
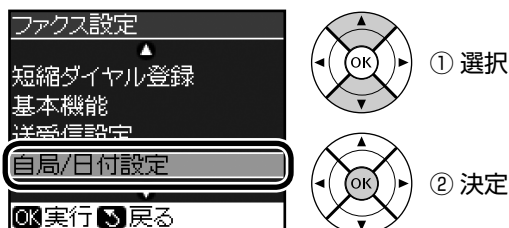
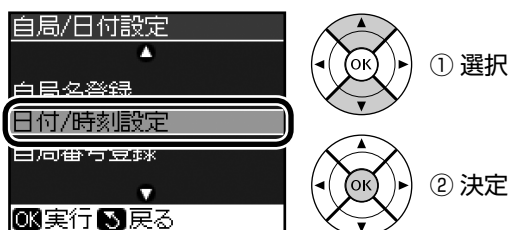
3 ［自局 / 日付設定］を選択します。

① 選択

② 決定

4 ［日付 / 時刻設定］を設定します。

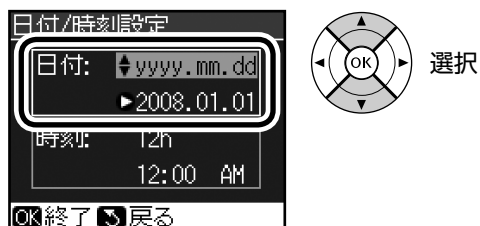
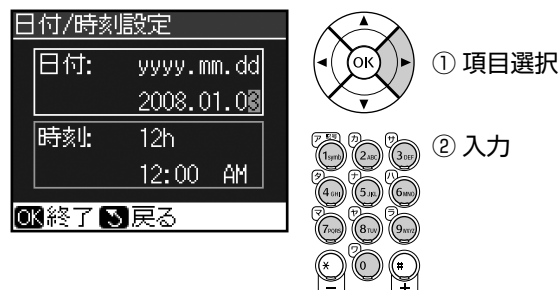
① 選択

② 決定

5 日付（年 . 月 . 日）の表示順を選択します。

選択

6 日付を入力します。

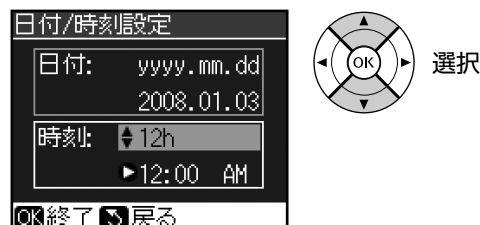
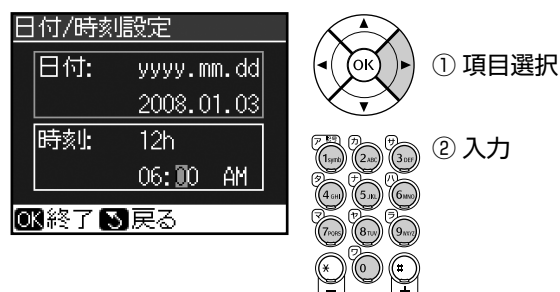
① 項目選択

② 入力

7 時刻の表示方法（12 時間表示 /24 時間表示）を選択します。

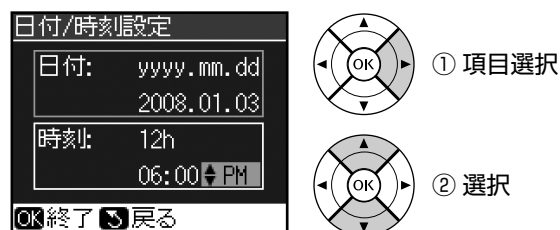
選択

8 時刻を入力します。

① 項目選択

② 入力

9 12 時間表示のときは、AM/PM を選択します。

① 項目選択

② 選択

10 【OK】ボタンを押して、設定を終了します。

以上で、操作は終了です。

送受信の初期設定

送信ファクスの画質と濃度、受信ファクスの印刷用紙サイズ、レポート印刷に関する初期設定を変更できます。

1 【セットアップ】ボタンを押して、セットアップモードにします。

2 ［ファクス設定］を選択します。

① 選択

② 決定

3 ［基本機能］を選択します。

① 選択

② 決定

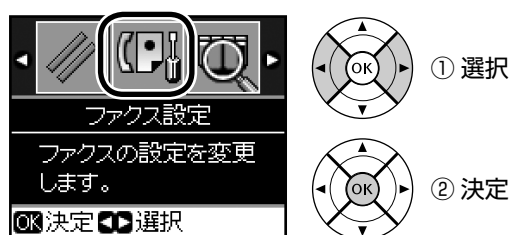
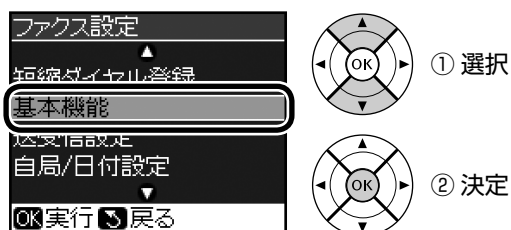
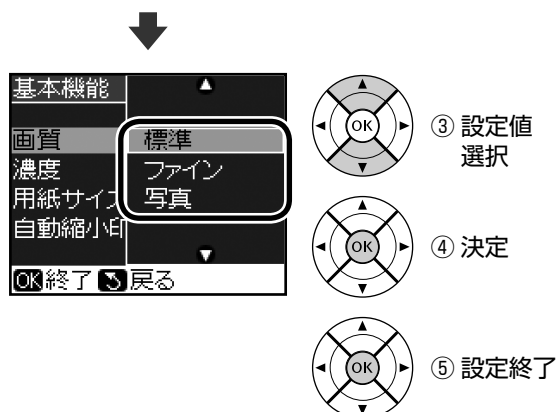
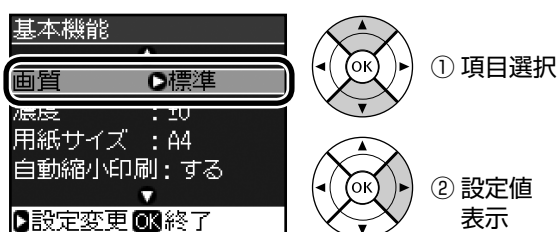
4 各項目を設定します。

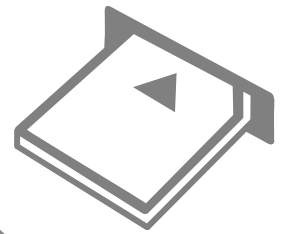
① 項目選択

② 設定値表示

③ 設定値選択

④ 決定

⑤ 設定終了

設定項目	設定値 / 説明（* は初期値）
画質	標準*/ ファイン / 写真
	送信ファクスの画質を設定します。
濃度	－４～０*～＋４
	送信ファクスの濃度を設定します。
用紙サイズ	A4 */ レター
	セットした印刷用紙のサイズを設定します。
自動縮小印刷	する*/ しない
	自動縮小印刷をするかしないか設定します。 ☞43 ページ「自動縮小印刷」
結果レポート	しない / エラー時のみ*/ する
	通信結果レポートを印刷する条件を設定します。「しない」を選択すると、レポートを印刷しません。 「エラー時のみ」を選択すると、エラーが起きたときのみレポートを印刷します。「する」を選択すると、ファクス送信後毎回レポートを印刷します。

以上で、操作は終了です。

メモリカードから写真プリント

この章では、メモリカードから写真をプリントする方法について説明しています。

まずは基本操作を覚えよう !!

メモリカード印刷の **基本**

準備 用紙セット、メモリカードセット

操作 パネル設定

☞48 ページ

設定を変えてみよう !!

印刷設定
（レイアウト / 品質 / 日付表示など）

☞50 ページ

●こんなこともできます

オーダーシート印刷 ☞52 ページ	すべて印刷 ☞54 ページ	日付選択印刷 ☞54 ページ	スライドショー ☞55 ページ
DPOF 印刷 ☞55 ページ	ズームアップして印刷 ☞56 ページ		

メモリカード印刷の基本

準備

1 印刷用紙をセット

13 ページ「印刷用紙のセット」

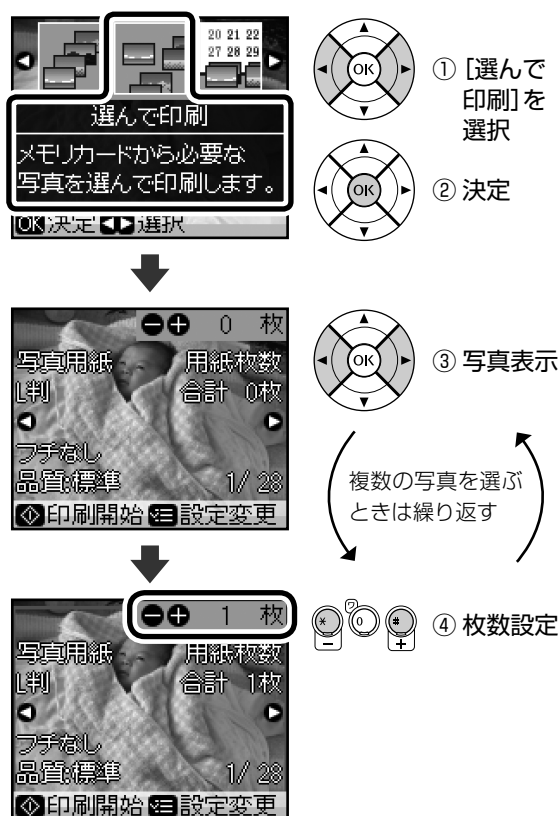
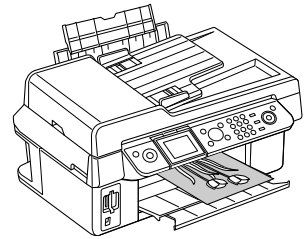
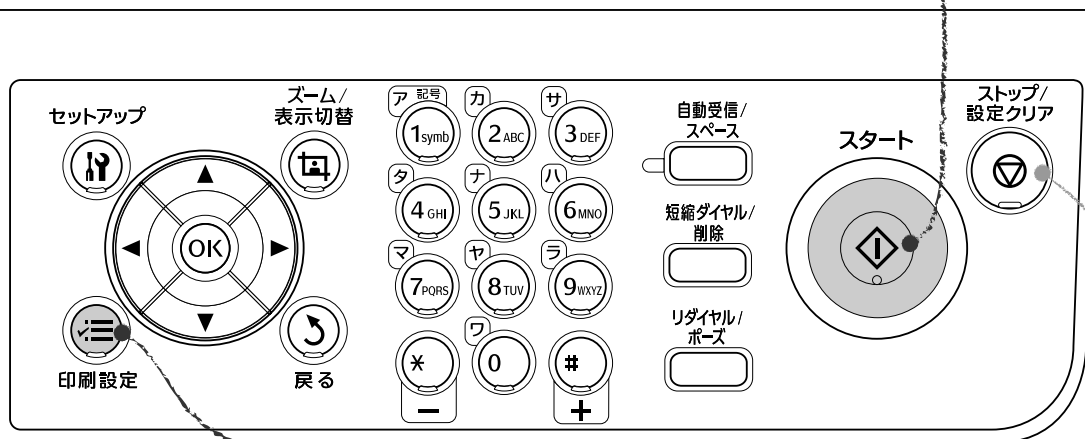
2 排紙トレイを開いて引き出す

3 メモリカードをセット

16 ページ「メモリカードのセット」

操作

1 電源オン

2 メモリカードモード選択

電源
コピー
メモリカード
モード
写真コピー
ファクス

すべて印刷
すべての写真を印
◇：L判フチなし
OK決定 ◀▶選択

3 写真選択

選んで印刷
メモリカードから必要な写真を選んで印刷します。
OK決定 ◀▶選択

① [選んで印刷]を選択

② 決定

0 枚
写真用紙 L判
用紙枚数 合計 0枚
フチなし
品質:標準
1/ 28
◇印刷開始 ☰設定変更

③ 写真表示

複数の写真を選ぶときは繰り返す

1 枚
写真用紙 L判
用紙枚数 合計 1枚
フチなし
品質:標準
1/ 28
◇印刷開始 ☰設定変更

④ 枚数設定

4 印刷設定（【印刷設定】ボタンで表示）

★［用紙種類］→［用紙サイズ］の順で必ず設定

詳しくは ☞50 ページ「印刷設定」

［選んで印刷］以外のメニュー

すべて印刷
☞54 ページ

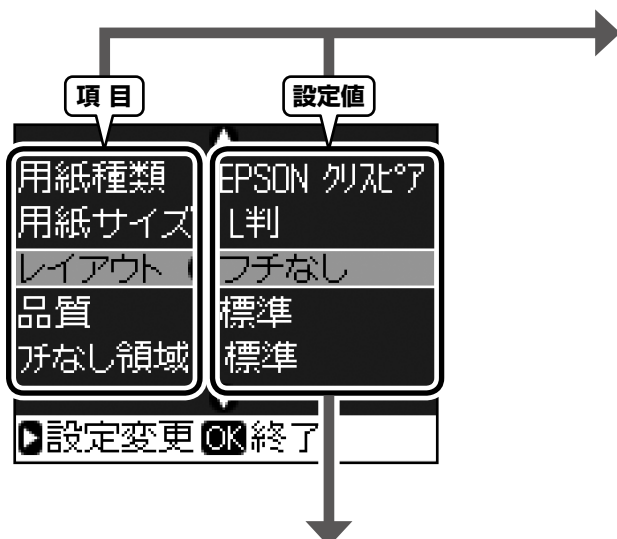
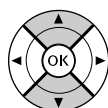
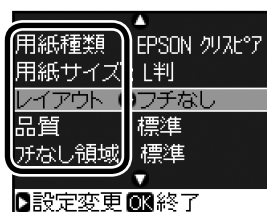
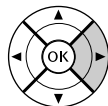
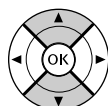
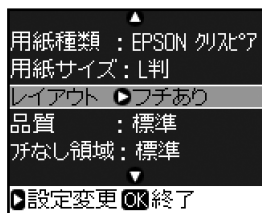
日付選択印刷
☞54 ページ

オーダーシート
☞52 ページ

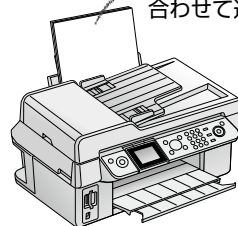
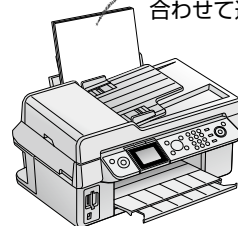
スライドショー
☞55 ページ

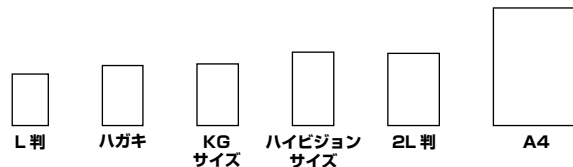
印刷設定

印刷設定

49 ページ手順❹の印刷設定では、印刷レイアウト（写真の配置）や日付印刷、用紙の設定などができます。項目と設定値は右側をご覧ください。

設定値の変更方法

上図以外の項目や設定値は、【▽】か【△】ボタンで表示されます。

項目と設定値

用紙種類

セットした用紙	設定
写真用紙クリスピア<高光沢>	EPSON クリスピア
写真用紙<光沢>、写真用紙<絹目調>	写真用紙
写真用紙エントリー<光沢>	写真用紙エントリ
フォトマット紙	フォトマット紙
郵便ハガキ（インクジェット紙）の通信面、スーパーファイン専用ハガキの通信面	郵便 IJ ハガキ
郵便ハガキ（再生紙）、ハガキの宛名面	郵便ハガキ
両面上質普通紙<再生紙>、事務用普通紙	普通紙

用紙サイズ

用紙種類に対応したサイズだけが表示されます。

※用紙種類や用紙サイズなど、組み合わせによっては設定できない項目もあります。

レイアウト

写真の配置方法を選択

＊1：ハガキ（年賀状）などにお使いいただくと便利です。

品質

印刷品質を選択

設定	品質	速度
標準	低	速
きれい	高	遅

フチなし領域

フチなし印刷の拡大率を選択

フチなしコピーは、余白をなくすために少し拡大して印刷します。[少ない]［より少ない］を選択すると、余白が出ることがあります。

日付表示

撮影日を印刷する / しないを選択

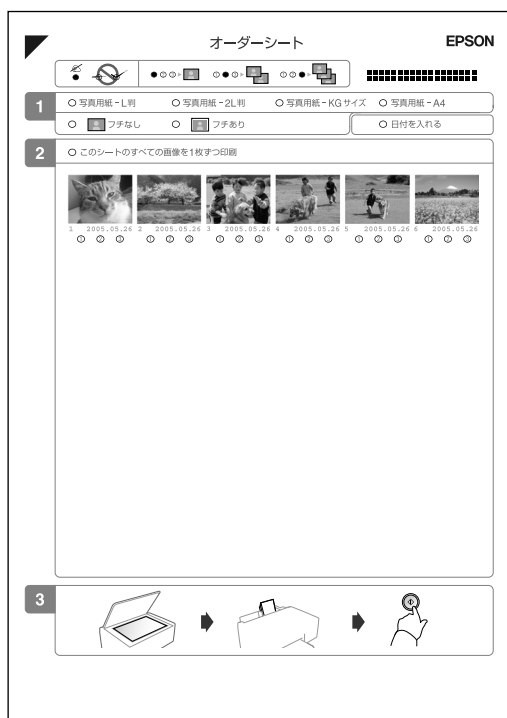
設定	印刷例
しない	–
年 / 月 / 日（する）	2005.05.26
月 / 日 / 年（する）	May.26.2005
日 / 月 / 年（する）	26.May.2005

※ パソコンで保存し直した（Exif の情報が削除された）データは保存日で印刷されます。

双方向印刷

双方向印刷をする / しないを選択
［しない］を選択すると、印刷速度は遅くなりますが、印刷品質が向上します。
通常は［する］の設定のままお使いください。

オーダーシート印刷

写真を一覧できるオーダーシートを印刷して、用紙サイズと印刷したい写真にマークを付けます。そのオーダーシートをスキャンすると、簡単に写真プリントができます。

①オーダーシートを印刷

1 **A4 サイズの普通紙をセットします。**

☞ 13 ページ「印刷用紙のセット」

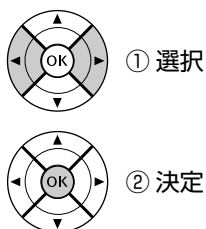
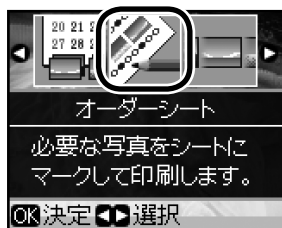
2 **メモリカードをセットします。**

☞ 16 ページ「メモリカードのセット」

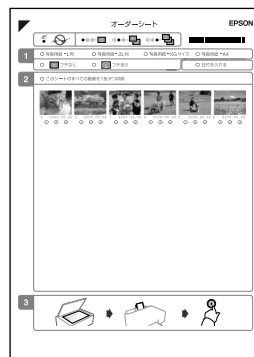
3 **【メモリカード】ボタンを押して、メモリカードモードにします。**

4 **［オーダーシート］を選択します。**

① 選択

② 決定

5 **［オーダーシートを印刷］を選択して、範囲を選択します。**

オーダーシート 1 枚には、最大 30 枚の写真が印刷されます。

6 **【スタート】ボタンを押して、印刷を開始します。**

!重要

- オーダーシートを印刷した後「③オーダーシートをスキャンして写真プリント」の操作が終わるまで、メモリカードの内容を変更しないでください。

②オーダーシートにマークを付ける

HB などの濃い鉛筆か濃い色のペンを使って、オーダーシートにマークを付けます。

正しい記入例

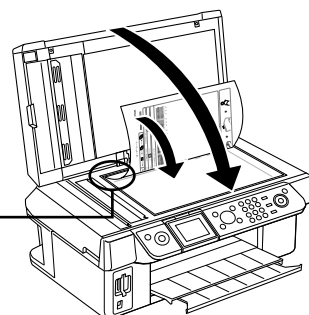
悪い記入例

③ オーダーシートをスキャンして写真プリント

1 写真用紙をセットします。

- マークを付けたサイズの用紙をセットしてください。
- セット可能な写真用紙は以下の通りです。
  写真用紙クリスピア<高光沢>
  写真用紙<光沢>
  写真用紙エントリー<光沢>
  写真用紙<絹目調>

13 ページ「印刷用紙のセット」

2 オーダーシートを原稿台にセットします。

3 [オーダーシートから写真プリント]を選択します。

4 【スタート】ボタンを押して、印刷を開始します。

オーダーシートにマークした写真が印刷されます。

以上で、操作は終了です。

メモリカードから写真プリント

その他の印刷方法

すべて印刷

メモリカード内のすべての写真を一括して印刷できます。

1 【メモリカード】ボタンを押して、メモリカードモードにします。

2 ［すべて印刷］を選択します。

① 選択

② 決定

- ［すべて印刷］選択画面で【スタート】ボタンを押すと、以下の設定ですべての写真を印刷します。
  用紙種類　：写真用紙
  用紙サイズ：L 判
  レイアウト：フチなし

3 印刷部数を設定します。

枚数設定

- 【OK】ボタンを押すと、写真ごとに印刷枚数を設定できます。

4 【印刷設定】ボタンを押して、印刷設定をします。

☞ 50 ページ「印刷設定」

5 【スタート】ボタンを押して、印刷を開始します。

以上で、操作は終了です。

日付選択印刷

特定の撮影日から写真を選んで印刷できます。
データをパソコンで保存し直したとき、表示される日付は保存日になることがあります。

1 【メモリカード】ボタンを押して、メモリカードモードにします。

2 ［日付選択印刷］を選択します。

① 選択

② 決定

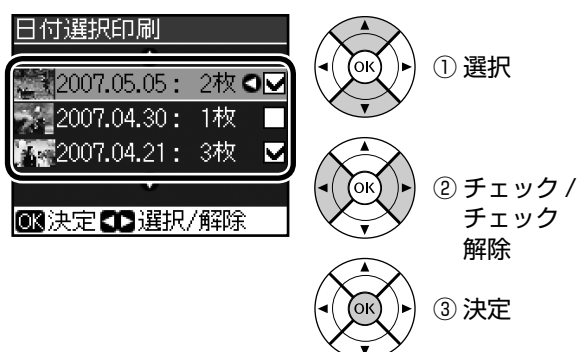
3 日付を選択します。

① 選択

② チェック / チェック解除

③ 決定

4 印刷部数を設定します。

枚数設定

参考

- 【OK】ボタンを押すと、写真ごとに印刷枚数を設定できます。

5 【印刷設定】ボタンを押して、印刷設定をします。

☞ 50 ページ「印刷設定」

6 【スタート】ボタンを押して、印刷を開始します。

以上で、操作は終了です。

スライドショー

液晶ディスプレイに、メモリカード内の写真を順番に自動再生できます。メモリカードモードのメニューで［スライドショー］を選択してください。
【▽】か【△】ボタンで静止 / 再生できます。【OK】ボタンを押してスライドショーを静止すると、その写真を印刷できます。

DPOF 印刷

本製品は、デジタルカメラで画像を印刷するための情報（印刷する画像とその枚数の指定など）をメモリカードに記録する「DPOF（Digital Print Order Format）Ver.1.10」の印刷に対応しています。

1 デジタルカメラで、DPOF 印刷の指定をします。

以下の印刷タイプで、印刷する写真や枚数などを設定します。詳しくはデジタルカメラの取扱説明書をご覧ください。

- スタンダードプリント
- マルチイメージプリント

※ 印刷する写真や枚数以外の印刷設定は、手順 5 で設定します。

2 印刷用紙をセットします。

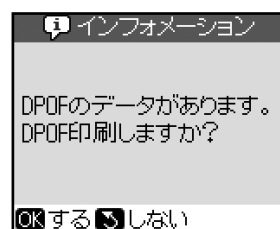
13 ページ「印刷用紙のセット」

3 DPOF 情報の入ったメモリカードをセットします。

16 ページ「メモリカードのセット」

4 表示された画面を確認して、【OK】ボタンを押します。

この画面が表示されないときは、DPOF 情報が入っていないため DPOF 印刷はできません。

インフォメーション
DPOFのデータがあります。
DPOF印刷しますか?
OK する　しない

決定

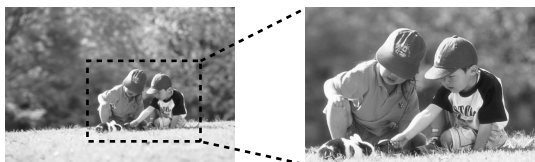
5 【印刷設定】ボタンを押して、印刷設定をします。

50 ページ「印刷設定」

6 【スタート】ボタンを押して、印刷を開始します。

以上で、操作は終了です。

ズームアップして印刷

写真をズームアップして印刷できます。

1 **メモリカード印刷の基本手順に従い、［選んで印刷］を選択します。**

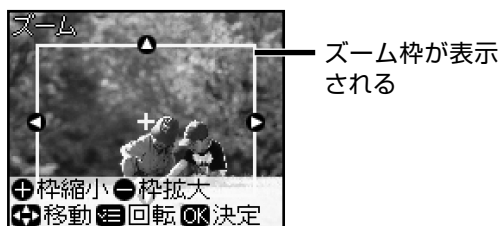
☞ 48 ページ「メモリカード印刷の基本」-「操作」

2 **【印刷設定】ボタンを押して、印刷設定をします。**

☞ 50 ページ「印刷設定」

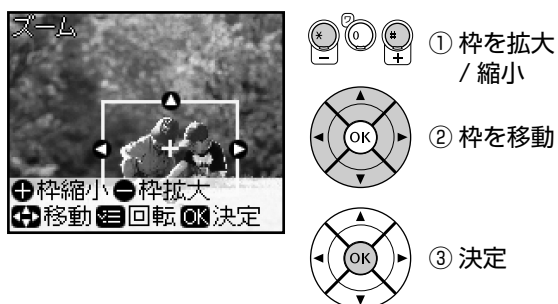
3 **印刷する写真を表示します。**

4 **【ズーム / 表示切替】ボタンを押します。**

ズーム枠が表示される

5 **ズームアップする範囲を設定します。**

① 枠を拡大 / 縮小

② 枠を移動

③ 決定

> **参考**
> - 【印刷設定】ボタンを押すと、枠を回転できます。

6 **ズーム範囲を決定します。**

設定し直すときは【戻る】ボタンを押してください。

決定

7 **印刷枚数を設定します。**

枚数設定

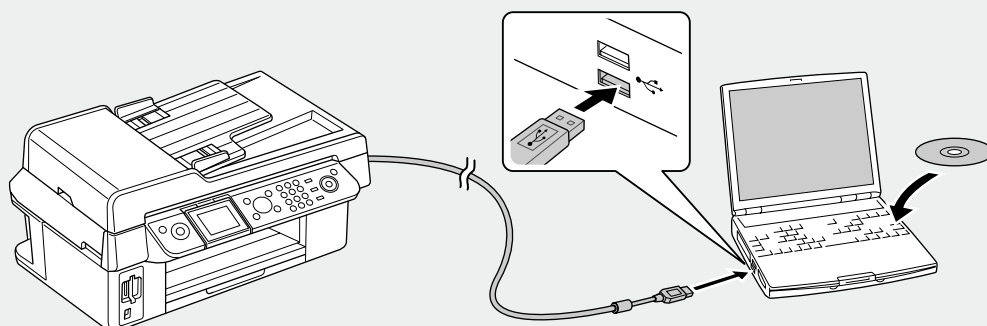
8 **複数の写真をズームアップして印刷するときは、手順 3 ～ 7 を繰り返します。**

9 **【スタート】ボタンを押して、印刷を開始します。**

以上で、操作は終了です。

パソコンとつないで使う / もっと活用する

この章では、パソコンとつないで使用する方法について説明しています。

パソコンとつないで使用するには、本製品とパソコンをUSBケーブルで接続して、付属のソフトウェアをインストールする必要があります。詳しくは『準備ガイド』（紙マニュアル）の裏面をご覧ください。

※ パソコンと接続して使用するときは、操作パネルでの設定は必要ありません（どのモードになっていてもかまいません）。

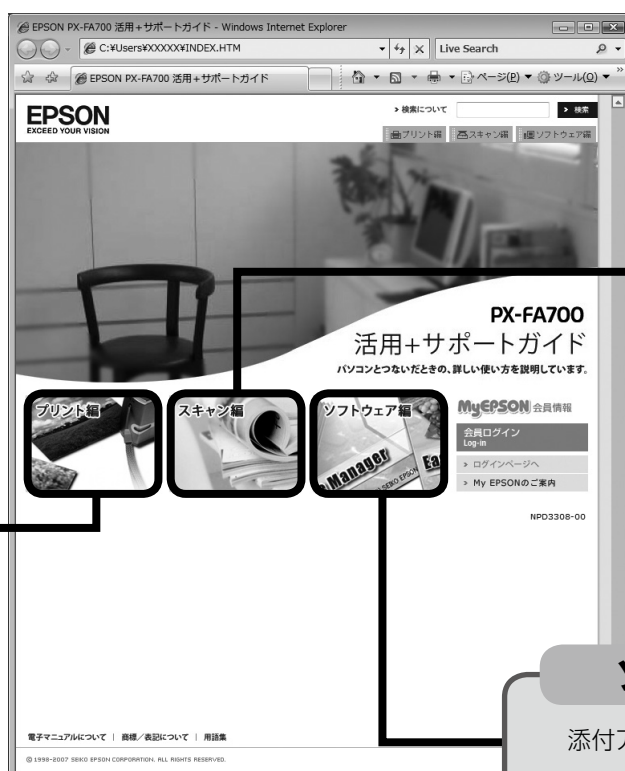
電子マニュアルのご案内

パソコンから印刷 / スキャンする方法や、もっと楽しく活用する方法は、付属の『活用＋サポートガイド』（電子マニュアル）をご覧ください。
『活用＋サポートガイド』（電子マニュアル）はパソコンの画面で見るマニュアルです。

プリント編

目的別の印刷方法

- 基本的な印刷方法
- 写真
- ホームページ
- 用紙別の印刷方法

※「メモリカードドライブとしての使い方」も記載されています。

スキャン編

目的別のスキャン方法

- プリント写真
- 雑誌 / 報告書
- イラスト / 小物
- 便利なスキャン方法

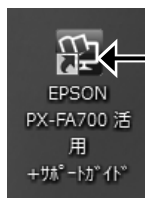
ソフトウェア編

添付アプリケーションソフト情報

活用＋サポートガイドの表示方法

デスクトップ上の［活用＋サポートガイド］アイコンをダブルクリックしてください。

ダブルクリック

EPSON PX-FA700 活用 +ｻﾎﾟｰﾄｶﾞｲﾄﾞ

参考

- ソフトウェアと同時にパソコンにインストールされます。CD-ROM を毎回セットする必要はありません。
- Microsoft Internet Explorer（Version 5.0 以上）などのブラウザでご覧ください。また、PDF データをダウンロードすることもできます。ダウンロードサービスは、ホームページでご案内しています。
< http://www.epson.jp/guide/pcopy/ >

パソコンからスキャン

1 原稿をセットします。

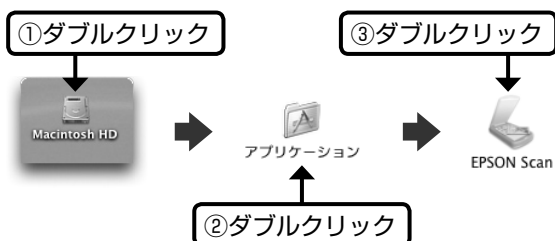
☞ 14 ページ「原稿のセット」

2 EPSON Scan（エプソン スキャン）を起動します。

< Windows >

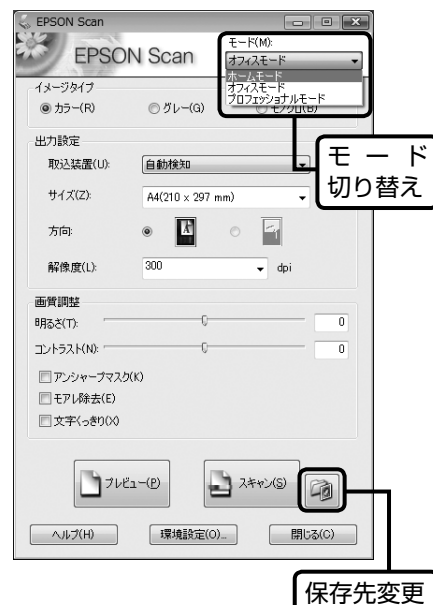
デスクトップ上の［EPSON Scan］アイコンをダブルクリックしてください。

< Mac OS X >

①ハードディスク内の②［アプリケーション］フォルダ ー③［EPSON Scan］の順にダブルクリックしてください。

3 EPSON Scan の設定を確認して、スキャンを開始します。

スキャン後、画像はフォルダに保存されます。

参考

- オフィスモードで思い通りにスキャンできないときは、[ホームモード] や [プロフェッショナルモード」に切り替えて、詳細設定をお試しください。
- 保存場所やファイル名、ファイル形式などを設定するには［保存ファイルの設定］アイコンをクリックしてください。

以上で、操作は終了です。

パソコンから印刷

文書の印刷

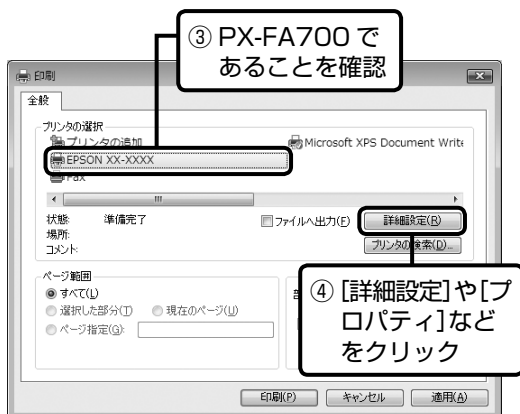
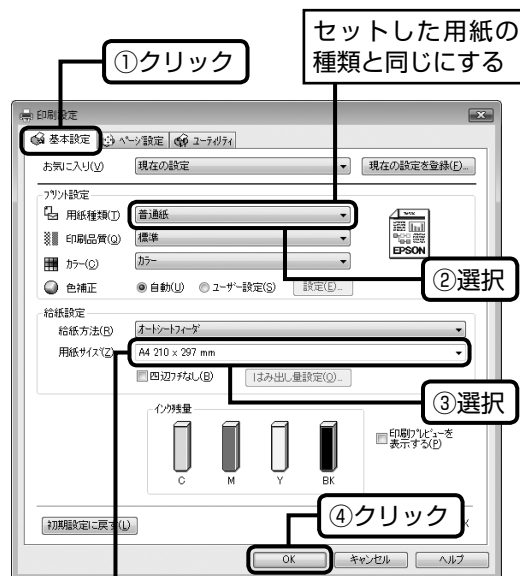
Windows

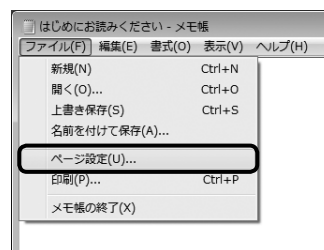
1 印刷用紙をセットします。

☞ 13 ページ「印刷用紙のセット」

2 お使いのアプリケーションソフトからプリンタドライバを表示します。

☞『活用＋サポートガイド』（電子マニュアル）－「プリンタドライバの画面を表示するには」

＜例：Windows Vista、メモ帳の場合＞

3 プリンタドライバで印刷の設定をします。

参考

- アプリケーションソフトで作成したデータの用紙のサイズは、［ファイル］メニューの［用紙設定］や［ページ設定］などの項目で確認できます。

4 印刷を開始します。

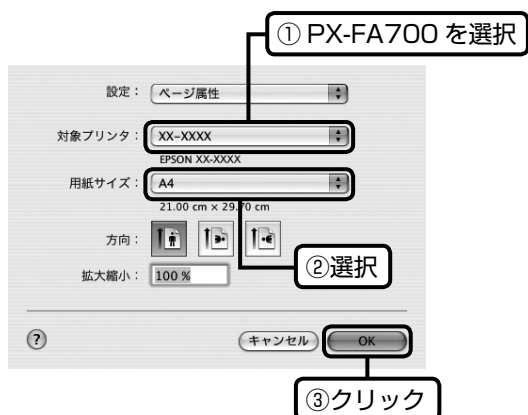
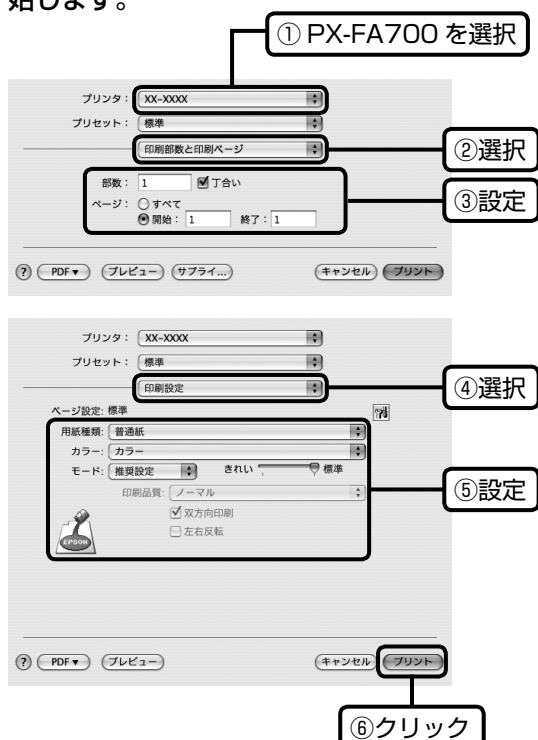
以上で、操作は終了です。

Mac OS X

Mac OS X v10.5 で使用するときや、印刷の詳細な手順は『活用＋サポートガイド』（電子マニュアル）をご覧ください。

1 **印刷用紙をセットします。**

☞ 13 ページ「印刷用紙のセット」

2 **お使いのアプリケーションソフトで印刷するデータを表示してから、プリンタドライバの［ページ設定］を設定します。**

3 **［プリント］画面で印刷設定をして、印刷を開始します。**

以上で、操作は終了です。

写真の印刷

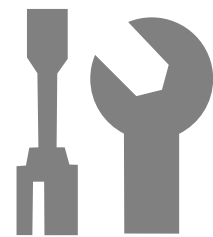
写真の印刷は、付属のアプリケーションソフト『EPSON Easy Photo Print』におまかせ。フチなし印刷はもちろん、複数写真の割り付けや、写真フレームの合成など、簡単な操作でさまざまな印刷ができます。

1　**『EPSON File Manager』を起動します。**

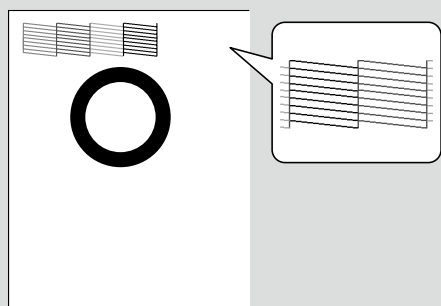
デスクトップ上の［EPSON File Manager］アイコンをダブルクリックしてください。

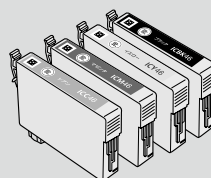
2　**印刷する写真を選択します。**

3　**『EPSON Easy Photo Print』を起動します。**

この後の操作やソフトウェアの詳しい使い方は、『活用＋サポートガイド』（電子マニュアル）およびアプリケーションソフトのヘルプをご覧ください。

メンテナンス／セットアップモード

この章では、メンテナンス方法とセットアップモードの機能について説明しています。

**ノズルチェックと
ヘッドクリーニング**

64 ページ

インクカートリッジの交換

68 ページ

きれいに印刷するコツ

ノズルチェックとヘッドクリーニング

印刷結果にスジが入ったり、おかしな色味で印刷されたりするときは、ノズルの状態をご確認ください。
また、写真を印刷する前にも、ノズルチェックを行うことをお勧めします。

ノズルチェック（目詰まりの確認）

1 A4 サイズの普通紙をセットします。

13 ページ「印刷用紙のセット」

2 【セットアップ】ボタンを押して、セットアップモードにします。

3 ［メンテナンス］を選択します。

① 選択

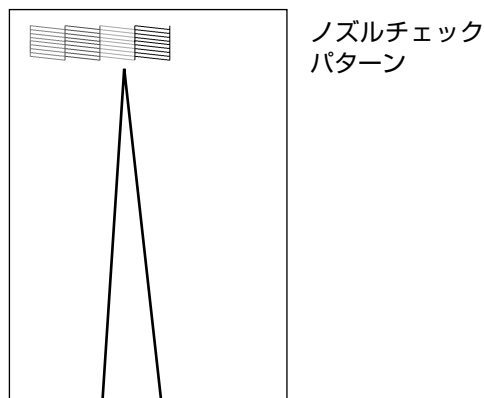
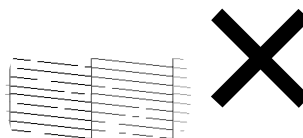
② 決定

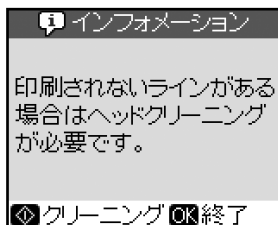
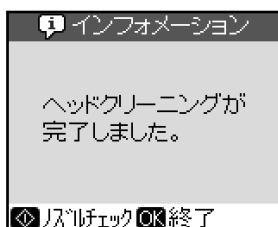
4 ［ノズルチェック］を選択します。

① 選択

② 決定

5 【スタート】ボタンを押して、ノズルチェックパターンを印刷します。

6 印刷したノズルチェックパターンを確認します。

ヘッドクリーニング

1 【スタート】ボタンを押して、ヘッドクリーニングを開始します。

2 【スタート】ボタンを押して再度ノズルチェックパターンを印刷し、目詰まりが解消されたか確認します。

ノズルチェックパターンのすべてのラインが印刷されるまで、ノズルチェックとヘッドクリーニングを繰り返してください。

参考

- ノズルチェックとヘッドクリーニングを交互に4回程度繰り返しても目詰まりが解消されないときは、電源をオフにして6時間以上放置した後、再度ノズルチェックとヘッドクリーニングを実行してください。時間をおくことによって、目詰まりが解消し、正常に印刷できるようになることがあります。それでも改善されないときは、エプソン修理センターへ修理をご依頼ください。
  ☞102ページ「本製品に関するお問い合わせ先」
- ヘッドクリーニングは必要以上に行わないでください。インクを吐出してクリーニングするため、インクが消費されます。
- 前ページ手順 4 の画面で［ヘッドクリーニング］を選択すると、ノズルチェックを行わずにヘッドクリーニングができます。
- プリントヘッドを常に最適な状態に保つために、定期的に印刷することをお勧めします。
- 電源のオン / オフは、【電源】ボタンで行ってください。【電源】ボタンでオフにしないと、プリントヘッドが乾燥して目詰まりの原因になります。

以上で、操作は終了です。

内部のクリーニング

製品内部が汚れると、印刷結果の汚れや給紙不良の原因になります。以下の手順で通紙（給排紙）を行い、内部をクリーニングしてください。

1 **原稿台のガラス面と原稿マットに汚れがないことを確認します。**

2 **A4 サイズの普通紙（コピー用紙など）をセットします。**

3 **原稿台に原稿をセットせずに、コピーを開始します。**

☞ 20 ページ「コピーの基本」

※ 用紙にインクの汚れが付かなくなるまで、手順 2 ～ 3 を繰り返してください。

！重要

- 製品内部は布やティッシュペーパーなどでふかないでください。繊維くずなどでプリントヘッドが目詰まりすることがあります。

プリントヘッドのギャップ調整

縦の罫線がずれたり、ぼやけたような印刷結果になるときは、ギャップ調整をお試しください。

1 **A4 サイズの普通紙をセットします。**

☞ 13 ページ「印刷用紙のセット」

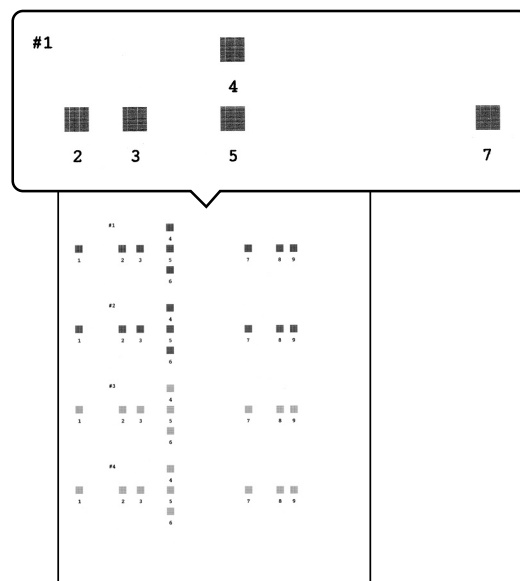
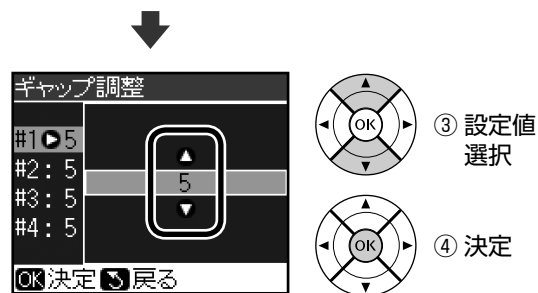
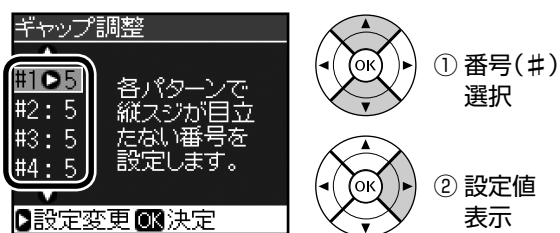
2 **【セットアップ】ボタンを押して、セットアップモードにします。**

3 **【 ▷ 】か【 ◁ 】ボタンで［メンテナンス］を選択して、【OK】ボタンを押します。**

4 **【 ▽ 】か【 △ 】ボタンで［ギャップ調整］を選択して、【OK】ボタンを押します。**

5 **【スタート】ボタンを押して、ギャップ調整パターンを印刷します。**

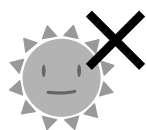
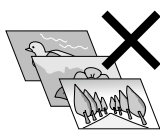
6 **印刷したギャップ調整パターンを確認します。**

＃ 1 から＃ 4 それぞれについて、もっとも縦スジが入っていないように見えるパターンを探してください。

7 **確認したパターンの番号（＃ 1 から＃ 4）を設定します。**

8 **【OK】ボタンを押して、終了します。**

次の印刷から調整結果が反映されます。

印刷後の品質を保つために

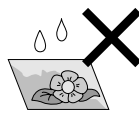
■ 十分に乾燥させる

印刷後の用紙は、以下の点に注意して十分に乾燥させてください。よく乾燥させずに保存すると、にじみが発生することがあります。

直射日光に当てない

印刷面を重ねない

ドライヤーなどで乾かさない

■光や空気を遮断して保存する

印刷物は光や空気を遮断することで、退色を抑えることができます。乾燥後は以下の点に注意して、速やかにアルバムやクリアファイル、ガラス付き額縁などに入れて保存・展示してください。

屋外に展示しない

濡らさない

インクカートリッジの交換

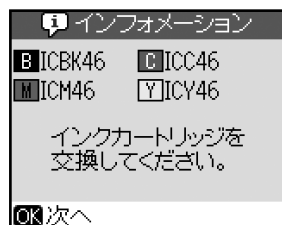
⚠注意
- 交換の前に、以下の注意事項をご確認ください。
☞ 5ページ「インクカートリッジに関するご注意」

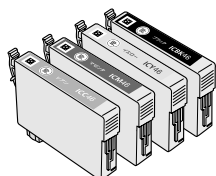
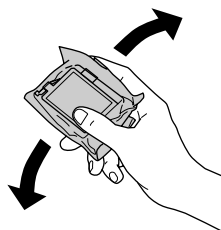
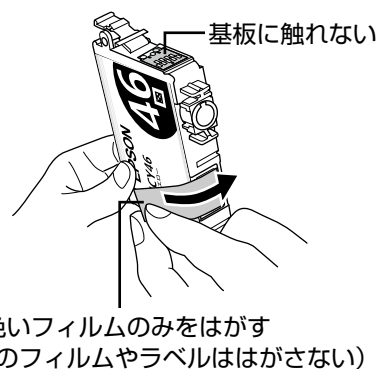
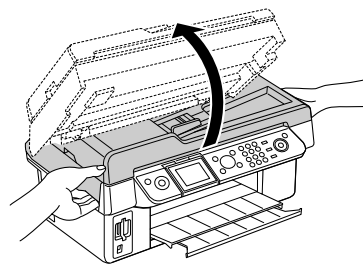
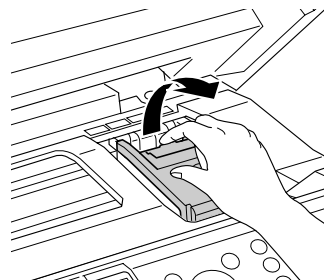
!重要
- 操作部分（グレーで示した部分）以外は手を触れないでください。

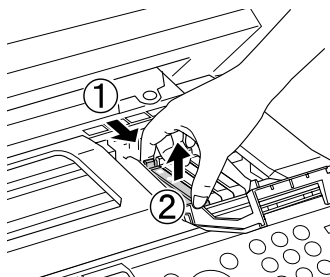
交換のメッセージが表示されたとき

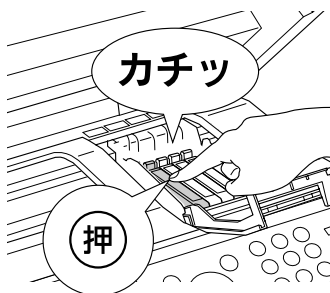
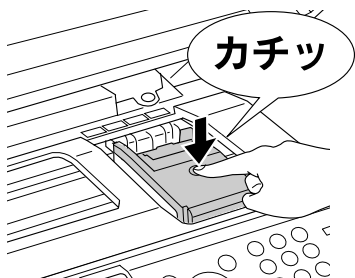
1 交換の必要なインクカートリッジを確認して、交換を開始します。

開始

交換の必要なインクカートリッジ*1のみ表示される

＊1：エプソンの純正インクカートリッジの型番は以下の通りです。純正品のご使用をお勧めします。

【C】 シアン ：ICC46
【M】 マゼンタ ：ICM46
【Y】 イエロー ：ICY46
【BK】ブラック ：ICBK46

2 新しいインクカートリッジを4～5回振ります。

3 新しいインクカートリッジを袋から取り出して、黄色いフィルムのみをはがします。

4 スキャナユニットを開けます。

5 カートリッジカバーを開けます。

6 **交換するインクカートリッジを取り外します。**

フックをつまみ、真上に取り外してください。
外れないときは、強く引き抜いてください。

7 **新しいインクカートリッジをセットします。**

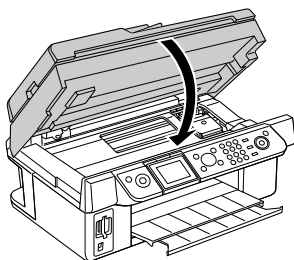
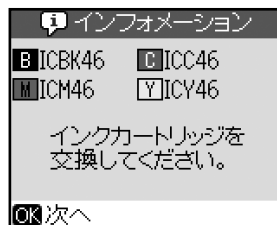
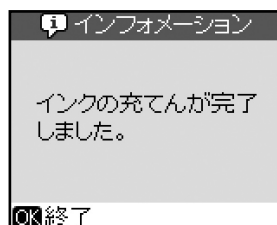
㊞の部分を、「カチッ」と音がするまでしっかりと押し込んでください。

8 **カートリッジカバーをしっかりと閉じます。**

9 **スキャナユニットを閉じます。**

10 **インクの充てんを開始します。**

約 1 分 電源を切らない

インフォメーション

インクの充てんが完了しました。

OK 終了

② 完了

※しばらくすると、このメッセージは自動的に消えます。

参考

- エラーが表示されたときは、インクカートリッジをセットし直してみてください。
- 交換終了の画面が表示されないときは、メッセージに従ってください。
- コピー中の交換作業では、原稿の位置がずれる可能性があります。【ストップ / 設定クリア】ボタンを押してコピーを中止後、残りのコピーを原稿のセットからやり直してください。

以上で、操作は終了です。

メッセージが表示される前に交換するとき

大量印刷などのためにメッセージ表示前に交換するときは、以下の手順に従ってください。

1 **【セットアップ】ボタンを押して、セットアップモードにします。**

2 **【▷】か【◁】ボタンで[メンテナンス]を選択して、【OK】ボタンを押します。**

3 **【▽】か【△】ボタンで[インクカートリッジ交換]を選択して、【OK】ボタンを押します。**

この後は、68 ページの手順 2 以降に従ってください。

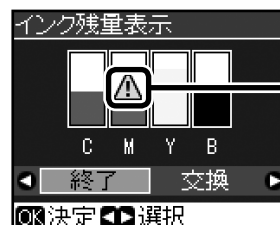
以上で、操作は終了です。

インク残量の確認

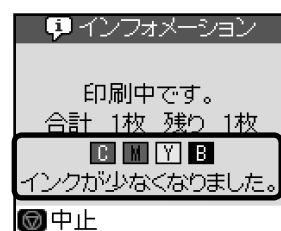
以下の手順でインク残量を確認できます。
インク残量確認画面から、インク交換を実行することもできます。

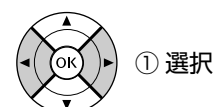
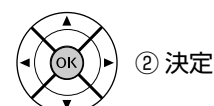
1 **【セットアップ】ボタンを押して、セットアップモードにします。**

2 **【▷】か【◁】ボタンで[インク残量表示]を選択して、【OK】ボタンを押します。**

3 **インク残量を確認します。**

インクが少なくなると「!」マークが表示される

参考

- 非純正インクカートリッジでは、インク残量が表示されないことがあります。
- 交換のメッセージが表示されているときは、インク残量は表示されません。
- インクが残り少なくなると、インク残量表示に「!」マークが表示されたり、印刷時に「インクが少なくなりました」と表示されたりします。しばらくは印刷できますが、早めに新しいインクカートリッジを用意することをお勧めします。

4 **インク残量表示を終了するか、インクカートリッジの交換を実行するかを選択します。**

[交換]を選択した後は、68 ページの手順 2 以降に従ってください。

以上で、操作は終了です。

デジタルカメラから USB 接続で印刷

「PictBridge」または「USB DIRECT-PRINT」の規格に対応したデジタルカメラから、USB 接続で直接印刷できます。本製品と接続可能なデジタルカメラの情報は、エプソンのホームページでご案内しています。
< http://www.epson.jp >

1 印刷用紙をセットします。

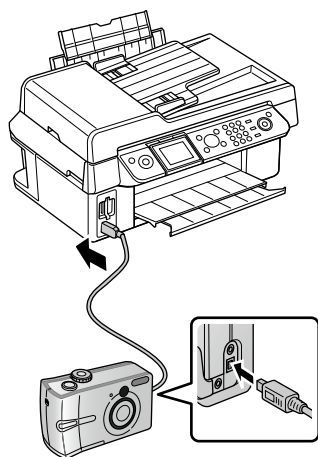
☞ 13 ページ「印刷用紙のセット」

2 【セットアップ】ボタンを押して、セットアップモードにします。

3 【▷】か【◁】ボタンで [外部機器印刷設定] を選択して、【OK】ボタンを押します。

4 外部機器印刷設定をします。

☞ 50 ページ「印刷設定」

5 デジタルカメラの電源をオンにして、USB ケーブルで接続します。

6 デジタルカメラで各種設定をします。

①印刷する写真と枚数を設定します。
②お好みでその他の項目を設定します。

7 デジタルカメラから印刷を開始します。

以上で、操作は終了です。

参考

- お使いのデジタルカメラによって設定項目や設定値、設定方法、操作方法などが異なります。詳しくはデジタルカメラの取扱説明書をご覧ください。
- 印刷設定は、基本的にデジタルカメラ側での設定が優先されます。ただし、「標準設定」*1 などを選択したときやデジタルカメラ側で設定できない機能は、本製品側の設定が反映されます。
  なお、設定内容が本製品の仕様上実現不可能な組み合わせのときは、実現可能な組み合わせに自動調整して印刷されます。
  ※ この調整結果が本製品側の設定値と一致するとは限りません。

＊ 1： 本製品側の設定を反映させる設定値（設定値の名称はデジタルカメラによって異なります。例：「標準設定」「プリンタ指定」など）

メンテナンス / セットアップモード

操作パネルの設定

写真表示画面の設定

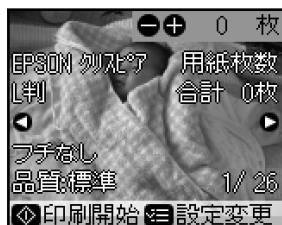
メモリカード内の写真の表示方法を変更できます。ここで設定した表示方法は電源をオフにしても保持されます。

1 【セットアップ】ボタンを押して、セットアップモードにします。

2 【▷】か【◁】ボタンで［メンテナンス］を選択して、【OK】ボタンを押します。

3 【▽】か【△】ボタンで［写真表示画面設定］を選択して、【OK】ボタンを押します。

4 【▽】か【△】ボタンで表示方法を選択して、【OK】ボタンを押します。

■ 1 面情報表示あり（お買い上げ時の設定）
写真と印刷設定などの情報を表示します。

■ 1 面情報表示なし
詳細情報を非表示にします。

■複数面表示
写真を 9 枚並べて表示します。

5 【戻る】ボタンを押して、設定を終了します。

以上で、操作は終了です。

設定値の初期化

本製品の設定を、お買い上げ時の状態に戻します。

1 【セットアップ】ボタンを押して、セットアップモードにします。

2 【▷】か【◁】ボタンで［初期設定に戻す］を選択して、【OK】ボタンを押します。

3 【▽】か【△】ボタンで初期化する項目を選択して、【OK】ボタンを押します。

設定項目	説明
ファクス通信設定の初期化	セットアップモードのファクス設定のうち、基本機能と送受信設定をお買い上げ時の状態に戻します。
ファクス登録データのクリア	短縮ダイヤル登録情報、自局名称 / 自局番号、通信管理データをクリアしてお買い上げ時の状態に戻します。
ファクス設定以外の初期化	ファクス以外の操作パネルの設定をお買い上げ時の状態に戻します。
すべての設定の初期化	ファクス通信設定、ファクス登録データを含むすべての設定をお買い上げ時の状態に戻します。

4 【◁】か【▷】ボタンで［はい］選択して、【OK】ボタンを押します。

以上で、操作は終了です。

液晶ディスプレイの明るさ調整

本製品の設置環境により、液晶ディスプレイ（LCD）が見えにくいときは、[LCD 明るさ調整] をお試しください。

1. 【セットアップ】ボタンを押して、セットアップモードにします。
2. 【▷】か【◁】ボタンで［メンテナンス］を選択して、【OK】ボタンを押します。
3. 【▽】か【△】ボタンで［LCD 明るさ調整］を選択して、【OK】ボタンを押します。
4. 【▽】か【△】ボタンで選択して、【OK】ボタンを押します。

5. 【戻る】ボタンを押して、設定を終了します。

以上で、操作は終了です。

着信音 / 操作音の設定

ファクスの着信音と操作パネルの操作音のオン / オフを設定できます。

1. 【セットアップ】ボタンを押して、セットアップモードにします。
2. 【▷】か【◁】ボタンで［メンテナンス］を選択して、【OK】ボタンを押します。
3. 【▽】か【△】ボタンで［着信 / 操作音］を選択して、【OK】ボタンを押します。
4. 【▽】か【△】ボタンで選択して、【OK】ボタンを押します。

5. 【戻る】ボタンを押して、設定を終了します。

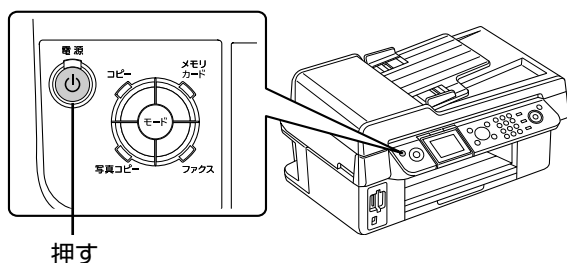
以上で、操作は終了です。

輸送(引っ越しや修理)時のご注意

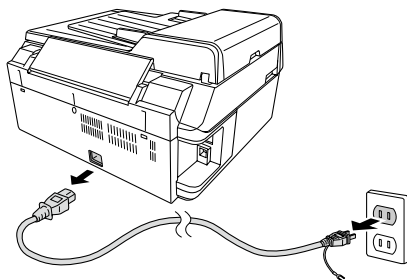
輸送時のご注意

本製品を輸送するときは、衝撃などから守るために、以下の作業を確実に行ってください。

1 【電源】ボタンを押してから【OK】ボタンを押して、電源をオフにします。

プリントヘッドが右側のホームポジション（待機位置）に移動し、固定されます。

!重要

- インクカートリッジは取り外さないでください。プリントヘッドが乾燥し、印刷できなくなるおそれがあります。
- プリントヘッドの動作中に電源プラグをコンセントから抜くと、プリントヘッドがホームポジションに移動せず、固定できません。もう一度電源をオンにしてから、【電源】ボタンを押して電源をオフにしてください。

2 電源コードを本体から取り外します。

3 保護材を取り付け、本製品を水平にして梱包箱に入れます。

!重要

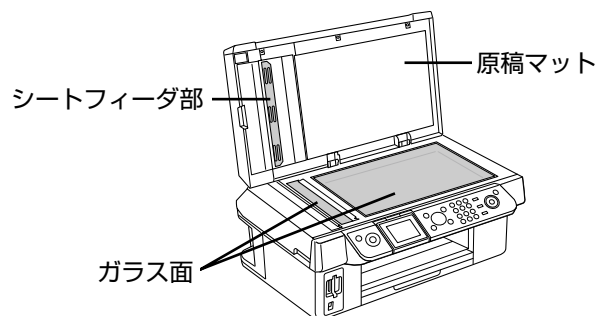
- 保護材の取り付け時や輸送時には、本製品を傾けたり、立てたり、逆さにしたりせず、水平な状態にしてください。

以上で、操作は終了です。

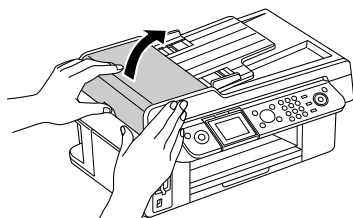
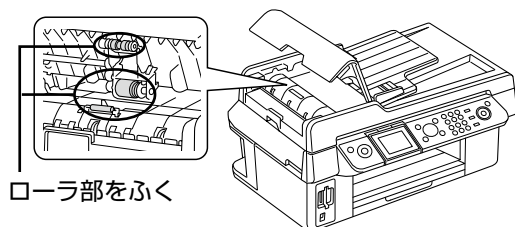
輸送後のご注意

- 印刷不良が発生したときは、プリントヘッドのクリーニングを行ってください。
☞64 ページ「ノズルチェックとヘッドクリーニング」

本体のお手入れ

原稿台のガラス面、原稿マット、オートドキュメントフィーダのシートフィーダ部、外装面が汚れたときは、柔らかい布でからぶきしてください。汚れがひどいときは、中性洗剤を薄めた溶液に柔らかい布を浸し、よくしぼってから汚れをふき取ります。その後乾いた布でふいてください。

オートドキュメントフィーダのお手入れ

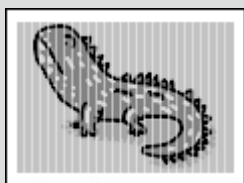
1　オートドキュメントフィーダカバーを開けます。

片手でオートドキュメントフィーダを押さえながら、もう片方の手でカバーをゆっくりと開けます。

2　下図のローラ部を柔らかい布でからぶきします。

以上で、操作は終了です。

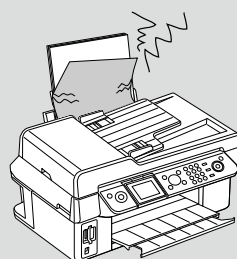
困ったときは（トラブル対処方法）

この章では、トラブルが発生したときの対処方法について説明しています。

印刷結果が悪い

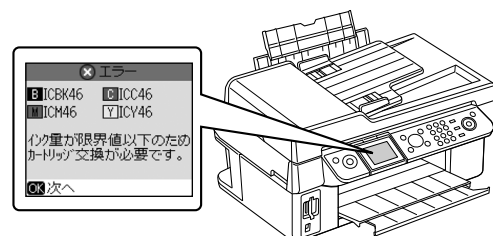
シマシマまたは色がおかしい

まず、ノズルチェックでプリントヘッドの状態をご確認ください。

☞64 ページ

用紙が詰まった

プリンタ内部に詰まった用紙を取り除いてください。

☞79 ページ

エラー表示

本製品にエラーが発生すると、液晶ディスプレイにメッセージが表示されますので、画面の指示に従ってエラーを回避してください。対処方法が複雑なエラーについては、下表をご覧の上、対処してください。

メッセージ	対処方法
時刻設定がリセットされたか、正しく設定されていません。再設定しますか？	● 本製品の電源を長時間オフにすると、時刻設定がリセットされます。 再度日付と時刻の設定を行ってください。
プリンタエラーが発生しました。電源を入れ直してください。詳しくは、マニュアルをご覧ください。	● 電源を一旦オフにした後、再度電源をオンにしてください。 それでもエラーが解除されないときは、電源をオフにしてスキャナユニットを開け、内部に異物（輸送用の保護テープ、用紙など）が入っていないか確認し、電源をオンにしてください。
オーダーシートとメモリカードが一致していません。シートを印刷し直して再度実行してください。	● もう一度オーダーシートを印刷してください。 写真の印刷が終了するまでメモリカードの内容を変更しないでください。 52 ページ「①オーダーシートを印刷」
インク量が限界値以下のためカートリッジ交換が必要です。	● インク残量が限界値*1 を下回りました。 新しいインクカートリッジに交換してください。
廃インク吸収パッドの吸収量が限界に近付いています。お早めにお買い求めの販売店か修理センターへ交換をご依頼ください。	● 廃インク吸収パッド*2 の吸収量が限界に近付いています。*3 お客様ご自身による交換はできません。お早めにお買い求めいただいた販売店、またはエプソン修理センターへ、廃インク吸収パッドの交換をご依頼ください。
廃インク吸収パッドの吸収量が限界に達しました。お買い求めの販売店か、修理センターへ交換をご依頼ください。	● 廃インク吸収パッド*2 の吸収量が限界に達しました。*3 お客様ご自身による交換はできません。お買い求めいただいた販売店、またはエプソン修理センターへ、廃インク吸収パッドの交換をご依頼ください。

＊１：本製品はプリントヘッドの品質を維持するため、インクが完全になくなる前に動作を停止するように設計されています。
＊２：クリーニング時や印刷中に排出される廃インクを吸収する部品です。
＊３：お客様のご使用頻度等によって期間は異なりますが、廃インク吸収パッドの交換が必要になります。メッセージが表示されたら、エプソン修理センターに交換をご依頼ください。保証期間経過後は有償となります。
なお、パッドの吸収量が限界に達した場合、インクがあふれることを防ぐため、パッドを交換するまで印刷ができないようになっています。

詰まった用紙の取り除き方法

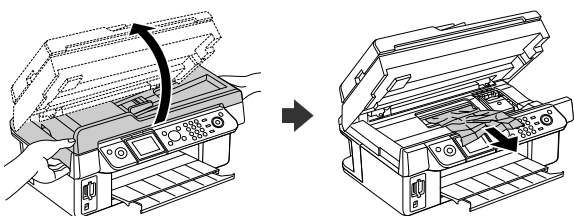
紙が詰まっている箇所を順番に確認して取り除いてください。

！重要

- 用紙はゆっくりと引き抜いてください。勢いよく引っ張ると、本製品が故障することがあります。
- 操作部分（グレーで示した部分）以外は手を触れないでください。
- オートドキュメントフィーダで用紙が詰まったときは、必ずオートドキュメントフィーダカバーを開けて用紙を取り除いてください。オートドキュメントフィーダカバーを閉じた状態で用紙を引き抜くと、本製品が故障することがあります。
- オートドキュメントフィーダを開けるときには、ゆっくりと開けてください。急に強く開けるとオードドキュメントフィーダが故障することがあります。

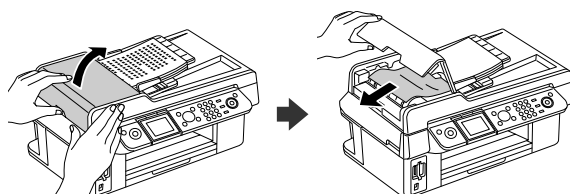
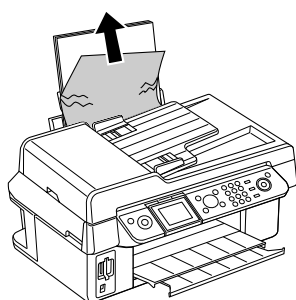
1 プリンタ内部

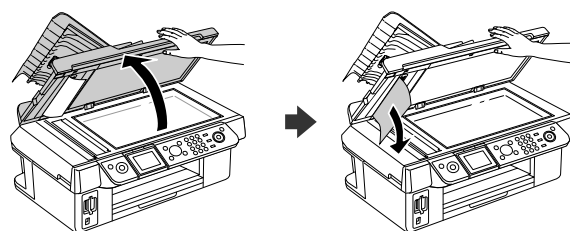
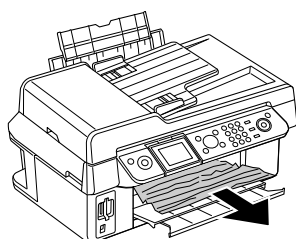
用紙を引き抜く

2 オートシートフィーダ部

用紙を引き抜く

3 排紙トレイ部

用紙を引き抜く

4 オートドキュメントフィーダカバー部

片手で押さえながら、カバーをゆっくり開ける

用紙を引き抜く

5 オートドキュメントフィーダ裏部

オートドキュメントフィーダカバーを開けた状態で、用紙を引き抜く

トラブル対処

電源 / 操作パネルのトラブル

症状 / トラブル状態	確認 / 対処方法
電源が入らない 電源ランプが点滅 / 点灯しない	● 【電源】ボタンを少し長めに押してください。 ● 電源プラグをコンセントにしっかりと差し込んでください。 ● 壁などに固定されているコンセントに直接接続してください。
電源が切れない	● 【電源】ボタンを押してから【OK】ボタンを押して電源をオフにしてください。 それでも電源が切れないときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、プリントヘッドの乾燥を防ぐため電源を入れ直して、再度電源ボタンを押してから【OK】ボタンを押してオフにしてください。
液晶ディスプレイが暗くなった	● 液晶ディスプレイのスリープモード状態です。 【電源】ボタン以外のボタンを押すと、操作画面が表示されます。

※ 液晶ディスプレイに表示されたメッセージの内容がわからないときは、以下をご覧ください。
☞78 ページ「エラー表示」

給紙 / 排紙のトラブル

症状 / トラブル状態	確認 / 対処方法
用紙が詰まった	● 無理に引っ張らずに、以下のページの手順に従って取り除いてください。 ☞79 ページ「詰まった用紙の取り除き方法」
斜めに給紙される 重なって給紙される 用紙が給紙されない 用紙が排出されてしまう	● 用紙を正しくセットしてください。特に、用紙のセット時には必ずエッジガイドを合わせてください。 ☞13 ページ「印刷用紙のセット」 ● 本製品で印刷できる用紙をお使いください。 ☞10 ページ「使用できる印刷用紙と原稿」 ● 穴のあいている用紙を使用していないかご確認ください。 ☞12 ページ「用紙をセットする前に」 ● 設置場所や使用環境に問題がないかご確認ください。 ● 製品内部のローラが汚れている可能性があります。 お使いのエプソン製専用紙に、クリーニングシートが添付されているときは、クリーニングシートを使ってローラをクリーニングしてください。 ☞66 ページ「内部のクリーニング」 クリーニングシートは以下からお買い求めいただけます。 エプソンダイレクト< http://www.epson.jp/shop/ > 商品名：PX/PM 用クリーニングシート

印刷品質 / 結果のトラブル

症状 / トラブル状態	確認 / 対処方法
かすれる スジや線が入る / シマシマになる 色合いがおかしい / 色が薄い 印刷されない色がある 印刷にムラがある モザイクがかかったように印刷される 印刷の目が粗い（ギザギザしている） インクが出ない（白紙で印刷される） ノズルが目詰まりしている	**本体** ● ノズルチェックでプリントヘッドの状態をご確認ください。 ☞64 ページ「ノズルチェックとヘッドクリーニング」 ● インクカートリッジは推奨品（エプソン純正品）を使用することをお勧めします。 ● 古くなったインクカートリッジは使用しないことをお勧めします。 ☞68 ページ「インクカートリッジの交換」 **用紙** ● 写真などは、普通紙ではなくエプソン製専用紙に印刷することをお勧めします。 ● エプソン製専用紙に印刷するときは、おもて面に印刷してください。 ☞10 ページ「エプソン製専用紙（純正用紙）」－「印刷できる面」 ● 印刷後の用紙の取り扱いに注意してください。 ☞67 ページ「印刷後の品質を保つために」 **印刷設定** ● セットした用紙の種類と、印刷設定の [用紙種類] を合わせてください。 ☞18 ページ「[用紙種類] の設定」 ● 印刷品質の高いモード（[きれい] など）での印刷をお試しください。 **データ** ● 解像度の高い（画素数の多い）データを印刷してください。 携帯電話や解像度の低いカメラで撮影した写真は、画質が粗いため小さい用紙に印刷することをお勧めします。 ※解像度は、携帯電話 / デジタルカメラの機種によって異なります。
ぼやける 文字や罫線がガタガタになる	● プリントヘッドのギャップ調整を行ってください。 ☞66 ページ「プリントヘッドのギャップ調整」
フチなし印刷ができない	**印刷設定** ● レイアウトを［フチなし］に設定して印刷してください。 ☞21、51 ページ「レイアウト」 **用紙** ● フチなし印刷に対応した用紙をお使いください。 ☞82 ページ「フチなし印刷対応用紙」

症状 / トラブル状態	確認 / 対処方法

ハガキに縦長の写真を印刷すると、宛名面と上下が逆になってしまう

- ハガキのセット向きを上下逆にしてお試しください。
  縦長写真のデータは、撮影時の条件（カメラの向きや仕様）によって、写真の上下（天地）が異なります。

印刷結果がこすれる / 汚れる

本体

- 通紙（給排紙）をして、製品内部をクリーニングしてください。
  ☞66 ページ「内部のクリーニング」

用紙

- 両面に印刷するときは、印刷した面を十分に乾かしてから裏面に印刷してください。
  ハガキに印刷するときは、宛名面から先に印刷することをお勧めします。
- 本製品で印刷できる用紙をお使いください。
  ☞10 ページ「使用できる印刷用紙と原稿」
- 往復ハガキ以外は、縦方向にセットしてください。
- 印刷後の用紙の取り扱いに注意してください。
  ☞67 ページ「印刷後の品質を保つために」

印刷設定

- フチなし印刷を行う場合は、下記の用紙を使用することをお勧めします。

＜フチなし印刷対応用紙＞

用紙サイズ	用紙種類
A4	写真用紙、フォトマット紙
ハガキ	各種郵便ハガキ、各種エプソン製専用ハガキ
L 判、KG サイズ、2L 判、六切、ハイビジョンサイズ	写真用紙

症状 / トラブル状態	確認 / 対処方法
印刷位置がずれる / はみ出す	**本体** ● エッジガイドを用紙の側面に合わせてください。 ☞13 ページ「印刷用紙のセット」 ● 原稿台や原稿マットにゴミや汚れが付いていないことをご確認ください。 ゴミや汚れが付いていると、その範囲までコピーしてしまうため、印刷位置がずれることがあります。 ● 原稿が正しくセットされているかご確認ください。 ☞14 ページ「原稿のセット」 ☞24 ページ「写真コピー」 **印刷設定** ● セットした用紙のサイズと、印刷設定の［用紙サイズ］を合わせてください。 ☞23、50 ページ「用紙サイズ」 ● フチなし印刷で写真の周囲が欠けるときは、フチなし領域調整をお試しください。 ☞23、51 ページ「フチなし領域」
原稿の裏面まで透けて コピーされてしまう（裏写りする）	● 原稿の紙が薄いときは、裏側に黒い紙や下敷きを重ねてスキャンすることをお勧めします。
コピー結果にムラ / シミ / 斑点が出る	● 原稿台や原稿マットにゴミや汚れが付いていないことをご確認ください。 ● 原稿カバーや原稿を強く押さえ付けないでください。 ● 原稿のセット位置をずらしてみてください。

ファクスのトラブル

症状 / トラブル状態	確認 / 対処方法
ファクスの送信も受信もできない 外付電話機で通話ができない	● 接続している電話回線を確認してください。 ☞96 ページ「ファクス部基本仕様」-「対応回線」 ● 電話線の接続方法を確認してください。 本製品の EXT. ポートに外付電話を接続してから受話器を上げて、「ツー」音が聞こえるか確認してください。聞こえないときは、電話回線が正しく接続されていない可能性があります。 ☞28 ページ「①電話回線の接続」 ● 外付電話機を接続しているときは、受話器が上がっていないか（話し中になっていないか）確認してください。 ●「通信エラー」というメッセージが表示されたときは、回線状況が不安定になっているなど何らかの要因で通信ができていません。 このエラーが繰り返し発生して通信できない場合やひんぱんに発生する場合は、カラリオインフォメーションセンターへお問い合わせください。 ☞102 ページ「本製品に関するお問い合わせ先」 ● 電源ランプとファクスランプが点滅しているとき（システムエラーの状態となっているとき）は、本製品の電源を入れ直してください。 再度発生した場合はカラリオインフォメーションセンターへお問い合わせください。 ☞102 ページ「本製品に関するお問い合わせ先」

症状 / トラブル状態	確認 / 対処方法
ファクスを送信できない	● 回線種別の設定を確認してください。 ☞29 ページ「②回線種別の設定」 ● 「ダイヤルトーンなし」というメッセージが表示されて送信できないときは、ファクス送受信設定の［ダイヤルトーン検出］を［しない］に設定してください。 ☞44 ページ「送受信設定」 ● ADSL 回線をご利用のときは、スプリッタなどの装置を外して電話コンセントに本製品を直接接続してファクスを送信してみてください。 正常に送信できれば、本製品には問題はありません。インターネットサービスプロバイダや IP 電話プロバイダへお問い合わせください。 ● 自局番号が登録されているか確認してください。 ファクス送信先の設定によっては、自局番号が登録されていないと受け付けてくれないことがあります。 ☞42 ページ「自局名 / 自局番号登録」 ● 番号非通知設定になっていないか確認してください。 ファクス送信先の設定によっては、番号非通知設定になっていると受け付けてくれないことがあります。ファクス宛先番号の先頭に 186 を入れるなど番号通知設定に変更して送信してみてください。 ● 「応答なし」というメッセージが表示されて送信できないときは以下を確認してください。 • 宛先ファクス番号が間違っていないか • 送信先のファクス機が受信できる状態になっているか 問題なければ、しばらく時間をおいてから送信し直してみてください。
ファクスを受信できない	● ファクスの自動受信がオフになっていないか確認してください。 外付電話機が接続されていないときは、自動受信をオフにするとファクス受信が行えません。 ☞37 ページ「自動受信」 ● ボイスワープなどの電話転送サービスを利用していないか確認してください。 着信したファクスが転送されてしまうと、本製品はファクス受信を行えません。電話転送サービスの設定については、ご利用の電話会社にお問い合わせください。 ● 本製品がエラー状態になっていないか確認してください。 システムエラーなど本製品の電源をオフにする必要のあるエラーや、本製品のメモリがいっぱいになったときは、ファクス受信が行えません（このとき本製品では呼び出し音が鳴り続けます）。本製品にエラーが発生しているときは、エラーを解除してください。

症状 / トラブル状態	確認 / 対処方法
ファクスをきれいに送信できない	● 原稿台とオートドキュメントフィーダが汚れていないか確認してください。 ☞75 ページ「本体のお手入れ」 ● 文字や写真が混在する原稿は、画質を［写真］に設定すると、よりきれいに送信できます。 ☞32 ページ「ファクス送信設定」 ● 送信ファクスの濃度を調整してみてください。 ☞32 ページ「ファクス送信設定」
ファクスをきれいに受信できない	● ファクス送受信設定の［エラー訂正（ECM）］を［する］に設定してください。 ☞44 ページ「送受信設定」 ● 送信元に、ファクス原稿や読み取り部分に汚れがないか確認してください。また、より画質の高いモードで送信し直すように依頼してみてください。 ● もう一度受信したファクスを印刷し直してみてください。 ☞43 ページ「ファクスレポート / リストの印刷、受信文書の再印刷」
本製品が先に応答してしまうため、音声通話ができない	● 留守番電話機を接続しているときは、留守番電話機と本製品の呼び出し回数の設定を確認してください。 本製品が自動受信するまでの呼び出し回数は、留守番電話機の呼び出し回数より多く設定してください。少なく設定すると、先に本製品が応答してファクス受信が始まるため、留守番電話機への録音や通常通話ができません。 ☞44 ページ「送受信設定」

その他のトラブル

症状 / トラブル状態	確認 / 対処方法
印刷設定で、設定したい用紙サイズ（B5 やカードなど）が表示されない	● ［用紙種類］を設定してから［用紙サイズ］を設定してください。 例えば B5 サイズのコピー用紙のときは、用紙種類を［普通紙］に設定すると、用紙サイズに［B5］が表示されます。
ヘッドクリーニングが動作しない	● 本製品にエラーが発生しているときは、エラーを解除してください。 ● 十分なインク残量がないときは、ヘッドクリーニングができません。新しいインクカートリッジに交換してください。 ☞68 ページ「インクカートリッジの交換」
黒印刷しかしていないのに、カラーインクが減っている	● 本製品では、以下のときにブラック / カラーそれぞれのインクが消費されます。 • カラーインクを使った混色黒印刷時*1 • ヘッドクリーニング時 • セルフクリーニング時*2
連続して印刷をしている途中、印刷速度が遅くなった	● 高温による製品内部の損傷を防ぐための機能が働いています。 連続印刷中*3 に、製品の動作が一旦停止し印刷速度が極端に遅くなったときは、印刷を中断し電源オンの状態で 30 分程度放置してください。印刷を再開すると、通常の速度で印刷できるようになります。 ※印刷速度が遅くなっても、印刷を続けることはできます。 ※電源をオフにして放置しても、印刷速度は回復しません。
製品に触れた際に電気を感じる（漏洩電流）	● 多数の周辺機器を接続している環境下では、本製品に触れた際に電気を感じることがあります。 このようなときには、本製品を接続しているパソコンなどからアース（接地）を取ることをお勧めします。

＊ 1： 用紙種類によって自動で設定されます。

＊ 2： プリントヘッドのノズルの目詰まりを防ぐために自動的にクリーニングする機能で、すべてのインクを微量吐出します。

＊ 3： 30 分以上、印刷し続けている状態です（時間は印刷状況によって異なります）。

パソコン接続時のトラブル対処

パソコンと接続して使用するときのトラブル対処方法は、『活用＋サポートガイド』（電子マニュアル）に詳しく記載されています。

パソコンから印刷 / スキャンできない

このトラブルで最も多い原因の対処方法を次ページに記載しています。

まずはこれをチェック !!

印刷品質 / 結果のトラブル

印刷結果がこすれる / 汚れる
印刷位置がずれる / はみ出す
ホームページを思い通りに印刷できない
パソコン画面にエラーが表示される

『活用＋サポートガイド』−「プリント編」−「トラブル対処方法」

スキャン品質 / 結果のトラブル

画像が暗い
画像がぼやける
画像の色合いがおかしい / 画像の色が原稿の色と違う
裏写りする
画像にモアレ（網目状の陰影）が出る
画像にムラ / シミ / 斑点が出る
テキストデータに変換するときに認識率が悪い
スキャン範囲がおかしい / 原稿を認識しない
サムネイルプレビューでのトラブル
写真を複数枚同時にスキャンするときのトラブル

『活用＋サポートガイド』−「スキャン編」−「トラブル対処方法」

パソコンから印刷できない(Windows)

印刷を開始しても何も印刷されない、本製品が動作しないときは、以下の手順でパソコンをチェックしてください。

1 USBケーブルをパソコンにしっかりと接続し、本製品の電源をオンにします。

2 ［プリンタとFAX］または［プリンタ］フォルダを開きます。

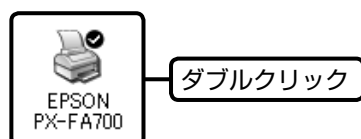
< Windows Vista >
[スタート]－[コントロールパネル]－[ハードウェアとサウンド]の[プリンタ]の順にクリックします。

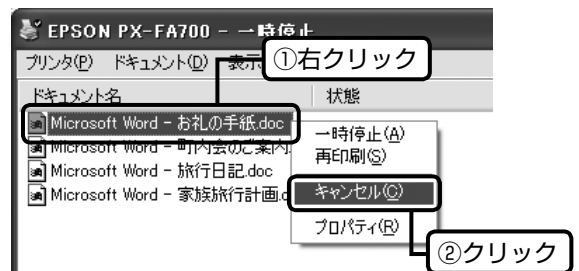
< Windows XP >
[スタート]－[コントロールパネル]の順にクリックし、[プリンタとその他のハードウェア]をクリックして、[プリンタとFAX]をクリックします。

< Windows 98/Me/2000 >
［スタート］－［設定］－［プリンタ］の順にクリックします。

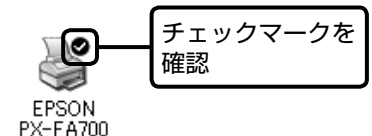
①印刷待ちのデータがありませんか？

パソコンに印刷待ちのデータが残っていると、印刷が始まらないときがあります。データが残っているときは、一旦取り消してください。

1 上記画面内の［EPSON PX-FA700］アイコンをダブルクリックします。

2 印刷待ちのデータが残っているときは、データを右クリックして、［キャンセル］または［印刷中止］などをクリックします。

<画面例：Windows XP >

次の項目をチェック

②「通常使うプリンタ」の設定になっていますか？

1 ［プリンタ］フォルダの［EPSON PX-FA700］アイコンにチェックマークが付いていることを確認します。

2 マークが付いていないときは、アイコンを右クリックし、［通常使うプリンタに設定］をクリックしてチェックを付けます。

つづく

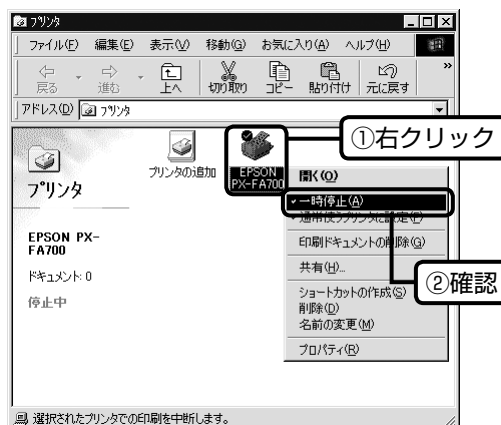
困ったときは（トラブル対処方法）

③ プリンタが［一時停止］の状態になっていませんか？

1 **［プリンタ］フォルダの［EPSON PX-FA700］アイコンを右クリックして、一時停止の状態でないことを確認します。**

< Windows XP/Vista >

※［印刷の再開］が表示されているときは一時停止の状態です。

< Windows 98/Me/2000 >

※［一時停止］にチェック（✓）が付いているときは一時停止の状態です。

2 **［一時停止］になっているときは、一時停止を解除します。**

< Windows XP/Vista >
［印刷の再開］をクリックします。

< Windows 98/Me/2000 >
［一時停止］をクリックしてチェック（✓）を外します。

次の項目をチェック

④［オフライン］の状態になっていませんか？

Windows XP/Vista の場合のみご確認ください。

1 **［プリンタ］フォルダの［EPSON PX-FA700］アイコンを右クリックして、オフラインの状態でないことを確認します。**

※［プリンタをオンラインで使用する］が表示されているときはオフラインの状態です。

2 **オフラインの状態になっているときは、［プリンタをオンラインで使用する］をクリックします。**

オンラインの状態になります。

次の項目をチェック

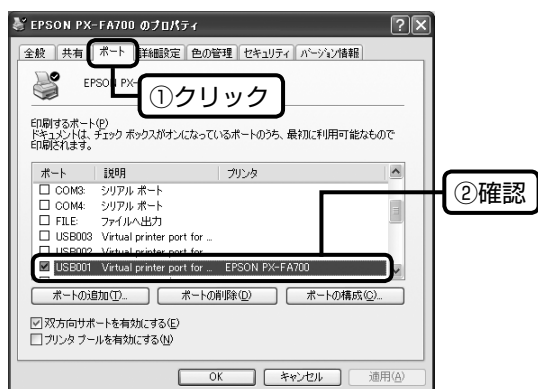
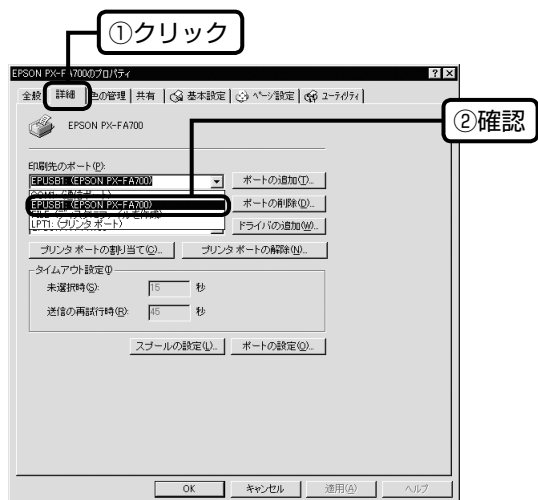
⑤ 印刷先（ポート）の設定は正しいですか？

印刷先が［LPT1（プリンタポート)］などの USB 以外に設定されていると、印刷できません。印刷先が USB ポートに設定されているかご確認ください。

1 **［プリンタ］フォルダの［EPSON PX-FA700］アイコンを右クリックし、［プロパティ］をクリックします。**

※ Windows 98/Me の場合は、メニューが異なります。

2 印刷先（ポート）の設定を確認します。

< Windows 2000/XP/Vista >
［ポート］タブをクリックし、［USBxxx EPSON PX-FA700］（x には数字が入ります）が選択されていることを確認します。

< Windows 98/Me >
［詳細］タブをクリックし、［EPUSBx：(EPSON PX-FA700)］（x には数字が入ります）が選択されていることを確認します。

⑥もう一度印刷を開始してください

以上を確認しても印刷できないときは、プリンタドライバをインストールし直してください。
☞92 ページ「ドライバの再インストール」

!重要

- ［ポートの追加］によるポートの設定は行わないでください。

パソコンから印刷できない(Mac OS X)

印刷を開始しても何も印刷されない、本製品が動作しないときは、以下の手順でパソコンをチェックしてください。

印刷のステータスが［一時停止］になっていませんか？

1 ［プリンタ設定ユーティリティ］を表示し、停止中のプリンタドライバをダブルクリックします。

2 ［ジョブを開始］をクリックします。

もう一度印刷を開始してください

上記を確認しても印刷できないときは、プリンタリストから該当プリンタを削除して、プリンタドライバをインストールし直してください。
☞92 ページ「ドライバの再インストール」
Mac OS X v10.5 で使用するときや、印刷の詳細な手順は『活用＋サポートガイド』（電子マニュアル）をご覧ください。

パソコンからスキャンできない

本製品の電源がオンになっていること、USB ケーブルが接続されていることをご確認ください。
それでもスキャンできないときは、スキャナドライバをインストールし直してください。
☞92 ページ「ドライバの再インストール」

ドライバの再インストール

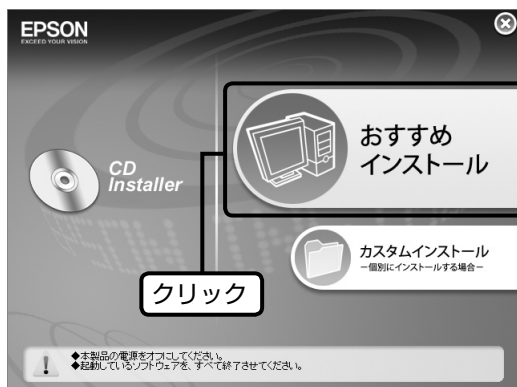
スキャナドライバ / プリンタドライバをインストールし直します。

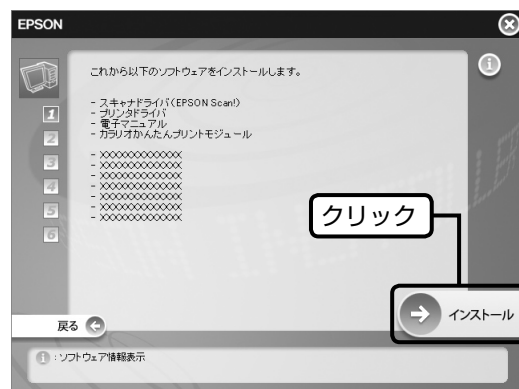
1 **本製品の電源をオフにして、USB ケーブルをパソコンに接続します。**

2 **起動しているアプリケーションソフトをすべて終了します。**

3 **『ソフトウェア CD-ROM』をパソコンにセットします。**

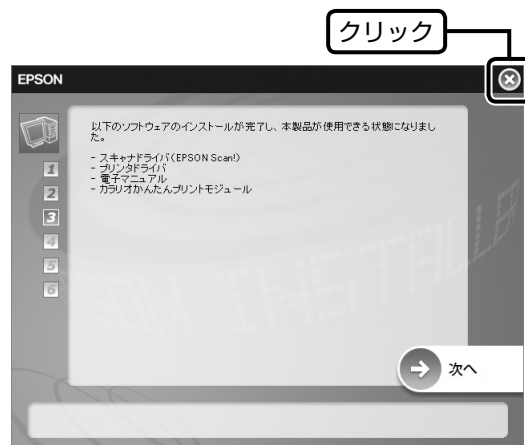
Windows Vista で「自動再生」画面が表示されたら［EPSETUP.EXE の実行］をクリックします。続けて表示される「ユーザーアカウント制御」画面では [許可] または [続行] をクリックします。なお、管理者のパスワードが求められたときは、パスワードを入力して操作を続行してください。
Mac OS X の場合は、表示された画面内のアイコンをダブルクリックします。

4 **以下の画面が表示されますので、[おすすめインストール］をクリックします。**

5 **［インストール］をクリックします。**

画面の指示に従ってインストールを進めてください。

参考

- 電源オンを指示されたら、本製品の電源をオンにしてください。

6 **ドライバのインストールが終了すると、以下の画面が表示されます。⊗をクリックして画面を閉じます。**

この後は画面の指示に従ってください。

参考

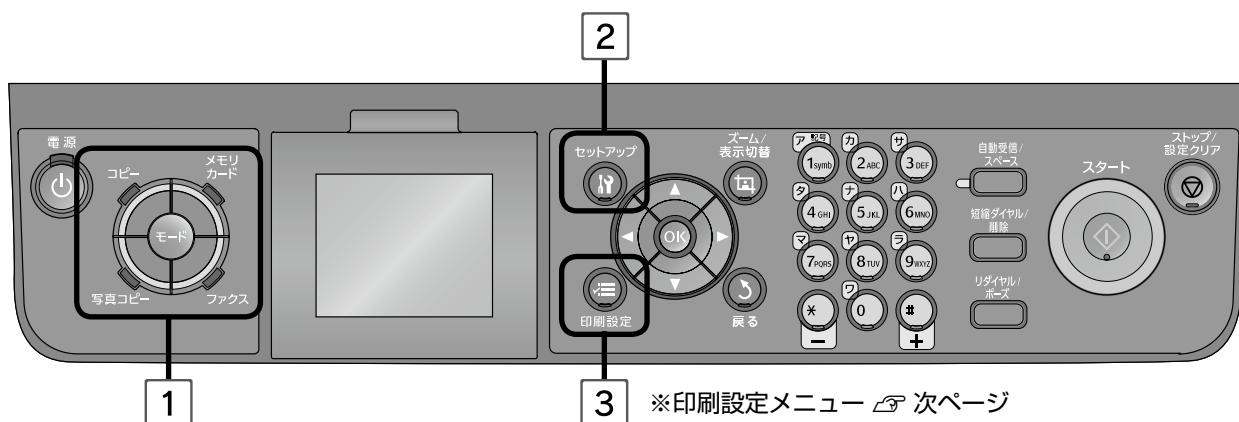
- アプリケーションソフトを再インストールするときは、［次へ］をクリックしてください。

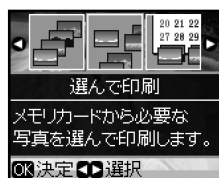
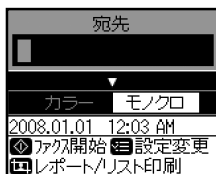
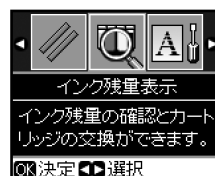
7 **インストールが終了したら、印刷やスキャンをしてみてください。**

インストールし直してもトラブルが解決できないときは、以下をご覧ください。
☞『活用＋サポートガイド』（電子マニュアル）－「トラブル対処方法」

以上で、操作は終了です。

付録

設定項目 / 文字入力一覧

2
電源
コピー
メモリカード
モード
写真コピー
ファクス
セットアップ
ズーム/表示切替
OK
印刷設定
戻る
自動受信/スペース
短縮ダイヤル/削除
リダイヤル/ポーズ
スタート
ストップ/設定クリア
1
3
※印刷設定メニュー ☞ 次ページ

1 モードメニュー
コピーモード
1 枚
カラー モノクロ
レイアウト ：標準コピー
普通紙,A4
標準,100%
コピー開始 設定変更
☞20 ページ
コピー枚数
1 ～ 99 枚
コピー色
カラー
モノクロ
レイアウト
標準コピー
フチなしコピー
写真コピーモード
原稿の置き方
L判は3枚、KGは2枚まで置けます。
*5mm以上離す
*2Lは1枚のみ
OK 次へ
☞24 ページ
退色復元
しない
する
ファクスモード
宛先
カラー モノクロ
2008.01.01 12:03 AM
ファクス開始 設定変更
レポート/リスト印刷
☞30 ページ
カラー / モノクロ選択
カラー
モノクロ
ファクスモードで【ズーム / 表示切替】ボタンを押すと下記メニューを表示
レポート / リスト印刷
短縮ダイヤルリスト
通信管理レポート
通信結果レポート
受信文書の再印刷
プロトコルログ
メモリカードモード
選んで印刷
メモリカードから必要な写真を選んで印刷します。
OK 決定 選択
☞48 ページ
印刷方法
すべて印刷
選んで印刷
日付選択印刷
オーダーシート
スライドショー

2 セットアップメニュー
インク残量表示
インク残量の確認とカートリッジの交換ができます。
OK 決定 選択
メニュー
インク残量表示
☞70 ページ
メンテナンス
外部機器印刷設定
☞71 ページ
初期設定に戻す
☞72 ページ
ファクス設定
メンテナンス
ノズルチェック
☞64 ページ
ヘッドクリーニング
☞65 ページ
LCD 明るさ調整
☞73 ページ
ギャップ調整
☞66 ページ
インクカートリッジ交換
☞70 ページ
写真表示画面設定
☞72 ページ
着信 / 操作音
☞73 ページ
ファクス設定
短縮ダイヤル登録
☞40 ページ
基本機能
☞46 ページ
送受信設定
☞44 ページ
自局 / 日付設定
☞42、45 ページ

3 印刷設定メニュー

コピーモード

☞22 ページ

倍率
- 等倍
- オートフィット

用紙種類
- 普通紙
- EPSON クリスピア
- 写真用紙
- 写真用紙エントリ
- フォトマット紙
- スーパーファイン紙
- 郵便 IJ ハガキ
- 郵便ハガキ

用紙サイズ
- A4
- L 判
- 2L 判
- ハガキ
- KG サイズ
- B5

品質
- エコノミー
- 標準
- きれい

コピー濃度
- －4～±0～+4

フチなし領域
- 標準
- 少ない
- より少ない

メモリカードモード

☞50 ページ

用紙種類
- EPSON クリスピア
- 写真用紙
- 写真用紙エントリ
- フォトマット紙
- 郵便 IJ ハガキ
- 郵便ハガキ
- 普通紙

用紙サイズ
- L 判
- 2L 判
- ハガキ
- ハイビジョンサイズ
- KG サイズ
- A4

レイアウト
- フチなし
- フチあり
- 上半分

品質
- 標準
- きれい

フチなし領域
- 標準
- 少ない
- より少ない

日付表示
- しない
- 年 / 月 / 日
- 月 / 日 / 年
- 日 / 月 / 年

双方向印刷
- する
- しない

写真コピーモード

☞24 ページ

用紙種類
- EPSON クリスピア
- 写真用紙
- 写真用紙エントリ
- フォトマット紙

用紙サイズ
- L 判
- 2L 判
- ハガキ
- KG サイズ
- A4

レイアウト
- フチなし
- フチあり

品質
- 標準

フチなし領域
- 標準
- 少ない
- より少ない

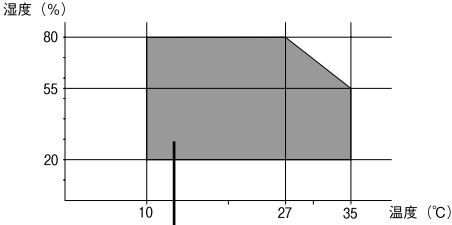
ファクスモード

☞32 ページ

画質
- 標準
- ファイン
- 写真

濃度
- －4～±0～+4

時刻指定送信
- しない
- する

通信種別
- 送信
- ポーリング受信

文字入力一覧

操作パネルのテンキーから文字を入力するときに入力できる文字の一覧です。

テンキー	カナモード	ABC/abc モード	123 モード
1	アイウエオ　ァィゥェォ	！＃%&’（）＊+,-. /：；＝？@ _ ˜	1
2	カキクケコ	ABC　abc	2
3	サシスセソ	DEF　def	3
4	タチツテト　ッ	GHI ghi	4
5	ナニヌネノ	JKL jkl	5
6	ハヒフヘホ	MNO mno	6
7	マミムメモ	PQRS pqrs	7
8	ヤユヨ　ャュョ	TUV tuv	8
9	ラリルレロ	WXYZ wxyz	9
0	ワヲン　ー、。	0	0
＊	゛゜ ー	＊	＊
＃	！＃%&’（）＊+,-. /:;＝？@ _˜。「」、・	＃	＃

製品の仕様とご注意

総合仕様

ノズル配列	黒インク：90 ノズル カラー：90 ノズル× 3 色
インク色	ブラック、シアン、マゼンタ、イエロー
最高解像度	5760＊× 1440dpi ＊：最小 1/5760 インチのドット間隔で印刷します。
最小ドットサイズ	3 pl（ピコリットル）
インターフェイス	USB 2.0 ハイスピード（PC 接続用）、USB1.1 フルスピード（USB DIRECT-PRINT/PictBridge 用）
定格電圧	AC100V
定格周波数	50 ～ 60Hz
定格電流	0.5A
製品外形寸法	収納時：幅 460mm ×奥行き 410mm ×高さ 236mm 使用時：幅 460mm ×奥行き 479mm ×高さ 269mm
製品質量	約 7.9kg（インクカートリッジ、電源コード含む）
動作時の環境	温度：10 ～ 35℃ 湿度：20 ～ 80%（非結露） 湿度（%） 80 55 20 10 27 35 温度（℃） この範囲でお使いください。
保管時の環境	温度：－ 20 ～ 40℃ 湿度：5 ～ 85%（非結露）

環境基本仕様

消費電力	コピー時：約 13W（ISO/IEC10561 レターパターン原稿コピー） スリープモード時：約 3.0W 電源オフ時：約 0.2W
省資源機能	両面印刷機能、割り付け印刷機能、拡大 / 縮小機能を使用することで、印刷用紙の使用枚数を節約することができます。
回収リサイクル体制	インクカートリッジのリサイクル 弊社は、環境保全活動の一環として使用済みインクカートリッジの回収、再資源化に取り組んでいます。 詳細は本書巻末をご覧ください。
修理体制	エプソン製品を万全の状態でお使いいただくために、いくつかの保守サービスをご用意しております。詳細につきましては 100 ～ 102 ページをご覧ください。
補修用性能部品の保有期間	製品の製造終了後 5 年

スキャナ部基本仕様

走査方式	読み取りヘッド移動による原稿固定読み取り
センサ	CIS
出力解像度	主走査：1200dpi、副走査：2400dpi
最大有効画素数	10200 × 14040Pixel（1200dpi）
最大原稿サイズ	A4/US レターサイズ、216 × 297mm
階調	入力：16bit、出力：8bit

オートドキュメントフィーダ部基本仕様

用紙セット方向	原稿面上向き
最大原稿サイズ	A4/US レターサイズ、216 × 297mm
セット可能用紙種類	普通紙（坪量 60 ～ 95g/m²）
最大セット可能枚数	30 枚または 3mm（A4/US レターサイズ）、 10 枚（US リーガルサイズ）

ファクス部基本仕様

型式	ITU-T G3
対応回線	一般加入電話回線（PSTN） なお、以下のシステムや電話回線では使用できないことがあります。 • 構内交換機（PBX＊1）を使用した内線電話システム • ADSL や光ファイバーなどの IP 電話回線 • 各種サービス（キャッチホンなど）の提供を受けている電話回線 • デジタル回線（ISDN） • 加入電話回線との間にターミナルアダプタ、スプリッタ、ADSL ルータなどの各種アダプタを接続した場合 その他、電話回線の状況や地域などの条件によって使用できないことがあります。
通信速度	最大 33.6kbps
解像度	モノクロ 標準：8pels/mm × 3.85lines/mm ファイン：8pels/mm × 7.7lines/mm 写真：8pels/mm × 7.7lines/mm カラー ファイン：200 × 200 dpi 写真：200 × 200 dpi
短縮ダイヤル登録件数	最大 60 件
受信ファクス最大保存ページ数	約 180 ページ（ITU-T 標準原稿をモノクロ標準で受信した場合）

＊ 1： 企業などの内線電話システムで使われている回線で、外線発信するときに電話番号の最初に 0 などの外線発信番号を付けて通話する回線のこと。

カードスロット仕様

■ 対応電圧

3.3V 専用または 3.3V/5V 兼用、供給電圧は 3.3V のみ対応
※ 3.3V/5V 兼用メディアへは 3.3V を供給
※メモリカードへの供給電流は最大 500mA
※ 5V タイプのメモリカードは非対応

■ 対応画像ファイル形式

デジタルカメラ	DCF＊1 Version2.0 規格準拠
対応画像ファイルフォーマット	DCF＊1 Version1.0 または 2.0 規格準拠のデジタルカメラで撮影した JPEG＊2 形式の画像ファイル
有効画像サイズ	横：80 ～ 9200 ピクセル 縦：80 ～ 9200 ピクセル
最大ファイル数	999 個

＊ 1： DCF は、社団法人電子情報技術産業協会（社団法人日本電子工業振興協会）で標準化された「Design rule for Camera File system」規格の略称です。
＊ 2： Exif Version2.21 準拠。

適合規格、規制

■ 電源高調波について

この装置は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 に適合しております。

■ 電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。
この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。
本装置の接続において指定ケーブルを使用しない場合、VCCI ルールの限界値を超えることが考えられますので、必ず指定されたケーブルを使用してください。

印刷領域

下図のグレーの領域に印刷されます。ただし本製品の機構上、斜線の部分は印刷品質が低下することがあります。

■ 定形紙

通常印刷時

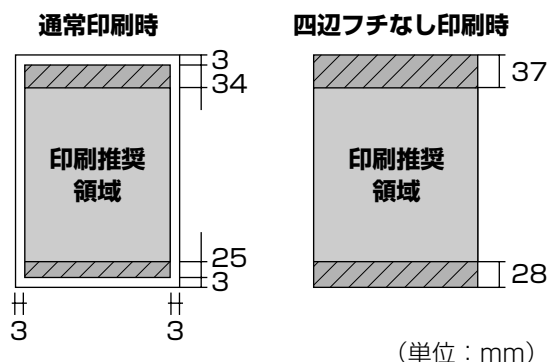
印刷推奨領域

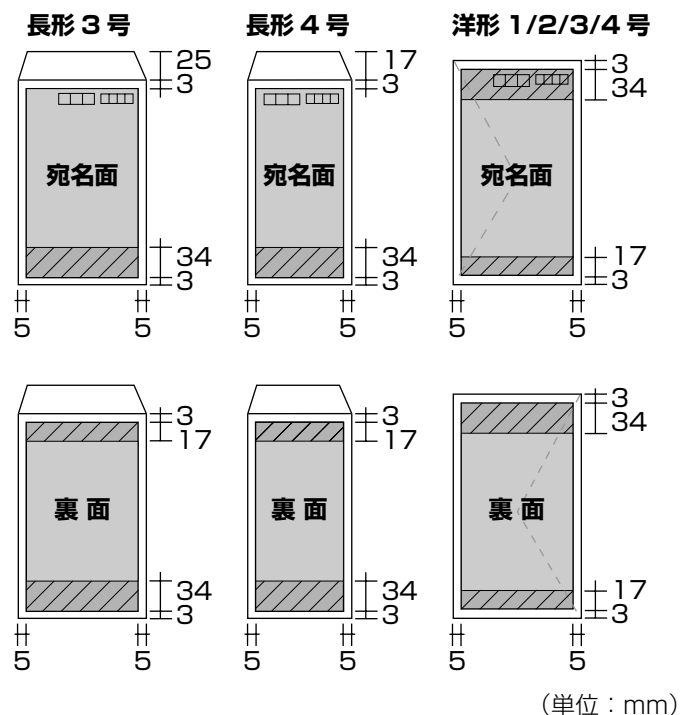
3
34
25
3
3
3

四辺フチなし印刷時

印刷推奨領域

37
28

（単位：mm）

※ 用紙幅が 216mm を超えるときは、右側の余白が 3mm 以上になります。

■ 封筒

※ 印刷データによっては、印刷品質が低下することがあります。

メモリカードに関するご注意

本製品の不具合に起因する付随的損害について

万一、本製品（添付のソフトウェア等も含みます。以下同じ。）の不具合によってデータの記録、またはパソコン、その他の機器へのデータ転送が正常に行えない等、所期の結果が得られなかったとしても、そのことから生じた付随的な損害（本製品を使用するために要した諸費用、および本製品を使用することにより得られたであろう利益の損失など）は、補償いたしかねます。

動作確認とバックアップのお勧め

本製品をご使用になる前には、動作確認をし、本製品が正常に機能することをご確認ください。また、メモリカード内のデータは、必要に応じて他のメディアにバックアップしてください。次のような場合、データが消失または破損する可能性があります。

- 静電気や電気的ノイズの影響を受けたとき
- 誤った使い方をしたとき
- 故障や修理のとき
- 天災により被害を受けたとき

なお、上記の場合に限らず、たとえ本製品の保証期間内であっても、弊社はデータの消失または破損については、いかなる責も負いません。

メモリカードを譲渡 / 廃棄するときは

メモリカード（USB フラッシュメモリを含む）を譲渡 / 廃棄する際は、市販のデータ消去用ソフトウェアを使って、メモリカード内のデータを完全に消去することをお勧めします。パソコン上でファイルを削除したり、フォーマット（初期化）したりするだけでは、市販のデータ復元用ソフトウェアで復元できる可能性があります。また、廃棄時には、メモリカードを物理的に破壊することもお勧めします。

液晶ディスプレイについて

画面の一部に点灯しない画素や常時点灯する画素が存在する場合があります。また液晶の特性上、明るさにムラが生じることがありますが、故障ではありません。

瞬時電圧低下について

本装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。
電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお勧めします。
（社団法人 電子情報技術産業協会（社団法人日本電子工業振興協会）のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示）

本製品を日本国外へ持ち出す場合の注意

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様のため、本製品の修理・保守サービスおよび技術サポートなどの対応は、日本国外ではお受けできませんのでご了承ください。
また、日本国外ではその国の法律または規制により、本製品を使用できないことがあります。このような国では、本製品を運用した結果罰せられることがありますが、弊社といたしましては一切責任を負いかねますのでご了承ください。

本製品の使用限定について

本製品を航空機・列車・船舶・自動車などの運行に直接関わる装置・防災防犯装置・各種安全装置など機能・精度などにおいて高い信頼性・安全性が必要とされる用途に使用される場合は、これらのシステム全体の信頼性および安全維持のためにフェールセーフ設計や冗長設計の措置を講じるなど、システム全体の安全設計にご配慮いただいた上で当社製品をご使用いただくようお願いいたします。 本製品は、航空宇宙機器、幹線通信機器、原子力制御機器、医療機器など、極めて高い信頼性・安全性が必要とされる用途への使用を意図しておりませんので、これらの用途には本製品の適合性をお客様において十分ご確認のうえ、ご判断ください。

本製品の譲渡 / 廃棄

本製品を譲渡もしくは廃棄する際は、本製品のメモリに保存されているお客様固有の情報の流出による、不測の事態を回避するために、保存した情報（電話番号、宛先名称など）を消去してください。消去方法については以下をご覧ください。
☞72 ページ「設定値の初期化」
一般家庭でお使いの場合は、必ず法令や地域の条例、自治体の指示に従って廃棄してください。事業所など業務でお使いの場合は、産業廃棄物処理業者に廃棄物処理を委託するなど、法令に従って廃棄してください。

複製が禁止されている印刷物について

紙幣、有価証券などをプリンタで印刷すると、その印刷物の使用如何に係わらず、法律に違反し、罰せられます。
（関連法律） 刑法 第 148 条、第 149 条、第 162 条
通貨及証券模造取締法 第 1 条、第 2 条 など
以下の行為は、法律により禁止されています。

- 紙幣、貨幣、政府発行の有価証券、国債証券、地方証券を複製すること（見本印があっても不可）
- 日本国外で流通する紙幣、貨幣、証券類を複製すること
- 政府の模造許可を得ずに未使用郵便切手、郵便はがきなどを複製すること
- 政府発行の印紙、法令などで規定されている証紙類を複製すること

次のものは、複製するにあたり注意が必要です。

- 民間発行の有価証券（株券、手形、小切手など）、定期券、回数券など
- パスポート、免許証、車検証、身分証明書、通行券、食券、切符など

著作権について

写真・書籍・地図・図面・絵画・版画・音楽・映画・プログラムなどの著作権物は、個人（家庭内その他これに準ずる限られた範囲内）で使用するために複製する以外は著作権者の承認が必要です。

商標について

- Apple、Mac、Macintosh、Mac OS は、米国およびその他の国で登録された Apple Inc. の商標です。
- Microsoft、Windows、Windows Vista は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- xD-Picture Card、xD-Picture Card ロゴは富士写真フイルム株式会社の商標です。
- その他の製品名は各社の商標または登録商標です。
- EPSON Scanはセイコーエプソン株式会社の商標です。
- EPSON Scan is based in part on the work of the Independent JPEG Group.
- トラブル解決アシスタントは、セイコーエプソン株式会社の登録商標です。

表記について

Windows

- Microsoft® Windows® 98 operating system 日本語版
- Microsoft® Windows® 98 Second Edition operating system 日本語版
- Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system 日本語版
- Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system 日本語版
- Microsoft® Windows® XP Home Edition/ Professional operating system 日本語版
- Microsoft® Windows® XP Professional x64 Edition operating system 日本語版
- Microsoft® Windows Vista® operating system 日本語版

本書中では、以上の OS（オペレーティングシステム）をそれぞれ「Windows 98」「Windows Me」「Windows 2000」「Windows XP」「Windows Vista」と表記しています。

また、Windows 98、Windows Me、Windows 2000、Windows XP、Windows Vista を総称するときは「Windows」、複数のWindowsを併記するときは「Windows 98/Me」のように、Windows の表記を省略することがあります。

Mac OS

- 本製品は、Mac OS X v10.2.8 以降に対応しています。
- 本書中では、上記を「Mac OS X」と表記しています。

ご注意

- 本書の内容の一部または全部を無断転載することを禁止します。
- 本書の内容は将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容にご不明な点や誤り、記載漏れなど、お気付きの点がありましたら弊社までご連絡ください。
- 運用した結果の影響については前項に関わらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品が、本書の記載に従わずに取り扱われたり、不適当に使用されたり、弊社および弊社指定以外の、第三者によって修理や変更されたことなどに起因して生じた障害等の責任は負いかねますのでご了承ください。

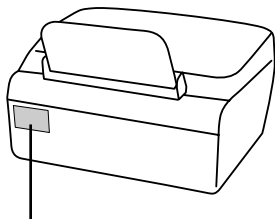
サービス・サポートのご案内

各種サービス・サポートについて

弊社が行っている各種サービス・サポートについては、以下のページでご案内しています。
☞ 102 ページ「本製品に関するお問い合わせ先」

■ マニュアルのダウンロードサービス

製品マニュアル（取扱説明書）の最新版 PDF データをダウンロードできるサービスを提供しています。
< http://www.epson.jp/guide/pcopy/ >

「故障かな？」と思ったら（お問い合わせの前に）

お問い合わせ前の確認事項

必ず以下のトラブル対処方法をご確認ください。
☞ 77 ページ「困ったときは（トラブル対処方法）」
☞『活用＋サポートガイド』（電子マニュアル）

それでもトラブルが解決しないときは、以下の事項をご確認の上、お問い合わせください。

①本製品の型番	PX-FA700
②製造番号	製造番号は製品の背面か底面に表示されています。
③どのような操作	□コピー　□ファクス　□メモリカードから印刷　□パソコンから印刷 □スキャン　□その他（　　　）
④印刷データ	□写真　□文章　□その他（　　　）
⑤エラー表示	□液晶ディスプレイ　□パソコン画面 メッセージ内容：
⑥用紙の種類	□普通紙　□写真用紙　□ハガキ　□その他（　　　）
⑦用紙のサイズ	□ A4　□ハガキ　□ L 判　□その他（　　　）

お問い合わせ窓口

■ 本製品に関するお問い合わせ先

カラリオインフォメーションセンター
☞102 ページ「本製品に関するお問い合わせ先」

■ 付属のソフトウェア『読ん de!! ココパーソナル』に関するお問い合わせ先

エプソン販売株式会社　エーアイソフト製品総合窓口
『読ん de!! ココパーソナル』ユーザーズマニュアルの「サポートサービス総合案内」もしくは
ホームページ <http://ai2you.com/support>「製品サポートサービスに関する総合案内」をご確認ください。

修理 / アフターサービスについて

保証書について

保証期間中に、万一故障した場合には、保証書の記載内容に基づき保守サービスを行います。ご購入後は、保証書の記載事項をよくお読みください。
保証書は､製品の「保証期間」を証明するものです。「お買い上げ年月日」「販売店名」に記載漏れがないかご確認ください。これらの記載がない場合は、保証期間内であっても保証期間内と認められないことがあります。記載漏れがあった場合は、お買い求めいただいた販売店までお申し出ください。
保証書は大切に保管してください。保証期間、保証事項については、保証書をご覧ください。

補修用性能部品および消耗品の保有期間

本製品の補修用性能部品および消耗品の保有期間は、製品の製造終了後 5 年間です。
故障の状況によっては弊社の判断により、製品本体を、同一機種または同等仕様の機種と交換等させていただくことがあります。なお、同等機種と交換した場合は、交換前の製品の付属品や消耗品をご使用いただけなくなることがあります。
※改良などにより、予告なく外観や仕様などを変更することがあります。

保守サービスに関しての受付窓口

保守サービスに関してのご相談、お申し込みは、次のいずれかで承ります。
●お買い求めいただいた販売店
●エプソン修理センター（102 ページの一覧表をご覧ください）
受付日時：月曜日～金曜日（土日祝祭日・弊社指定の休日を除く） 9：00 ～ 17：30

保守サービスの種類

エプソン製品を万全の状態でお使いいただくために、下記の保守サービスをご用意しております。
詳細につきましては、お買い求めの販売店またはエプソン修理センターまでお問い合わせください。

種類	概要	修理代金	
		保証期間内	保証期間外
持込 / 送付修理	故障が発生した場合、お客様に修理品をお持ち込みまたは送付いただき、一旦お預かりして修理いたします。	無償	基本料＋技術料＋部品代 修理完了品をお届けしたときにお支払いください
ドア to ドア サービス	• 指定運送会社がご指定の場所に修理品を引き取りにお伺いするサービスです。 • 保証期間外の場合は、ドア to ドアサービス料金とは別に修理代金が必要となります。	有償 （ドア to ドアサービス料金のみ）	有償 （ドア to ドアサービス料金＋修理代）

！重 要

- エプソン純正品以外あるいはエプソン品質認定品以外の、オプションまたは消耗品を装着し、それが原因でトラブルが発生した場合には、保証期間内であっても責任を負いかねますのでご了承ください。ただし、この場合の修理などは有償で行います。

本製品に関するお問い合わせ先

●エプソンのホームページ　http://www.epson.jp
各種製品情報・ドライバ類の提供、サポート案内等のさまざまな情報を満載したエプソンのホームページです。
インターネット FAQ エプソンなら購入後も安心。皆様からのお問い合わせの多い内容をFAQとしてホームページに掲載しております。ぜひご活用ください。
http://www.epson.jp/faq/

● MyEPSON
エプソン製品をご愛用の方も、お持ちでない方も、エプソンに興味をお持ちの方への会員制情報提供サービスです。お客様にピッタリのおすすめ最新情報をお届けしたり、プリンタをもっと楽しくお使いいただくお手伝いをします。製品購入後のユーザー登録もカンタンです。
さあ、今すぐアクセスして会員登録しよう。

インターネットでアクセス！	http://myepson.jp/

▶カンタンな質問に答えて会員登録。

●カラリオインフォメーションセンター　製品に関するご質問・ご相談に電話でお答えします。
【電話番号】　050-3155-8022
【受付時間】　月～金曜日9:00～20:00　土日祝日10:00～17:00（1月1日、弊社指定休日を除く）
◎上記電話番号をご利用できない場合は、042-589-5251へお問い合わせください。

●修理品送付・持ち込み依頼先
お買い上げの販売店様へお持ち込みいただくか、下記修理センターまで送付願います。

拠点名	所在地	TEL
札幌修理センター	〒060-0034 札幌市中央区北4条東1-2-3 札幌フコク生命ビル10F エプソンサービス㈱	011-219-2886
松本修理センター	〒390-1243 松本市神林1563 エプソンサービス㈱	050-3155-7110
東京修理センター	〒191-0012 東京都日野市日野347 エプソンサービス㈱	050-3155-7120
福岡修理センター	〒812-0041 福岡市博多区吉塚8-5-75 初光流通センタービル3F エプソンサービス㈱	050-3155-7130
沖縄修理センター	〒900-0027 那覇市山下町5-21 沖縄通関社ビル2F エプソンサービス㈱	098-852-1420

【受付時間】月曜日～金曜日　9:00～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）
*予告なく住所・連絡先等が変更される場合がございますので、ご了承ください。
*修理について詳しくは、エプソンのホームページでご確認ください。http://www.epson.jp/support/
◎上記電話番号をご利用できない場合は、下記の電話番号へお問い合わせください。
・松本修理センター：0263-86-7660　・東京修理センター：042-584-8070　・福岡修理センター：092-622-8922

●ドアtoドアサービスに関するお問い合わせ先
ドアtoドアサービスとはお客様のご希望日に、ご指定の場所へ、指定業者が修理品をお引取りにお伺いし、修理完了後弊社からご自宅へお届けする有償サービスです。*梱包は業者が行います。
【電話番号】　050-3155-7150
【受付時間】　月～金曜日9:00～17:30（祝日、弊社指定休日は除く）
◎上記電話番号をご利用できない場合は、0263-86-9995へお問い合わせください。
*ドアtoドアサービスについて詳しくは、エプソンのホームページでご確認ください。http://www.epson.jp/support/
*平日の17:30～20:00および、土日、祝日、弊社指定休日の9:00～20:00の電話受付は0263-86-9995（365日受付可）にて日通諏訪支店で代行いたします。

上記050で始まる電話番号はKDDI株式会社の電話サービスを利用しており、一部のPHSやIP電話事業者からはご利用いただけない場合があります。
上記番号をご利用できない場合は、携帯電話またはNTTの固定電話（一般回線）からおかけいただくか、各◎印の電話番号におかけください。

○スクール（エプソン・デジタル・カレッジ）講習会のご案内
東京　TEL（03）5321-9738　　大阪　TEL（06）6205-2734
【受付時間】月曜日～金曜日9:30～12:00/13:00～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）
*スケジュールなどはホームページでご確認ください。http://www.epson.jp/school/

○ショールーム　*詳細はホームページでもご確認いただけます。http://www.epson.jp/showroom/
エプソンスクエア新宿　〒160-8324 東京都新宿区西新宿6-24-1 西新宿三井ビル1F
【開館時間】 月曜日～金曜日 9:30～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）
エプソンスクエア御堂筋　〒541-0047 大阪府大阪市中央区淡路町3-6-3 NMプラザ御堂筋1F
【開館時間】 月曜日～金曜日 9:30～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）

○消耗品のご購入
お近くのエプソン商品取扱店及びエプソンダイレクト（ホームページアドレス http://www.epson.jp/shop/ または通話無料 0120-545-101）でお買い求めください。（2007年9月現在）

○FAXインフォメーション　エプソン製品の情報をFAXにてお知らせします。
札幌（011）221-7911　東京（042）585-8500　名古屋（052）202-9532　大阪（06）6397-4359　福岡（092）452-3305

○エプソンディスクサービス
各種ドライバを郵送でお届けします。お申し込み方法・料金など、詳しくは上記FAXインフォメーションの資料でご確認ください。

コンシューマ（SPC）　2007. 9

索引

- 製品各部のなまえは
  ☞6 ページ「各部の名称と働き」
- 用紙の種類 / サイズは
  ☞10 ページ「使用できる印刷用紙と原稿」
- 設定値（メニュー）は
  ☞94 ページ「設定項目 / 文字入力一覧」

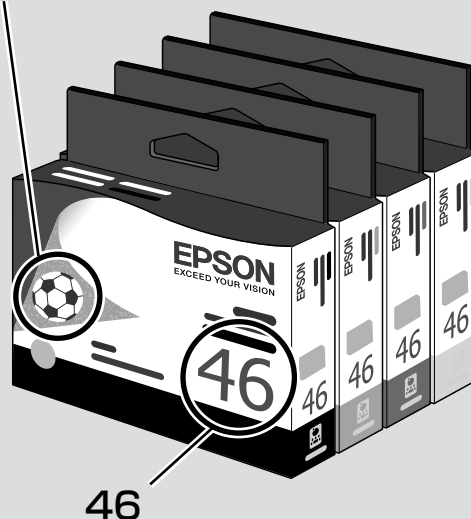
アルファベット

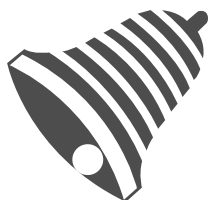
五十音

インクカートリッジの型番

ブラック	:ICBK46
シアン	:ICC46
マゼンタ	:ICM46
イエロー	:ICY46

お得な４色パックもあります。

４色パック	:IC4CL46

【インクカートリッジは純正品をお勧めします】
プリンタ性能をフルに発揮するためにエプソン純正品のインクカートリッジを使用することをお勧めします。純正品以外のものをご使用になりますと、プリンタ本体や印刷品質に悪影響がでるなど、プリンタ本体の性能を発揮できないことがあります。非純正品の使用に起因して生じた本体の損傷、故障については、保証期間内であっても有償修理となります。エプソンは純正品以外の品質や信頼性について保証できません。非純正品では、プリンタドライバなどでインク残量が表示されないことがあります。

インクカートリッジの回収について

エプソンは、使用済みカートリッジの回収率を高め、環境活動をより強く推進すべく、プリンタの使用済みカートリッジ回収でベルマーク運動に参加しています。詳しくはエプソンのホームページをご覧ください。
＜ http://www.epson.jp/bellmark/ ＞

また、エプソン製品取扱販売店にインクカートリッジの回収ポストを設置しています。
＜ http://www.epson.jp/products/supply/cartridge/ ＞

PX-FA700　操作ガイド

EPSON

Printed in XXXX XX.XX-XX XXX